

高知市男女共同参画推進プラン 2021

令和5年度年次報告書
プラン 2021 中間評価

市民協働部
人権同和・男女共同参画課

目 次

	ページ
はじめに、プラン2021の特徴、プラン2021体系図、プラン2021の進め方	2
指標の進捗状況、施策（基本目標）に対する取組状況	4
令和5年度高知市男女共同参画推進プラン2021事業一覧	6
 【年次報告表】	
基本目標1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	7
基本目標2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	8
基本目標3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	9
基本目標4 地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう	10
基本目標5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう	11
全体に関すること	11
個別事業実施状況報告（点検シート）	12
数値報告	72
こうち男女共同参画センター（ソーレ）事業報告	80
高知市男女共同参画推進プラン2021 中間評価	98

はじめに

この年次報告書は、「男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」及び「高知市男女共同参画推進プラン2021(以下「プラン 2021」)」に基づき、本市の男女共同参画の推進に関する施策の実施状況を明らかにするために作成したものです。実施状況の公表は、男女共同参画社会の実現に向けた効率的かつ効果の高い施策を展開するために、事業内容を市民にわかりやすく説明し、行政の透明性を高めていくことを目的としています。

男女共同参画社会を実現するためには、市民と行政が一体となって取り組む必要があります。そのためには、府内各課がこれまで以上に男女共同参画の視点をもって取り組み、市民の皆さまの理解を深め、協力を得ることが不可欠です。

プラン 2021 の特徴

(1) 施策の実施状況報告に対する評価(点検)

「プラン 2021」の推進に当たっては、前年度の施策の実施状況の報告について、推進委員会の評価(点検)を受けます(評価は中間及び最終のみ)。

(2) 評価(点検)と公表

推進委員会による評価(点検)の結果は、毎年度公表します。

(3) 男女共同参画の視点の浸透

各施策における、男女共同参画の視点からの考え方を明確にし、その浸透を図ります。

(4) 女性活躍推進への取組

「女性活躍推進法」の市町村推進計画として「女性活躍推進法」及びその基本方針に基づいた取組を実施します。

プラン 2021 体系図

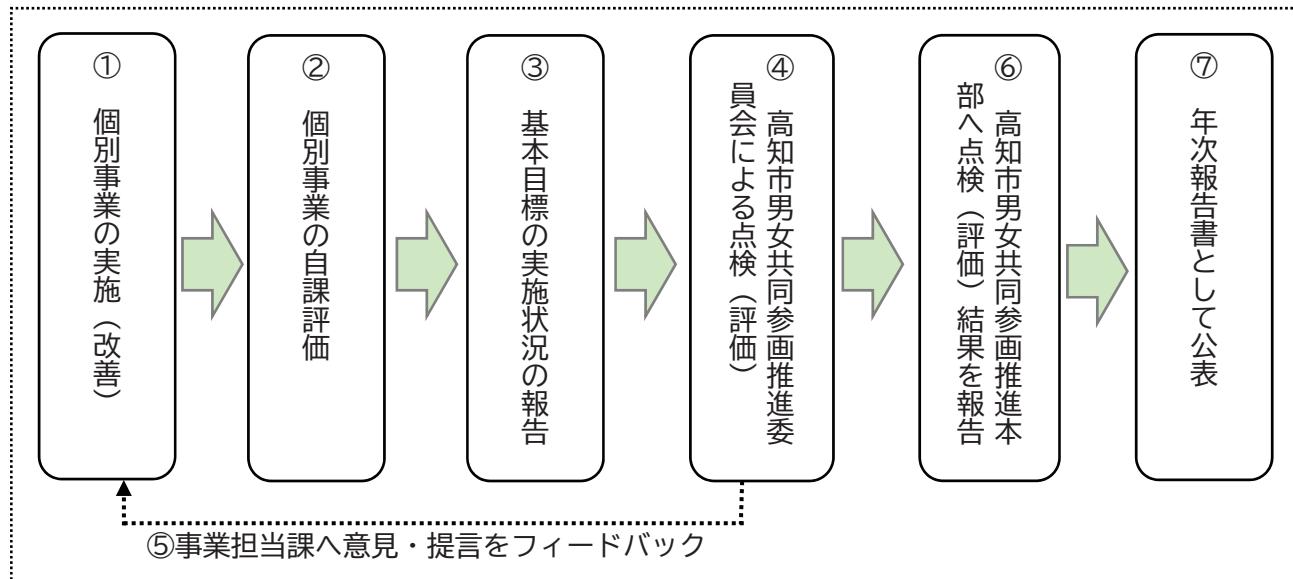
めざす将来像 ジェンダー平等社会の実現



基本目標		取組の方向性
1	一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	(ア) 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消 (イ) 政策、方針決定過程における男女平等の促進
2	DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	(ア) DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実 (イ) DV・性犯罪等暴力の被害者への支援 (ウ) あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実
3	家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう (※「女性活躍推進法」推進計画)	(ア) ワーク・ライフ・バランスの推進 (イ) 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充 (ウ) 女性活躍の推進
4	地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう	(ア) 地域活動における女性の参画の促進 (イ) 防災分野における女性の参画の促進
5	生涯にわたる健康生活を充実させましょう	(ア) あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援

プラン 2021 の進め方

「プラン 2021」の効果的な推進と進行管理のために、PDCA サイクルに基づき、取組の継続的な改善と推進を実施します。



① 個別事業の実施

前年度の取組状況及び高知市男女共同参画推進委員会の意見・提言を踏まえ、個別事業の概要及び活動指標（目標）を設定し、事業を実施します。

② 個別事業の自課評価

事業実施の翌年度に個別事業実施状況報告表にて、事業の報告及び自課評価を行います。

③ 基本目標の実施状況の報告

基本目標ごとに数値目標の達成状況等を取りまとめ、高知市男女共同参画推進委員会に報告します。

④ 高知市男女共同参画推進委員会による評価（点検） ※点数評価は中間と最終のみ

高知市男女共同参画推進委員会によるヒアリングを実施し、点検（評価）を行います。

⑤ 事業担当課へ意見・提言をフィードバック

高知市男女共同参画推進委員会の意見・提言を事業担当課へフィードバックします。

（事業担当課は翌年度の事業計画に反映させることを検討します。）

⑥ 高知市男女共同参画推進本部へ評価結果を報告

推進委員会による評価（点検）結果を高知市男女共同参画推進本部へ報告します。

⑦ 年次報告書として公表

年次報告表、個別事業の実施状況報告表等を取りまとめ公表します。

1 指標の進捗状況

高知市男女共同参画推進プラン2021では、ジェンダー平等社会の実現に向けて、5つの基本目標を掲げて取り組んでいます。各基本目標に対しては、17項目の指標を設定しています。各指標の進捗状況は次のとおりとなっています（表1）。

指標の進捗状況（表1）

基本目標	No	目標	基準値	令和5年度 実績値	対前年比	目標値 (R7年度末)	担当課
1 一人ひとりの 人権が尊重 される社会を つくりましょ	1	市の審議会等で女性委員がい ない審議会数	13会(118会中) (R2)	15会(119会中)	+2会	0会	人権同和・男女共同参画課
	2 市職員の女性管理職(課長補佐 以上)の割合		部長副部長 11.6% (R2)	部長副部長 15.0%	+5.5%	14%以上	人事課
			課長 14.1% (R2)	課長 20.8%	-0.8%	22%以上	
			課長補佐 42.4% (R2)	課長補佐 41.5%	-3.3%	45%以上	
	3 男女の地位が「平等」と回答し た人の割合		各項目の数値は以下のとお り	—	—	増加	人権同和・男女共同参画課
			家庭生活 27.5% (R1)	—	—	35%以上	
			職場 25.9% (R1)	—	—	40%以上	
			学校教育 63.2% (R1)	—	—	75%以上	
			地域活動の場 46.2%	—	—	50%以上	
			政治の場 13.2% (R1)	—	—	20%以上	
			法律や制度上 32.5%	—	—	35%以上	
			慣習・しきたり 15.7%	—	—	25%以上	
			社会全体 15.3% (R1)	—	—	25%以上	
2 DVやハラ スメントのない 社会をつくり ましょ	4	DVについて誰(どこ)にも相談 しなかった人の割合	65.1% (R1)	—	—	30%以下	人権同和・男女共同参画課
	5	DVを内容まで知っていると答 えた人の割合	44.1% (R1)	—	—	70%以上	
	6	セクシュアル・ハラスメントを内容ま で知っていると答えた人の割合	43.0% (R1)	—	—	70%以上	
3 家庭や働く 場において ジェンダー平 等を実現しま しょ	7	待機児童数	26人 (R2.4)	5人	+2人	0人	保育幼稚園課
	8	高知市男女共同参画推進企業 表彰の表彰企業数	3社 (R2)	6社	0	毎年3社以上	人権同和・男女共同参画課
	9	高知市男性職員の育児休業取 得率	9.9% (R1)	48.1%	+15.7%	85%以上 * (2週間以上取得)	人事課
	10	高知市職員の技術職に占める 女性の割合	9.4% (R2)	12.0%	+0.7%	15%以上	人事課
	11	社会資源「集いの場」状況	下記10項目の合計 630	597	-5	705以上	—
		いきいき百歳体操(か所)	373か所(R1)	349か所	-4か所	—	基幹型地域包括支援センター
		子育てサークル・子育て支援 サークル(登録団体数)	23団体(R1)	6団体	-2団体	—	子ども育成課
		地域子育て支援センター(か 所)	14か所(R1)	16か所	0	—	子ども育成課
		子育てサロン(か所)	18か所(R1)	18か所	0	—	高知市社会福祉協議会
		子どもの居場所・子ども食堂 (か所)	36か所(R1)	40か所	0	—	高知市社会福祉協議会
		サロン(か所)	86か所(R1)	84か所	0	—	高知市社会福祉協議会
		認知症カフェ(か所)	23か所(R1)	31か所	+2か所	—	基幹型地域包括支援センター
		地域交流デイサービス【ミニデ イ】(か所)	34か所(R1)	30か所	-1か所	—	高齢者支援課
		宅老所(か所)	22か所(R1)	22か所	0	—	高齢者支援課
		いきいき百歳大交流大会(開催 数)	1(R1)	1	0	—	基幹型地域包括支援センター
4 地域で、防 災で、男女共同 参画をすすめ ましょ	12	自治会長に占める女性の割合	16.0% (R1)	14.7%	+0.6%	25%以上	人権同和・男女共同参画課
	13	防災土認定登録者に占める女 性の割合	30.2% (R1)	34.2%	+0.1%	50%以上	防災政策課
5 生涯にわた る健康生活を 充実させま しょ	14	健常寿命 (65歳の平均自立期間)	男性 17.47年 女性 20.97年	男性 17.70年 女性 21.69年	男性 +0.02年 女性 -0.20年	男性 18.90年 * 女性 22.89年 *	健康増進課
	15	子宮頸がん検診受診率	15.1% (R1)	16.5%	+0.4%	20%以上	健康増進課
	16	乳がん検診受診率	18.8% (R1)	19.3%	+0.3%	22%以上	健康増進課
	17	低出生体重児出生率 (出生百対)	10 (H30)	10.0 (R3)	+0.2	9.5以下 * (出生百対)	母子保健課

* 9高知市男性職員の育児休業取得率、14健常寿命(65歳の平均自立期間)、17低出生体重児出生率(出生百対) の目標値は、関連する行政計画の変更に伴い、指標(数値目標)の変更あり。

2 施策（基本目標）に対する取組状況

令和5年度は、5つの基本目標に沿った取組として、20の担当課で57の個別事業を実施しました。（6ページ）。個別事業の取組状況については、事業担当課にて自己評価（点検・評価）を行っています（個別事業実施状況報告（点検シート）12～70ページ）。

令和5年度の事業担当課の自己評価をみると、評価A「目標達成」が27事業（47.4%）、評価B「目標を概ね達成」が24事業（42.1%）となり、評価Aと評価Bを合わせた割合は89.5%となっています（下表2）。

また、個別事業の取組状況については高知市男女共同参画推進委員会が評価（点検）を行い、各基本目標の進捗状況について意見・提言を行いました（7～11ページ）。

令和5年度の個別事業の取組状況（表2）

	A(目標達成)	B(概ね達成)	C(少し下回った)	D(大きく下回った)
基本目標1	9	4	1	0
	64.3%	28.6%	7.1%	0.0%
基本目標2	9	3	0	0
	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
基本目標3	2	10	1	0
	15.4%	76.9%	7.7%	0.0%
基本目標4	4	2	1	1
	50.0%	25.0%	12.5%	12.5%
基本目標5	3	5	2	0
	30.0%	50.0%	20.0%	0.0%
全体	27	24	5	1
	47.4%	42.1%	8.8%	1.7%

令和5年度高知市男女共同参画推進プラン2021事業一覧

~めざす将来像「ジェンダー平等社会の実現」~

基本目標	取組の方向性	事業No.	事業・取組	担当課	自課評価	事業費(千円)	合計(千円)	関連する数値目標	数値目標
1 を一つひとりとまりしよりの人の権が尊重される社会	(ア) 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	1	男女共同参画の日「8月1日」事業	人権同和・男女共同参画課	A	49	6,799	③	
		2	広報・啓発と情報発信（市民等向け）	人権同和・男女共同参画課	A	150		③	
		3	広報・啓発と情報発信（府内向け）	人権同和・男女共同参画課	A	105		③	
		4	多様な性のあり方を尊重する取組の推進	人権同和・男女共同参画課	A	0		③	① 市の審議会等で女性がない審議会数15会→0会
		5	レインボースクール	人権・こども支援課	A	224		③	② 市職員の女性管理職（課長補佐以上）の割合部長副部長 8.9% → 14%以上 課長 19.1% → 22%以上 課長補佐 46.8% → 45%以上
		6	学校における男女平等教育の推進	人権・こども支援課	A	0		③	
		7	健康教育（性に関する指導）の推進	学校教育課	B	0		③	
		8	市職員に対する研修	人事課	A	177		③	
		9	ソーレにおける広報・啓発及び情報提供	ソーレ	B	5,947		③	
		10	男女共同参画事業（SOG Iに関する講座）	ソーレ	B	147		③	
	(イ) 政策、方針決定過程における男女平等の促進	11	審議会等の女性登用の推進	人権同和・男女共同参画課	B	0	160	①	
		12	各役職段階に占める女性職員の割合の向上	人事課	C	0		②	
		13	人材育成事業（女性の活躍応援）	ソーレ	A	160		③	
		14	情報の収集及び提供、広報・啓発事業（政治分野への女性の参画）	ソーレ	A	—		③	③ 男女の地位が「平等」と回答した人の割合（全8項目）→ 増加（社会全体25%以上ほか全8項目）
2 社会DVをやつくラリストとしているない	(ア) DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実	15	人権啓発の推進	人権同和・男女共同参画課	A	1,418	2,896	⑤	
		16	DV防止啓発	人権同和・男女共同参画課	A	0		⑤	
		17	DV・データDVに関する啓発及び情報提供	ソーレ	A	343		⑤	④ DVについて誰（どこ）にも相談しなかった人の割合65.1% → 30%以下
		18	児童虐待予防推進事業	子ども家庭支援センター	B	853		⑤	
		19	情報モラル教育の推進	少年補導センター	A	282		⑤	⑤ DVを内容まで知っていると答えた人の割合44.1% → 70%以上
	(イ) DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	20	人権全般における相談体制の充実	人権同和・男女共同参画課	A	70	2,329	④	
		21	DV等被害者支援ネットワーク会議の連携強化	人権同和・男女共同参画課	A	0		④	⑥ セクシャル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合43.0% → 70%以上
		22	相談事業	ソーレ	A	1,741		④	
		23	相談体制の充実	ソーレ	B	518		④	
	(ウ) あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実	24	ハラスメント防止研修	人事課	A	0	260	⑥	
		25	出前講座	ソーレ	A	103		⑥	
		26	性的少数者に関する電話相談	ソーレ	B	157		—	
3 平家庭等をや実働現くし場まにしおようてジエンダー	(ア) ワーク・ライフ・バランスの推進	27	男女共同参画推進企業表彰	人権同和・男女共同参画課	A	29	258	⑧	
		28	男性職員の子育て参加の促進	人事課	B	0		⑨	
		29	「高知市労働ニュース」の充実・情報提供の拡充	産業政策課	B	10		—	
		30	ワーク・ライフ・バランス事業（男性記事・介護基礎講座）	ソーレ	B	219		—	
	(イ) 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充	31	地域の子育て支援・子育て相談	子ども育成課	A	122,342	177,892	⑪	
		32	ファミリー・サポート・センター事業	子ども育成課	B	12,933		—	
		33	多様な保育サービスの充実	保育幼稚園課	B	42,028		⑦	⑨ 高知市男性職員の育児休業取得率9.9% → 36%以上
		34	生活支援サービスの充実	基幹型地域包括支援センター	B	589		⑪	⑩ 高知市職員の技術職に占める女性の割合9.4% → 15%以上
	(ウ) 女性活躍の推進	35	高知市職員の技術職に占める女性の割合の向上	人事課	B	0	19,580	⑩	
		36	ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援	子育て給付課	C	8,573		—	
		37	雇用促進・就労支援	産業政策課	B	10,181		—	
		38	女性消防吏員増加に向けた取組	消防局総務課	B	0		—	
		39	女性のための就業支援事業	ソーレ	B	826		—	
4 す男地す女域め共で、ま同じし参防よ画災うをで	(ア) 地域活動における女性の参画の促進	40	地域コミュニティ再構築事業	地域コミュニティ推進課	B	12,052	12,439	⑫	
		41	スポーツ指導者の育成	スポーツ振興課	D	361		⑫	
		42	消防団の充実強化	消防局総務課	C	0		⑫	⑫ 高知市における自治会長に占める女性の割合15.4% → 25%以上
		43	エンパワメント支援	ソーレ	A	26		⑫	
	(イ) 防災分野における女性の参画の促進	44	防災におけるジェンダー平等の啓発	人権同和・男女共同参画課	A	105	7,924	⑬	
		45	避難所運営体制の整備	地域防災推進課	B	899		—	
		46	れんけいこううち防災人づくり塾	防災政策課	A	1,381		⑬	
		47	人材育成事業（女性防災プロジェクト）	ソーレ	A	5,539		⑬	
5 を生涯実にさせたまるしよ健う生活	(ア) あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	48	さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催	基幹型地域包括支援センター	C	28,060	155,015	⑭	
		49	生涯学習活動の促進	文化振興課	B	—		⑭	⑭ 健康寿命（65歳の平均自立期間）男性 17.65年／女性 21.39年 → 男性 18.27年／女性 21.77年
		50	スポーツ推進事業	スポーツ振興課	C	1,573		⑭	
		51	がん検診	健康増進課	A	93,845		⑮⑯	⑮ 子宮頸がん検診受診率14.2% → 20%以上
		52	成人歯周病検診	健康増進課	B	4,211		⑭	⑯ 乳がん検診受診率17.3% → 22%以上
		53	こころの相談窓口	健康増進課	A	266		⑭	
		54	思春期保健事業	母子保健課	B	0		⑭	
		55	妊娠・出産期等の支援	母子保健課	B	3,437		⑰	
		56	幼児健診	母子保健課	B	21,882		⑰	
		57	相談事業【No. 22再掲】	ソーレ	A	1,741		⑭	

計 57事業

計20課

A : 27 (47.4%) B : 24 (42.1%) C : 5 (8.8%) D : 1 (1.7%)

基本目標

1

一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう

取組の方向性	(ア) 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消							
	① 市民に向けてSOGIやジェンダー平等について広報・啓発を行います。 ② 児童生徒の発達段階に応じた男女平等、男女共同参画についての教育を行います。 ③ 家庭・職場・学校・地域で、ジェンダー平等の学習会・研修会等を実施します。 ④ 市民意識調査を実施し、男女共同参画に関する実態把握を行います。 ⑤ ソーレ等と連携し、積極的な情報提供、啓発活動を実施します。	①	②	③	④	⑤		
(イ) 政策、方針決定過程における男女平等の促進								
① 積極的に女性の登用を促すよう、庁内外に働きかけをしていきます。 ② 女性が政治の場へ参画する一歩となるような人材育成に取り組みます。 ③ ソーレ等と連携し、女性リーダー養成にむけた講座・研修会を実施します。 ④ 政治分野への女性の参画に関する情報の提供・啓発を行います。								
指標	【指標の現状値】							
	指標	計画策定期 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】
個別事業	市の審議会等で女性委員がいない審議会数	24会 [138会中]	15会 [115会中]	13会 [120会]	15会 [119会]	[会]	[会]	0会以下 【5会以下】
	市職員の女性管理職 (課長補佐以上)の割合	部長副部長	11.4%	8.9%	9.5%	15.0%	%	14%以上 【13%以上】
		課長	15.7%	19.1%	21.6%	20.8%	%	22%以上 【19%以上】
		課長補佐	39.2%	46.8%	44.8%	41.5%	%	45%以上 【44%以上】
	男女の地位が「平等」と回答した人の割合	社会全体 15.3% 他7項目	—	—	—	%	—	増加

推進委員会からの意見・提言

- ・女性委員がいない審議会等の解消、及び男女いずれか一方の委員数が40%未満の状況の早期解消と、役職における女性割合の向上は進捗が進まず、「参画主体」としての女性増大の壁は困難が大きいようである。幸い、これらは事業主体である「高知市」の事業であるため、女性登用が進まない原因を明らかにし、それらを一つずつ解決する取組を、今から早速開始する必要があると考える。
- ・以前より取り組まれてきた啓発を中心とした活動が主であることもあり、ある程度着実に実行されているようであるが、近年取組が強化されたレインボースクールは講演需要に対応が追いついていないので、これまでより講師枠を広げ、是非要望に応えてほしい。
- ・粘り強い啓発活動などの取組が継続されていると思う。他方で、何か核になる、目立つ企画もほしい。帯屋町をSDGs(目標5を当然含む。)推進フラッグで埋め尽くすなど視覚的効果の高いイベントを短期間でも良いので行うなど。それが無理なら市役所庁舎で実施するようなことは考えられないか。

DVやハラスメントのない社会をつくりましょう

取組の方向性	(ア) DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① 人権尊重の意識を高めるよう、関係機関と連携し、予防啓発を行います。 ② 若年層を対象としたDV防止等の啓発を強化していきます。 																															
	(イ) DV・性犯罪等暴力の被害者への支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 相談窓口の周知を図ります。 ② 関係機関との連携を強化し、DV等暴力の被害者が安心して相談、支援を受けられる体制を充実していきます。 																															
	(ウ) あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① ハラスメントを正しく理解するための広報・啓発を行います。 ② 相談窓口の周知を含めた相談体制を充実させます。 ③ 市職員等を対象とした各種ハラスメント研修を実施します。 																															
指標	【指標の現状値】																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th><th>計画策定時 (R元年度)</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度 (中間年度)</th><th>6年度</th><th>7年度</th><th>最終目標 【中間目標】</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合</td><td>65.1%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>%</td><td>—</td><td>30%以下 【-】</td></tr> <tr> <td>DVを内容まで知っていると答えた人の割合</td><td>44.1%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>%</td><td>—</td><td>70%以上 【-】</td></tr> <tr> <td>セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合</td><td>43.0%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>%</td><td>—</td><td>70%以上 【-】</td></tr> </tbody> </table>	指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】	DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合	65.1%	—	—	—	%	—	30%以下 【-】	DVを内容まで知っていると答えた人の割合	44.1%	—	—	—	%	—	70%以上 【-】	セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合	43.0%	—	—	—	%	—
指標	計画策定時 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】																									
DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合	65.1%	—	—	—	%	—	30%以下 【-】																									
DVを内容まで知っていると答えた人の割合	44.1%	—	—	—	%	—	70%以上 【-】																									
セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合	43.0%	—	—	—	%	—	70%以上 【-】																									
個別事業																																
個別事業(No.15～26)の取組状況は28～39ページ																																

推進委員会からの意見・提言

- ・DVやハラスメントを取り上げた事業の報告から社会的要請の強さが感じられ、事業の重要性を痛感する。DVと並び、児童・生徒への人権侵害の深刻さが報道されている。現在の取組と併せて、市運営以外の県立・私立等の小中高校等へも被害者とならないような啓発教育が行われ、高知市在住並びに通学者が被害から免れることを願う。
- ・パワーハラスメントについては労働施策総合推進法における法的な定義が存在し、検討要素が確立しつつある。職員全員が自他の行為について常にチェックリスト的に検討できるような研修・研さんを進めていただきたい。
- ・性暴力を許さない社会への取組は、一層強化していくべきである。

基本目標

3

家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう

取組の方向性	(ア) ワーク・ライフ・バランスの推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 男性の家事・育児・介護への参画を促進・支援します。 ② 市の男性職員の育児休業等の取得率の向上をめざします。 ③ 労働者の意識改革につながる働きやすい職場環境づくりを支援します。
	(イ) 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ① 男性も女性も子育てしながら、仕事との両立を図ることができるよう、多様な保育サービスの充実を図ります。 ② 子育て支援体制の充実を図ります。 ③ 介護をとりまく環境整備を支援します。
指標	(ウ) 女性活躍の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 職業能力の開発のための講座や、再就職のための就労相談を行います。 ② ひとり親家庭の相談及び就業による自立を支援します。 ③ 市の女性職員の職域拡大を推進します。

【指標の現状値】

*高知市男性職員の育児休業取得率については、令和6年度に最終目標値を同項目を目標値に掲げる他計画が見直されたことから変更した。

指標	指標	計画策定期 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】
	待機児童数	34人	11人	3人	5人	人	人	0人 【10人以下】
	高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数	3社	8社	6社	6社	社	社	毎年3社以上 【毎年3社以上】
	高知市男性職員の育児休業取得率*	9.9%	17.9%	32.4%	48.1%	%	%	85%以上 【22%以上】
	高知市職員の技術職に占める女性の割合	9.1%	11.4%	11.3%	12.0%	%	%	15%以上 【12%以上】
	社会資源「集いの場」状況	630	610	602	597			705以上 【675以上】

個別事業

個別事業(No.27~39)の取組状況は40~52ページ

推進委員会からの意見・提言

- ・生活支援サービスの充実、市技術職に占める女性割合向上、ひとり親家庭支援等、実現への道のりが険しそうな課題だが、真面目・果敢な取組姿勢は素晴らしいと思う。取組としては比較的新しい分野なので成果が見えてくるのには工夫や時間が必要な場合が多いように思う。粘り強く取り組んでほしい。
- ・見えない家事、名もなき家事の重要性を男性にも啓発していけると良いと思う。そこを担うことが家事を全うすることであり、家事の主体性を主張できる要素ではないか。
- ・事業No.30「ワーク・ライフ・バランス事業(男性家事・介護基礎講座)」のような、男性の家庭参画への取組は、今後の地域社会においても重要なものだと思う。

基本目標

4

地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう

取組の方向性	<p>(ア) 地域活動における女性の参画の促進</p> <p>① 男女を問わず、幅広い世代の市民の参画により、地域活動等の活性化を支援します。</p> <p>② ソーレ等と連携し、地域や社会活動における女性リーダーを育成するための講座等を開催します。</p> <p>(イ) 防災分野における女性の参画の促進</p> <p>① 女性の視点による防災対策を強化します。</p> <p>② 防災に関する地域の女性リーダーの育成・増加を図ります。</p>																														
指標	<p>【指標の現状値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">指標</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">計画策定期 (R元年度)</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">3年度</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">4年度</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">5年度 (中間年度)</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">6年度</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">7年度</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">最終目標 【中間目標】</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">自治会長に占める女性の割合</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">13.7%</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">15.4%</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">14.1%</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">14.7%</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">%</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">%</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">25%以上 【22%以上】</td></tr> <tr> <td style="padding: 5px;">防災士認定登録者に占める女性の割合</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">30.2%</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">30.9%</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">34.1%</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">34.2%</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">%</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">%</td><td style="padding: 5px; text-align: center;">50%以上 【40%以上】</td></tr> </tbody> </table>							指標	計画策定期 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】	自治会長に占める女性の割合	13.7%	15.4%	14.1%	14.7%	%	%	25%以上 【22%以上】	防災士認定登録者に占める女性の割合	30.2%	30.9%	34.1%	34.2%	%	%	50%以上 【40%以上】
指標	計画策定期 (R元年度)	3年度	4年度	5年度 (中間年度)	6年度	7年度	最終目標 【中間目標】																								
自治会長に占める女性の割合	13.7%	15.4%	14.1%	14.7%	%	%	25%以上 【22%以上】																								
防災士認定登録者に占める女性の割合	30.2%	30.9%	34.1%	34.2%	%	%	50%以上 【40%以上】																								
個別事業	<p>個別事業(No.40～47)の取組状況は53～60ページ</p>																														

推進委員会からの意見・提言

- ・高知は防災分野の取組は進んでいると言われているので、是非このまま取組を推進していただきたい。
- ・自主防災組織や避難所運営マニュアルで男女比のクオータ制度の検討。現行で難しければ、役職を増やす(班長、副班長)などして意識的に増やす努力をする。防災部局が旗振り役を担ってほしい。
- ・男性・女性、若い世代など多様な参画を実現している組織(地域・防災組織)に重点支援をしていくことも重要。

基本目標

5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう

取組の方向性	(ア) あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援							
	① さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等を開催します。	② 男女ともに健康を保持・増進することができるよう、支援活動を行います。	③ ここでの健康づくりについて普及・啓発を行います。	④ 心身の発育・発達と性に関する教育を行います。	⑤ 女性特有のがん検診受診率向上に向けた取組を行います。	⑥ 妊娠期から子育て期に至るまでの切れ目ない支援を行います。		
指標	【指標の現状値】 *健康寿命(65歳の平均自立期間), 低出生体重児出生率については、令和6年度に最終目標値を同項目を目標値に掲げる他計画が見直されたことから変更した。							
指標	指標	計画策定期(R元年度)	3年度	4年度	5年度(中間年度)	6年度	7年度	最終目標【中間目標】
	健康寿命(65歳の平均自立期間)*	男性17.47年 女性20.97年	男性17.65年 女性21.39年	男性17.77年 女性21.78年	男性17.68年 女性21.89年	男性 女性 年 年	男性 女性 年 年	男性18.90年 女性22.89年 【男性17.71年 女性21.21年】
	子宮頸がん検診受診率	15.1%	14.2%	16.1%	16.5%	%	%	20%以上 【17%以上】
	乳がん検診受診率	18.8%	17.3%	19.0%	19.3%	%	%	22%以上 【20%以上】
	低出生体重児出生率(出生百対)*	10.0 (H29)	11.1 (H31)	9.8 (R2)	10.0 (R3)			9.5以下 【9.5以下】
個別事業	個別事業の取組状況(No.48~57)は61~70ページ							

推進委員会からの意見・提言

- ・女性の健康診断の受診率が低いことについて具体的な取組がほしい。
- ・生理用ナプキンの配布など、健康に関わる女性特有の費用負担を軽減する方策についても検討してほしい。
- ・競技スポーツに注目が集まりがちであるが、様々な状況を抱える市民が、より容易に参加し、取り組める運動の普及を進めていただきたい。
- ・「生涯学習活動の推進」として中央公民館で行われている「いきいきセカンドライフ講座」について、時間や移動に制約が人など、市民がどうすれば参加しやすいかを考えるとともに、広報を充実させ、女性をはじめ多くの人に講座を受けるチャンスがある柔軟な開催方法をぜひ検討してほしい。

全体に関すること

推進委員会からの意見・提言

- ・女性副市長が就任され、男女共同参画がより強力に進むことを期待する。
- ・報告は毎年同じような内容で目新しさは感じないし、劇的に変わることはないので、継続は力なりで、地道に取り組んでいくことが重要だと思うが、現プランの実行期間も残り1年半。各項目で目標を達成できるよう、またできなかつた言い訳をしなくて済むように、PDCAをしっかりと回して頑張ってほしい。
- ・全体的に地道で粘り強い取り組みが進められていることが感じられた。他方で、高知市が男女共同参画を重視しているという強いインパクトを発信し、市民を牽引できるような企画が見えづらいようにも思う。基本目標1でも記載したが、「高知市は人権尊重推進に力を入れているな！」と皆が思うような企画やイベントをどこかで仕掛けることはできないか。女性に限らず、マイノリティや人権を尊重されていないと感じている人に対して高知市からの応援が届くようなものがあればと思う。
- ・男女共同参画に意欲的な教員を募り育成。転勤していく中で、多くの種がまかれ、育つききっかけになる。教員の中にジェンダーのエキスパートを育成していく仕組みを模索しては。

高知市男女共同参画推進プラン
2021 令和5年度
個別事業実施状況報告
(点検シート)

高知市男女共同参画推進プラン2021 令和5年度 個別事業実施状況報告(点検シート)

※ 点検シートの見方

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 自課評価	A 評価基準	R4 R5 R6 R7	A 目標達成(100%以上) B・目標達成(80~100%未満) C・60~80%未満(目標を少し下回った) D・60%未満(目標を大きく下回った)	◆対応(改善、今後どのようにするか)	
活動目標に対する具体的な取組。 実施に当たり◆男女共同参画の根柢から目的に対して、 工夫や配慮した点等を具体的に記入してください。	1 ア	事業名	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 ・8月1日「高知市男女共同参画の日」に開催し ①啓発作品品番数: 480点 (川柳: 470点、写真: 10点) ②男女共同参画推進委員会企業 6社 ③パネル展開催(7月21日～8月12日、会場: 市役所本庁舎) ④図書企画展開催(8月2日～8月31日、会場: オーテピア高知図書館)	◆男女共同参画の視点からの目的 ●事業の企画・立案・実施にあたり下記の視点を取り入れている。 【条例の基本理念(第3条から要約)】 (1) 男女の人の権の尊重 (2) 社会制度・慣行が及ぼす男女の社会活動の選択に対する影響への配慮 (3) 施策又は方針の立案及び決定に共同して参画する機会の確保 (4) 家庭生活における活動と職場や地域等における活動の両立 (5) 男女の性と生殖についての相互理解・尊重と生涯にわたる健康生活の維持 (6) 男女共同参画の推進に関する国際社会の動向への留意及び協調 (7) 市民一人ひとりの主体的な取組	◆検証《達成状況、その要因》 ・啓発作品応募数は480点で、前年度比22点増となり、目標点数を超えており、啓発の機会を確保できている。 ・図書企画展では135冊の図書を展示し、累計販出冊数は165冊であった。	◆対応(改善、今後どのようにするか) A・100%以上(目標達成) B・80~100%未満(目標を概ね達成) C・60~80%未満(目標を少し下回った) D・60%未満(目標を大きく下回った)		
事業費の決算額 ※事業単独の費用が算出できない場合は「-」、人件費のみの事業の場合は「0円」とする。	1 ビ	事業	多様性の尊重と固定化された役割分担意識の解消を図り、男女共同参画に関する意識を高めやすにするため男女共同参画推進について広報啓発を通過して、条例の理念及び「高知市男女共同参画の日」の周知を図るとともに、固定的な役割分担意識の解消を図る。男女共同参画に関する市役所の取組を増やすために広報・啓発を行ふ。	◆男女共同参画の視点からの目的 広報啓発を通じて、条例の理念及び「高知市男女共同参画の日」の周知を図るとともに、固定的な役割分担意識の解消を図り、男女共同参画に関する意識を高めやすくなるため男女共同参画推進について広報・啓発を行ふ。	決算額 (千円)	45 48 45 45 48 45 R7	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつか。 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	◆推進委員会の点検項目 【特に良かった点等】 推進委員会において個別事業の取組状況を項目ごとに点検し、特に良かった点や課題等について、コメントする。
事業内容の写真や事業チラシ等 当該事業に関連するプラン 2021の指標(数値目標)	1 シ	事業 担当課 写真等	事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。	担当課 人権同和・男女共同参画課 写真等	2F展示の本棚 	有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のため具体的な取組は妥当か。	◆推進委員会から点検コメント 【課題等】 ・ハカル屋等の来場者数や内容に対する意見、感想等が分からぬ。 ・その時に市役所や図書館に行かなければ展示を見るなどはない。SNSを活用すべき。写真や動画にして、インスタやYouTubeで公開し、フォロワーも増やせるよう宣伝すべき。市民の関心を集めることにつかげ。	
(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全2項目)：社会全体25%以上(ほか全8項目增加)	1 シ	事業 担当課 写真等	事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	事業 担当課 写真等	13	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 推進委員会において個別事業の取組状況を項目ごとに点検し、特に良かった点や課題等について、コメントする。		

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名						
1	ア	事業名 ①男女共同参画の日「8月1日」事業 ②男女共同参画推進表彰企業 6社 ③パネル展開催(7月31日～8月18日、会場：市役所本庁舎) ④図書企画展開催(8月2日～8月30日、会場：オーテピア高知図書館)	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 ・8月1日「高知市男女共同参画の日」に開催した事業を実施した。 ①啓発作品応募数 530点 (川柳:513点、写真:17点) ②男女共同参画推進表彰企業 6社 ③パネル展開催(7月31日～8月18日、会場：市役所本庁舎) ④図書企画展開催(8月2日～8月30日、会場：オーテピア高知図書館)	R3 R4 R5 R6 R7	A A A A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・男女共同参画の日表彰作品を効果的に啓発に活用し、男女共同参画やジェンダー平等への関心を高めることができるよう年代に応じた情報発信に努める。	
	1	事業(概要) 8月1日の「高知市男女共同参画の日」に開催した啓発事業を実施する。 ・啓発作品募集 ・パネル展示及び図書企画展 ※ 8月1日は昭和58年に本市に初めて婦人(女性)担当を配置した日。					◆検証《達成状況、その要因》 ・SNSを活用し募集したところ、啓発作品応募数は530点(前年度比50点増)となり、目標点数を超えることができた。 ・図書企画展では125冊の図書を展示し、累計貸出冊数は112冊であった。	
		◆男女共同参画の観点からの目的 広報・啓発を通じて、条例の理念及び「高知市男女共同参画の日」の周知を図るとともに、固定的な役割分担意識の解消を図り、男女共同参画に関する意識調査で「平等」と回答する市民の割合を増やすため男女共同参画推進について広報・啓発を行う。					◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・一般市民の方に気づいていたくための取り組みとして、非常に意義があることだと思う。	
		◆活動指標(目標) ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。	決算額(千円) 担当課 写真等	R3 45 人権同和・男女共同参画課 2F展示の本棚	R4 48 R5 49 R6 R7	必要性 効率性 有効性	◆推進委員会の点検項目 ・事業がプランの数値目標に結びつかか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	◆課題等 【課題等】 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のため具体的な取組は妥当か。 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。
		(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか 全8項目増加						
								オーテピア高知図書館での図書企画展

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
		No.	事業名	R3 自課 評価	A R4 R5 R6 R7	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R3 R4 R5 R6 R7	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・課Instagramを中心としたSNSやパネル展示等、引き続き様々な手段による啓発を行い、ターゲットを意識した効果的な啓発が行えるよう努める。	
1	ア	2	広報・啓発と情報発信 (市民等向け)	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・パネル展6回(高知市男女共同参画の日、女性に対する暴力をなくす運動、国際女性デーなど) ・高知市総合防災訓練でのブース出展 ・出前講座等19回(地域、学校、市職員など延べ1,444名参加) ・プライド月間キャンペーン2023(インボーフラッシュ掲揚、高知城レインボーライトアップ、大橋通りアーケードへのフラフ、フラッグの掲出、にじいろBOOKS)の実施 ・市広報「あかるいまち」のコラム「くらしの中のSDGs」に記事掲載(4月:SDGsのめざす未来、7月:部落差別の解消に向けて、12月:世界人権宣言と私たちの暮らし、3月:ジェンダー平等のためにできること～自分らしく生きる～)	R3 R4 R5 R6 R7	A A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆検証《達成状況、その要因》 ・出前講座は、前年度と同程度の依頼数であった。 ・プライド月間キャンペーンは6月のプライド月間に合わせた初めての取組として、集中的に展開することができた。 ・パネル展を行つ際には、市広報や課Instagram、庁内デジタルサイネージ等で情報発信を行い、広い広報に努めた。 ・高知市総合防災訓練でのブース出展を通じ庁外での啓発を強化することができた。 ・紙面リニューアルした市広報コラムでSDGsの視点を踏まえた広報啓発ができた。	◆検証《達成状況、その要因》 ・出前講座は、前年度と同程度の依頼数であった。 ・プライド月間キャンペーンは6月のプライド月間に合わせた初めての取組として、集中的に展開することができた。 ・パネル展を行つ際には、市広報や課Instagram、庁内デジタルサイネージ等で情報発信を行い、広い広報に努めた。 ・高知市総合防災訓練でのブース出展を通じ庁外での啓発を強化することができた。 ・紙面リニューアルした市広報コラムでSDGsの視点を踏まえた広報啓発ができた。
			◆事業(概要) 市民や企業に向けて男女共同参画やジェンダー平等、多様な性に関する啓発、情報発信や学習機会の提供を行う。 <市民向け啓発パネル展、出前講座等 <企業向け啓発><にじいろのまち宣言賛同企業の募集等 <情報発信> 市広報紙、SNS等による広報	決算額 (千円)	R3 327	R4 5	R5 150	R6 R7	◆推進委員会の点検項目 【特に良かった点等】
			◆男女共同参画の観点からの目的 様々なツールを用いて男女共同参画やジェンダー平等、多様な性に関する視点を社会に広げる。	担当課	人権同和・男女共同参画課 写真等	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性 ・事業の活動指標の達成状況は具体的な取組は妥当か。	◆推進委員会から点検コメント 【課題等】
			◆活動指標(目標) ・ジェンダー平等、多様な性に関するパネル展を年4回以上開催する。 ・要請に応じて出前講座講師を派遣する。						(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか 全8項目増加
									・男女共同参画の視点からの配慮があるか。 ・男女共同参画パネル展

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 R4 R5 R6 R7	A A A A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	R3 R4 R5 R6 R7	A A A A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)
1 ア	3	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ◆事業(概要) ◆男女共同参画の視点からの目的 ◆活動指標(目標)	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・庁内向け掲示板でパネル展やソーネの講座等に関する情報発信を行つた。 ・男女共同参画推進本部部局推進員会(推進員をR4:7名から14名に増員)は、「防災分野におけるジエンダー平等」をテーマに活動し、啓発物を作成した(全5回の活動)。 ・庁内各窓口へのALLYミニフラッグの設置を継続し、ALLYの見える化を継続した。 ◆事業(概要) ・庁内向け啓発・情報発信を通じ、男女共同参画やジエンダー平等、多様な性についての意識の浸透を図る。 ・庁内向け掲示板による情報発信 ・男女共同参画推進本部部局推進員会の活動推進 ・ALLY(アライ)の見える化推進 ◆男女共同参画の視点からの目的 ・庁内における男女共同参画の意識の浸透、多様な性のあり方にについての理解促進を図ることで、それらに配慮した施策の実施につなげる。 ◆活動指標(目標) ・庁内向け掲示板での情報発信 ・男女共同参画推進本部部局推進員会の活動を行う。	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・男女共同参画推進本部部局推進員会の活動報告書を男女共同参画推進本部部会、幹事会の他に、掲示板にも掲載することで、庁内全体に男女共同参画の意識の浸透を図った。 ・活動した部局推進員から、防災分野におけるジエンダー平等の視点について気つくことができたとの声があり、庁内におけるジエンダー平等の理解促進に寄与できている。	◆検証《達成状況、その要因》 ・男女共同参画推進本部部局推進員会の活動報告書を男女共同参画推進本部部会、幹事会の他に、掲示板にも掲載することで、庁内全体に男女共同参画の意識の浸透を図った。 ・活動した部局推進員から、防災分野におけるジエンダー平等の視点について気つくことができたとの声があり、庁内におけるジエンダー平等の理解促進に寄与できている。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・引き続き、庁内向け掲示板での情報発信と、男女共同参画推進本部部局推進員会の活動(テーマ:アンコンシンシャス・バイアス・ジエンダー平等)を行う。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】	◆推進委員会の点検項目 【課題等】
		取組の方向性 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	決算額(千円) 845	R3 R4 R5 R6 R7	必要性 事業がプランの数値目標に結びつかず。	担当課 人権同和・男女共同参画課 写真等	効率性 事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のためには具体的な取組は妥当か。 工夫考慮 ・男女共同参画推進本部部局推進員会の活動
		(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか 全8項目増加						

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 自課評価	R4 R5 R6 R7	A A A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	R3 R4 R5 R6 R7	R3 R4 R5 R6 R7
1 ア	5	レインボースクール	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 今年度は、6日間で12校の小中学校に対し、性の多様性についてご自身の経験をもとに講話を行った。実施日を増やしたこと、参加者は小学生・中学生・中学生・中学生などとなつた。	令和5年度の実施日 6/22(木)午前、午後の2校で実施 6/23(金)“ 6/24(土)“ 10/26(木)“ 10/27(金)“ 10/28(土)“	◆検証《達成状況、その要因》 性的指向・性自認について学ぶことのできる講師についての相談や、中学校進学に向けての制服の問題で悩む児童に対する各学校等からの相談も増えてきている。 令和5年度は、実施予定12校に対し、34校から応募があつた。 講師の生き立ちや経験からなる話や、基本的な知識を、児童生徒に分かりやすくお話ししたり、学校のニーズに合わせて話の内容を調整するなど、柔軟にご対応いただける講師の人柄も重なり、需要が増えてきていると思われる。	R3 R4 R5 R6 R7	R3 R4 R5 R6 R7	
		◆事業(概要) 外部講師を派遣し、教職員・保護者・児童生徒が「性の多様性」について学ぶ場を提供する。 トランジエンダーの方から直接話を聞くことで、その人の生き様から「ありのままで生きること」などの素晴らしさを心で感じじるどもに、自分自身を含む「性の多様性」について学ぶ。	◆男女共同参画の観点からの目的 「多様な性のあり方」について学ぶことで、性別にとらわれることなく、自分らしさや一人一人の個性を尊重することの大切さを認識し、理解を深める。	決算額(千元) 166	必要性 人権・こども支援課	◆推進委員会の点検項目 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・実施予定の12校に対して要望が34校もあるのは、効果が高いと思われるでの、注力する取組である。	◆課題等 ・R5年度は実施予定の12校を上回る34校から応募とのこと。20校に講師を派遣できず残念である。見直し(対応)にもあるように、現在の講師以外の方・グループ・NPO等で性の多様性について講演ができる四国在住の方等を探し、6年度には希望する全校に講師派遣ができるようになる必要があると考える。新講師は現講師と異なる性、年齢層の方であれば、多様性の観点から一層望ましいのではないか。 ・申請校は昨年25校あつて実施回数を8校から12校に増やしたが、更に申講師が増えている。費用対効果を考えれば、他の予算を削減しても現場からの要望が無い事業に重点的に予算を配分するという考え方もあると思う。
		多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消 一人ひとりの人权が尊重される社会をつくりましょう	◆活動指標(目標) 市立小・中・義務教育・特別支援学校(59校)のうち、12校への派遣を目標とする。(昨年度から4校増)令和5年度は、高知県出身で京都在住のトランジエンダーや大久保暁さんを招聘の予定。	担当課 写真等	効率性 ◆参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上(ほか全8項目増加)	◆事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	◆事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	工配慮 ・男女共同参画の観点からの配慮があるか。

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)	
1	ア	No.	事業名			
6	学校における男女平等教育の推進	◆事業(概要)	学校における男女平等に関する学習や男女共同参画についての学習を推進するため、人権教育に関する情報提供や各学校への指導・支援を行う。	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 例年、年間2回実施する人権教育主任研修会の年度当初の会にて、高知市の13の人権課題について児童生徒の発達段階に合わせて学習計画を立て、年度末には各学校で実践された内容を取りまとめた実践概要報告を作成し交流を行うことを提案している。 令和5年度に実施された、校内研修や年次研修等での研修等において、人権教育は特別なことをするのではなく、すべての教育活動の中で行われるものであることや、家庭科での「家族の役割」などの機会に、男女平等の視点に留意して学習するなど、指導者の少しの配慮により、様々な形で啓発が行われることを積極的に伝えていくようにした。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 本事業は、日々の授業に対し、人権課題の視点での関心を考慮し、授業を構成し、児童生徒への支援・指導を行うことを目的とするものである。 学校で行われる授業は、文部科学省の定めた学習指導要領を基準として、各学校で編成された教育課程のもと、各教科、道徳、総合的な学習、特別活動など標準授業時数に照らして教科横断型で進められている。特に中学校では、家庭科や社会科の授業で「男女共同参画社会基本法」にふれ、家庭を支える社会の仕組みについて学習していく。	
				◆検証《達成状況、その要因》 市立小・中・義務教育学校(59校)において、男女平等や男女平等参画を実現するための人権学習が計画的に実践され、令和5年度末の実践概要報告集において「女性」の人権課題への取組実績として記載される学校の割合が100%であった。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 本事業は、日々の授業に対し、人権課題の視点での関心を考慮し、授業を構成し、児童生徒への支援・指導を行うことを目的とするものである。 学校で行われる授業は、文部科学省の定めた学習指導要領を基準として、各学校で編成された教育課程のもと、各教科、道徳、総合的な学習、特別活動など標準授業時数に照らして教科横断型で進められている。特に中学校では、家庭科や社会科の授業で「男女共同参画社会基本法」にふれ、家庭を支える社会の仕組みについて学習していく。	
				◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】	
				◆推進委員会の点検項目 必要性	◆推進委員会の点検項目 必要性	
				決算額(千円) 担当課 写真等	効率性 ・事業がプランの数値目標に結びつかず ・事業がコスト、費用対効果は適切か。 有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成績の向上のために具体的な取組は妥当か。	
				人権・こども支援課 	◆活動目標 市立小・中・義務教育 特別支援学校(59校)において、男女平等や男女共同参画を実現するための人権学習が計画・実践され、令和5年度末の人権課題において「女性」の人権課題への取組実績として記載される学校の割合を100%とする。	
				(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目): 社会全体25%以上 (ほか全8項目増加)	◆活動目標 市立小・中・義務教育 特別支援学校(59校)において、男女平等や男女共同参画を実現するための人権学習が計画・実践され、令和5年度末の人権課題において「女性」の人権課題への取組実績として記載される学校の割合を100%とする。	

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)								
1	ア	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》	R3 R4 R5 R6 R7	B B B B B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》	・体育科・保健体育科における「性」に関する指導 ・体育科・保健体育科における「性」に関する指導 ・体育科・保健体育科全体で実施されるもの ・学校教育活動全般において、指導の進め方や他教科等との関連 ・より良いものとなるよう支援していく。				
		7	健康教育(性に関する指導)の推進	◆事業(概要)	性に関する「性に関する指導」について、男女の仕組みや違いについて知ることも、専門家から妊娠と出産について科学的に説明してもらうことで、命についての考えを深めることができます。 児童養護施設等に入所している児童や複雑な家庭環境の児童生徒がいるため、事前に講師等との打合せの際に伝える等した。助産師や産婦人科医師による専門的な立場から、スライドや動画を工夫して、児童生徒にわかりやすく命の大切さを具体的に学習できました。	自評価			◆検証《達成状況、その要因》	講演を聴き、性に関する悩みや疑問に対し、話や相談する場所を知ること、命を大切にし、また他人も大事にすることを改めて考える機会となつた。 また、命の歴史を振り返りながら、赤ちゃんの成長、自分たちの成長を実感させることができた。 ・養護教諭の研修会等で、性に関する指導の取組を啓発する。			
				◆男女共同参画の視点からの目的	決算額 (千円)	R3 0	R4 0	R5 0	R6 0	R7 0	◆推進委員会の点検項目	【特に良かった点等】	
				・生命や人格の尊重、男女平等や男女相互の理解と協力の重要性、自己や他者を尊重する態度を育み、望ましい人間関係を築いていくる資質を育てる。 ・性に関する科学的知識や其他の心身の健康のための行動選択・意思決定ができる態度を育成する。	必要性						◆推進委員会から点検コメント		
				◆活動指標(目標)	担当課	学校教育課					【課題等】		
				・胎児人形やエプロンシアター等の教材を用いた体験型学習といった、命の大切さを具体的に学習できるように指導・支援する。 ・養護教諭の研修会等で性に関する指導の取組を啓発する。	効率性						・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。 ・事業の実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。		
				(参考)関連する数値目標	写真等						・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		
				男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上ほか全8項目増加	工夫・配慮								

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)										
	No.	事業名															
1 ア	8	市職員に対する研修	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>・こうち人づくり広域連合実施の研修へ対象となる職員を派遣し、人権に関する啓発及び意識改革を行った。</p> <p>・派遣研修は、各部局研修委員会から派遣研修の推薦を受け、選考を行った。</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>こうち人づくり広域連合と連携し、男女共同参画社会づくりに係る研修や人権研修を実施する。</p> <p>また、女性職員の能力開発や意識改革のため、自治大学校や市町村アカデミーなど各種研修機関へ積極的に派遣する。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>・男女の人权に対する啓発等、人権に対する市職員の意識啓発・能力發揮促進のために研修を実施する。</p> <p>・階層別研修や管理職の研修等に男女共同参画社会づくり研修を実施、全職員の意識改革を促す。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>こうち人づくり広域連合実施の階層別研修を受講することで、各階層で男女の人权に関する啓發を継続する職員の意識改革のために、2年目課長補佐級職員をダイバーシティ推進研修へ派遣する。</p> <p>・女性リーダー職員育成のため、研修機関等へ計画的に派遣することで女性職員の能力開発の機会を継続する。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上ほか全8項目増加</p>	<p>評価基準</p> <table border="1"> <tr> <td>A:目標達成((100%以上))</td> </tr> <tr> <td>B:概ね達成(80~100%未満)</td> </tr> <tr> <td>C:少し下回った(60~80%未満)</td> </tr> <tr> <td>D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> </table>	A:目標達成((100%以上))	B:概ね達成(80~100%未満)	C:少し下回った(60~80%未満)	D:大きく下回った(60%未満)	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>研修を受講しやすい環境を整えていく。 また、各部局研修委員会とも協力しながら、引き続き、各種研修機関へ職員を派遣していく。</p>								
A:目標達成((100%以上))																	
B:概ね達成(80~100%未満)																	
C:少し下回った(60~80%未満)																	
D:大きく下回った(60%未満)																	
			<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>○人権研修…階層別研修(一般研修128人、新任係長71人)、人権コンプライアンス研修(94人)、職場人権研修(322人)</p> <p>○ダイバーシティ推進研修(36人)</p> <p>○派遣研修…市町村アカデミー「管理職を目指すステップアップ講座」(1人)、国際文化アカデミー「女性リーダーのためのマネジメント研修」(1人)、日本経営協会「第36回地方自治体女性職員交流研究会」(1人)</p> <p>男女の人权に対する啓発等の研修を実施した。人権研修推進員研修を人権コンプライアンス推進の2部構成として実施。例年ど同様に受講率も高く、職場人権研修の実施に真剣に取り組む所属長の姿勢が伺える。</p>	<p>自課評価</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	R3	C	R4	B	R5	A	R6		R7		<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>【特に良かった点等】</p>		
R3	C																
R4	B																
R5	A																
R6																	
R7																	
			<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p>	<p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業がプランの数値目標に結びつかず。 													
			<p>担当課</p> <table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>100</td> <td>177</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	48	100	177				<p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 	
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7												
48	100	177															
			<p>写真等</p>	<p>有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。 													
					<p>【課題等】</p>												
					<p>工配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。 												

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
	No.	事業名							
1 ア	9	広報・啓発及び情報提供	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p><広報・啓発></p> <ul style="list-style-type: none"> ソースコード発行(年4回) 各7,000部 メールマガジン発信件数 延べ5,224人 (登録者数445人) ホームページアクセス数 48,765 SNSによる情報発信 Facebookリーチ数 13,180 X(旧Twitter)インプレッション数 100,355 Instagramインプレッション数 2,155 人権フェスティバル(高知市)における啓発パネル展示及び情報紙等配布 <p><広報・啓発></p> <p>情報紙「ソーレ・スコープ」発行(年4回), メールマガジン発行, SNSによる情報発信等</p> <p><情報提供></p> <p>男女共同参画に関する図書・DVD・情報等の提供,DVD購入, 図書団体貸出, 新聞クリッピング等</p> <p>多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消</p> <p>一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう</p>	<p>◆事業(概要)</p> <p><広報・啓発></p> <p>情報紙「ソーレ・スコープ」発行(年4回), メールマガジン発行, SNSによる情報発信等</p> <p><情報提供></p> <p>男女共同参画に関する図書・DVD・情報等の提供,DVD購入, 図書団体貸出, 新聞クリッピング等</p> <p>多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消</p> <p>一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう</p>	<p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <p>概ね目標は達成できているが、X(旧Twitter)インプレッション数が目標を下回った。SNSは若い世代の利用が多いとされるが、関心があるワードを検索し情報を得るというより、既にフォローをしているサイトのタイムラインをチェックしているという傾向があり、まずは当センターをフォローしてもらえるよう、登録投稿の時間帯や興味を引いてもらいたい。</p>	<p>R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>自課評価</p>	<p>A A B</p> <p>評価基準</p>	<p>A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</p>	<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <p>情報紙やホームページ, SNSによる、より分かりやすく細やかな情報発信に努めるとともに、啓発誌や動画等の多様な啓発ツールの造成及び活用に努める。</p>

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 自課 評価	R4 R5 R6 R7	一 B B B R7	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》	
1 ア	10	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>講座名：性の多様性から「じぶん」について考える～誰もが排除されない社会をめざして子どもたちとの出会いから見えてきたこと～</p> <p>開催日：9月2日(土)</p> <p>講 師：田中一歩・近藤孝子 (にじいろi-RU)</p> <p>参加者：28名</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>・SOGIに関する講座</p> <p>・SOGIの多様性への理解を深め、性自認、性的指向の尊重につながるよう啓発に取り組む。</p> <p>◆男女共同参画の観点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p>	<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>市民に向けたSOGI及びジェンダーへの理解について講座を行い、啓発に努めた。普通とは何かといふことに問い合わせ、皆が違つて当然で、このことで人を排除したり差別をされることはいけないと伝えることができた。参加者数は目標30名に対し28名とわずかに届かなかつたが、アンケートの回答からもセクシャルマイナリティの方の参加が多く、安心して自分のセクシャリティを話してもらえる空間になつたと考える。</p>	<p>実施時期：10月</p> <p>定員：会場50名、オンライン30名</p> <p>講師：田中史緒里(ジェンダーフリー・オーダースーツフランダ株式会社クーゼス代表取締役)</p> <p>講座名：SOGI講座「思うがままに服を着る、それはあなたの自由である証」</p>	<p>R3 R4 R5 R6 R7</p>	<p>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)</p>	<p>◆活動指標(目標)</p> <p>・SOGIに関する講座 参加者数 30名</p>	<p>決算額(千円) R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>担当課 担当課 ノーレ</p> <p>写真等(講座チラシ)</p>

(参考)関連する数値目標
男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目)：社会全体25%以上 ほか全8項目増加

基本 目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
	No.	事業名							
1 イ	11	審議会等の女性登用の推進	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・府内において審議会等への女性委員の登用について理解を求めるため、男女共同参画推進本部本部会、幹事会において、女性委員の登用及び取組状況を報告した。 ・府内掲示板で女性委員の登用を呼びかけた。	事業(概要) 市が所管する各種審議会の女性委員比率の向上及び女性委員がない審議会等の数を減少させるため、府内関係課へ調査、働きかけ等を継続的に行う。	R3 R4 R5 R6 R7	B B B B B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・引き続き府内への働きかけを継続していく。 ・より効果的な手段を検討していき。 ・府内関係課へヒアリング等を行い、女性委員を登用できない要因等を分析する。	
			◆検証《達成状況、その要因》 ・女性委員を含まない審議会 15会(前年度13会) ・女性委員比率 30.8%(前年度30.7%) ・前年度からほぼ横ばいであつた。						
			◆男女共同参画の観点からの目的 政策・方針決定過程への男女平等の促進により、多様な市民の意見を反映させることができること。	決算額(千円)	R3 0	R4 0	R5 0	R6 R7	◆推進委員会の点検項目 【特に良かった点等】
			◆活動指標(目標) 府内関係課へ調査を行うとともに、女性委員登用の働きかけを行う。	担当課	人権同和・男女共同参画課 写真等	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつかか。		
			(参考)関連する数値目標 市の審議会等で女性がいない審議会 数:0会		効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 【課題等】		
					有効性				
					工夫 配慮		・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)											
1	イ	No.	事業名	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 ・高知市特定事業主行動計画において、令和7年度時点の数値目標等を設定しており、数値目標の達成に向けた、特定事業主行動計画や前年度の実績数値の他、ワークライフバランスに関する情報等について、府内掲示を活用して周知を図った。	自課評価	R3 R4 R5 R6 R7	C C C C C	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 女性職員の活躍のためには、長時間勤務の是正や男性の家事・育児等への参加、固定的性別役割分担意識の解消等が課題であり、女性職員に限らず広く職員全員への意識付けが必要であると考えている。そのためにも、引き続き府内掲示を活用し、ワークライフバランスや女性活躍に関する情報提供に努めていきたい。	◆検証《達成状況、その要因》 ○令和5年度の実績(女性職員の割合) ・部長・副部長級:15.0% ・課長級:20.8% ・課長補佐級:41.5%	各役職段階に占める女性職員の割合について、数値目標(令和7年度未時点)の達成には至っていないものの、全体的に上昇傾向が続いている。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】	◆推進委員会の点検項目 【特に良かつた点等】			
		12	各役職段階に占める女性職員の割合の向上	◆事業(概要) 高知市特定事業主行動計画に基づき、事務系の職種について男女の区別なく実績・能力に基づき、管理的地位への登用を行う。	決算額(千円)	R3 0	R4 0	R5 0	R6 R7	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつかず。	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成績の向上のために具体的な組は妥当か。	◆活動目標 女性職員のキャリア形成についてイメージやすいような情報や、ワークライフバランスに関する情報を府内掲示により周知する。	◆参考)関連する数値目標 市職員の女性管理職(課長副部長以上)の割合:部長副部長14%以上 課長22%以上 課長補佐45%以上	◆女性が出産や育児でのキャリア中断が女性に不利にならないように、むしろ子供を産み育てるなどを高く評価(中断としない)するなど、女性管理職に登用できるよう計画的な育成・制度が必要なのではないかと思う。 ・女性部長副部長、課長の実績値は年々上がっているが、課長補佐は下がっているのが気がかり。その原因を分析して、さらなる対処が必要だと思う。	工配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況(点検シート)

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)																																									
	No.	事業名																																														
1 イ	13	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>女性の活躍応援講座【オンラインマンド配信】</p> <p>講座名：「タイムマネジメント」で、私の明日を プラスアップ 開催日：10月22日～11月4日 講師：山岡仁美（株式会社グロウス・カンパニー・プラス代表取締役） 参加者：183名</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>・女性の活躍応援 職場や地域で活躍する女性が政策・方針決定過程への参画等、活躍の場を広げ、リーダーシップを發揮するためには必要な能力を磨く講座の実施。 (オンライン配信)</p> <p>◆男女共同参画の観点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で多くの機会を提供する。</p> <p>一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>次年度も企業研修としての活用を想定し、オンラインマンド配信により実施。</p> <p>実施時期：令和6年10月21日～11月3日 講師：山本幸美（株式会社グラッド代表取締役）</p> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>女性活躍に必要なマインド＆スキルアップにつながった。企業研修により実施。広報を高知県経営者協会に協力してもらい、参加者増につながった。</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>R3</td><td>B</td><td>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td></tr> <tr> <td>R4</td><td>A</td><td></td></tr> <tr> <td>R5</td><td>A</td><td></td></tr> <tr> <td>R6</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>R7</td><td></td><td></td></tr> </table>	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A		R5	A		R6			R7			<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>自課 評価</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> </table>	自課 評価															<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr> <td>91</td><td>424</td><td>160</td><td></td><td></td></tr> </table>	R3	R4	R5	R6	R7	91	424	160			<p>担当課 ソーレ</p>	<p>写真等(講座チラシ、オンラインマンド配信画面)</p>  <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目)：社会全体25%以上 ほか 全8項目増加</p>
R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																																														
R4	A																																															
R5	A																																															
R6																																																
R7																																																
自課 評価																																																
R3	R4	R5	R6	R7																																												
91	424	160																																														

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)											
	No.	事業名	R3 自課 評価 R4 R5 R6 R7	A A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)													
1 イ	14	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>・ソーレホームページの統計資料に「データで見るここのうちの男女共同参画2022」を掲載</p> <p>・県民企画「植木枝盛の女性解放論」講演会開催へ助成(参加者40名)</p> <p>※ソーレまつり2024のオンライン特設サイトでも配信を実施</p> <p>・ソーレまつり2024において、シンポジウム「増やせ女性議員!なくせ女性ゼロ議会～土佐町・馬路村・中土佐町の声を再び～」をこうち男女共同参画ポレールに委託し開催(参加者32名)</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>・情報収集及び提供、広報・啓発情報紙、SNS、ホームページ等を活用し、政治分野への女性の参画に関する情報提供及び啓発を行う。</p>					<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>講演、研修会の開催等啓発事業を通じた政治分野への女性の参画に関する情報の提供を行うとともに、情報紙やホームページ、SNSによる情報発信や多様な啓発ツールによる意識啓発を行う。</p>											
		<p>◆男女共同参画の観点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>情報紙及びSNSを通じ、政治分野への女性の参画に関する情報を発信する。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加</p>	<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>担当課</p> <p>ソーレ</p> <p>写真等(ホームページ統計資料掲載)</p> <p>データを見る</p> <p>こうちの <u>男女共同参画2022</u></p> <p>こうち男女共同参画センター「ソーレ」</p>	R3	R4	R5	R6	R7	-	-	-	-	-					
R3	R4	R5	R6	R7														
-	-	-	-	-														

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名						
2 ア	15	人権啓発の推進	<p>◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●啓発活動 計34回 <ul style="list-style-type: none"> ・部落差別をなくする強調旬間 映画会 「破戒」 参加者461名 ・部落差別をなくする強調旬間地域講演会 演題「母から娘へ そして孫へ～部落差別から人権を考える～」 講師：坂田かおりさん 参加者37名 ・企業向け講演会 演題：「誰もが働きやすい社会とはー「仕事×ジエンダー」の視点から考えるー」 講師：安藤真由美さん 参加者75名 ・人権の花運動（人権擁護委員との連携）実施 小学校等10か所 ・サッカー、野球冠協賛試合（高知県人権啓発センター主催）での啓発 計2回 ・出前講座 19回 計1,444名 <p>◆事業(概要)</p> <p>人権尊重の意識を高める啓発活動を実施する。（講演会、関係機関と連携した人権啓発、出前講座など）</p> <p>◆男女共同参画の観点からの目的</p> <p>市民一人ひとりが人権尊重の理念に対する理解を深め、社会全体の人権意識の高揚をはかる。</p> <p>D V 性犯罪等 等暴力を根絶するための啓発の充実</p> <p>D V やハラスメントのない社会をつくりましょう</p> 	<p>R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>自課 評価</p>	<p>A A A A A</p>	<p>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>・引き続き講演会や出前講座等の啓発活動を行っていく。その中でオンライン開催等、状況に応じた手法を検討する。</p>	

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名						
2 ア	16	DV防止啓発	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・パネル展開催(11月6日～11月17日、会場：市役所本庁舎) ・庁内トイレのDVカードの設置(44箇所) ・課Instagramでの記事掲載	R3 R4 R5 R6 R7	B C A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・SNSを活用し、若年層を対象に継続して啓発を行っていく。 ・DVで悩んでいる方に必要な情報が届くように他機関と協力した啓発方法を検討する。	
		◆事業(概要) ・DVに関する相談先の周知に努める。 ・DVについて正しい知識を持つよう、若年層への啓発に努める。	◆検証《達成状況、その要因》 ・引き続きパネル展の開催、DVカードの設置を行った。 ・課InstagramにてDVに関する記事を掲載し(2回)，啓発した。	R3 R4 R5 R6 R7	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】			
		◆男女共同参画の観点からの目的 DV等について正しい認識が持てるよう、若年層からの啓発に努める。	◆男女共同参画の点検項目 【参考】 ①活動指標(目標) DV等の防止啓発のために、パネル展開催(年1回以上)、庁内トイレ及び授乳室へのDVカードの設置(44箇所)を継続する。 ②(参考)関連する数値目標 DVを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上	決算額(千円) 560	R3 R4 R5 R6 R7	◆推進委員会の点検項目 【参考】 ①必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつかか。 ②効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ③有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	◆推進委員会から点検コメント 【課題等】 写真等  パネル展「DVはヒトゴトじゃない」	工夫・配慮

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
	No.	事業名							
2 ア	17	DV・データDVに関する啓発及び情報提供	<p>◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生・生徒等を対象にデータDVに異する出前講座を実施し、意識啓発及び情報提供を行い、参加者へのDV防止啓発を実施(6件、899名参加) ・DV防止啓発講演会を開催(会場90名、オンデマンド380名参加) <ul style="list-style-type: none"> ・DVの予防を目的として家族間のコミュニケーションにに関する講座を実施(21名参加) ・学生ボランティア体験を実施し、高校生にDV防止の周知・意識啓発(19名参加) ・情報報紙 ソーススコープ108号にDV防止講演会(R5年度実施)の概要を掲載し、意識啓発を実施 <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発(講演会、啓発事業、出前講座等) ・DV防止を広く啓発する講演会、啓発事業、出前講座、関連講座の実施 <p>◆男女共同参画の観点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまなかたちの啓発の機会を提供する。</p>	<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>出前講座や講演会等の実施により、参加者のDV防止に向けた理解が進んだ。</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>男女共同参画及び女性問題について、デジタル啓発誌や動画等の多様な啓発ツールを作成し、出前講座やSNS等を通じて啓発し、県民の正しい理解につなげる。</p>	R3 R4 R5 R6 R7	B B A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)	
					R3 自課 評価 基準	R4 R5 R6 R7
2	ア	No.	事業名	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 要保護児童対策地域協議会の実施(実務者会議年24回・新規ケース連絡会年12回・代表者会議年1回・個別ケース会議年260回)を開催し、児童虐待予防をメインとして男女の人権尊重にも触れた。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 令和6年度も引き続き講演会を通して一般市民向けへの児童虐待予防の啓発と関係機関への児童虐待対応研修を行い、また、必要に応じて子ども家庭支援センター職員が関係機関へ出向いて、研修を行って前講座の対応を行うこととしており、児童虐待予防を積極的に推進していく。 昨年度は大坂産業大学経済学部准教授、ステップファミリー支援組織 SAIJ 運営委員、日本離婚・再婚家族子ども研究会理事、阪府大東市男女共同参画会行動計画 委定委員森地真理氏を招き、ご自身の経験を踏まえステップファミリーそれぞれの気持ちに焦点をあて、家族の多様性とその多様性に則じたこから家庭のあり方について講演をしていました。毎年市民向けの講演会テーマは変更しており、今年度はゲーム依存をテーマとし、「ネット、スマートフォン依存からの脱却、治療、予防」を講演していただけた予定である。	R3 B B B B A:目標達成 B:概ね達成 C:少しだけ下回った D:大きく下回った
D V D V D V	性犯 罪等 等暴 力を 根絶す るため の啓発の 充実 するた めの 社会を つくりま しょう	◆事業(概要) ・要保護児童の早期発見や適切な対応を図るために開催。(参加者50名、アンケート回収率98%) ・広報紙あわらいまち以外に、各関係機関への情報や支援についての考え方を共有し、適切な連携のもとで対応する。 ・児童虐待問題に対する深い関心と理解促進、また、虐待の発生予防、早期発見・早期対応推進のため、児童虐待対応研修の実施や、広報紙、講演等を通じて、継続的な広報・啓発活動を行う。 ◆男女共同参画の観点からのお目的 子どものいる家庭におけるDVは、児童の人权を奪く侵害し、その心身の成長や人格の形成に重大な影響を与えるとともに、将来の世代の育成にも懸念を及ぼす問題であり、関係機関等が連携しつつ、適切な対応に努める必要がある。 また母親が被害者である場合、長期の支配下で依存傾向が強く、判断能力の低下や、経済的自立や母子生活支援施設との連携が重要となる。	◆検証(達成状況、その要因) 講演会のテーマは「ステップファミリー～親の離婚・再婚と子どものキモチ～」。講演会会場では支援者だけではなく、当事者の参加が男女ともに見受けられた。それぞれの家庭の抱える課題を父親、母親、子どもそれぞれの視点で捉えた講演会の内容は、家族観や家族の多様性を考えるきっかけとなつた。 児童虐待対応研修においては、児童虐待対応がメインとなつている。子育ての部分では、日頃から母だけではなく父についても積極的な子育てへ関わりを持つことも現場では、伝えており男女共同参画の観点についても触れる等して意識啓発している。	◆推進委員会の点検項目 決算額(千円) 担当課 ◆活動目標 実務者会及び新規ケース連絡会を毎月開催し、関係機関との情報共有や援助助員等への見直し等を行うことにより、要保護児童等への適切な支援を図る。 ・児童虐待についての正しい理解と認識を深めることができるよう、児童虐待予防講演会(年1回)を実施する。 ・関係機関に対し、児童虐待対応研修及び子育て支援支援研修を継続し行う。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつかず。 必要性 効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。 【課題等】 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	R3 846 子ども家庭支援センター 写真等 R4 837 R5 853 R6 R7 R3 R4 R5 R6 R7 R3 R4 R5 R6 R7 工配夫 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)			
		No.	事業名	自評価	R3 R4 R5 R6 R7	A A A	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	◆対応《改善、今後どのようにするか》	◆検証《達成状況、その要因》		
2	ア	19	情報モラル教育の推進	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》	・学校等からの出前授業の依頼には100%対応した。 ・基本的な情報モラル授業だけではなく、依頼してきた学校の実態や発達段階に応じて、当該教員と教材や課題内容の確認等を行い、常に授業内容を変化させながら授業実践した。 ・少年補導センターの職員を派遣する際も、小学校・中学校の補導教員が行く場合や、教員と警察署の職員がペアになって行く場合等、依頼内容に応じて変えていく工夫をした。 ・小・義務教育学校の2年生と6年生に情報モラルの合言葉「あみのめせかい」をデザインした啓発クリアファイルを配付した。 ・小・義務教育学校4年生から6年生までの3年間を通して使用することを目的とした「あみのめせかいノート」を、小・義務教育学校4年生に配付した。	実施が少年年補導センター主体で取り組んでいたため、学校から依頼書への記載内容の変更や、「あみのめせかい」の活用等を呼びかけしていく。また、日々新しいソフトや機能が開発されているので、新しい技術に対応できる知識や授業内容・課題の習得、研究をしていくようにする。	◆検証《達成状況、その要因》	・学校から依頼には100%対応できた。(99団体・219回) ・学校からは、実際にあつたトラブルや事業をもとに授業を実施してくれたことで児童生徒にはストレートに指導が入り、助かったという声や、色々な校種や職種の方が来てくれて効果的だったという声を聞いた。 ・全市立小中学校の児童生徒を対象に行った「インターネット利用にかかる実態調査アンケート」の結果を授業内容に取り入れることで児童生徒たちが自分のこととして考えることができていたとの声もいたいた。 ・日常的なタブレットの持ち帰りが始まり、家庭でのタブレットの使い方に関する授業依頼も増え、対応できた。	◆対応《改善、今後どのようにするか》	・令和6年度より児童生徒の家庭学習にGIGAタブレットが活用され毎日の持ち帰りが行われるることにより、ネットトラブルの増加や低年齢化が予想されるため、今まで以上に学校と連携して情報モラル教育の推進や啓発が必要になると判断した。しかし、出前授業の必要性にならざるを得ない場合がある。	
			◆事業(概要)	インターネットに関する正しい知識を身に付け、ネットトラブルを未然に防止するため、情報モラル教育を進める。 ・講演、出前研修 ・広報、啓発	決算額(千円)	R3 528	R4 574	R5 282	R6 R7	◆推進委員会から点検コメント	【特に良かった点等】
			◆男女共同参画の視点からの目的	未成年の健全育成という観点から加害者にも被害者にもさせないという意識で啓発・指導に取り組む。	担当課	少年補導センター	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつく。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	◆推進委員会の点検項目	【課題等】	
			◆活動指標(目標)	・依頼があつた学校等で情報モラルの講演や出前授業を実施する。依頼への対応100% ・インターネットの危険性を伝えるとともにファイル等を指導、広報していくよう啓発を行う。	写真等	小学校4年生に配付 小学校2・6年に配付	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	◆推進委員会から点検コメント	・タブレットを活用した授業が標準となるなかで、ネットトラブルに関して出前授業だけではなく、教師が日常的に教育・指導できる体制が必要ではないか。AIが一般的になるなかで、学校教育も情報化社会に対応できる体制を考えないといけないと思う。	
			(参考)関連する数値目標	DVを内容まで知っていると答えた人の割合: 70%以上	有効性	小学校4年生に配付 小学校2・6年に配付	・事業の活動指標の達成状況は順調か。	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	◆推進委員会の点検項目	【課題等】	
					工夫・配慮	小学校4年生に配付 小学校2・6年に配付	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	◆推進委員会から点検コメント	・タブレットを活用した授業が標準となるなかで、ネットトラブルに関して出前授業だけではなく、教師が日常的に教育・指導できる体制が必要ではないか。AIが一般的になるなかで、学校教育も情報化社会に対応できる体制を考えないといけないと思う。	

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)		
					R3 A A A R4 R5 R6 R7	R3 A A A R4 R5 R6 R7	
2 イ	No.	事業名	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 ・人権相談 16件(うち、DVに限る)を実施した。 ・専門の窓口を案内した。 ・職員が各種研修へ参加(人権啓発委員会等支援研修会他)し、資質向上を図った。 ・特設人権相談(人権擁護委員による相談)について市ホームページでの案内をした。 ・人権擁護委員の周知を目的に、6月1日「人権擁護委員の日」に合わせ、本庁舎1階で啓発活動を行った。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・引き続き研修等に積極的に参加し、職員の相談スキルの向上等に努めるとともに、人権擁護委員等と連携し、相談に対応していく。	A A A A A A A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	
20 実		◆事業(概要) ・様々な人権問題についての相談に応じ、関係機関と連携し必要な支援を行つ ・特設人権相談所の開設 ・相談にあたる職員の資質の向上を目的 に各種研修会へ参加する	◆検証《達成状況、その要因》 ・研修等を通じて、職員の資質向上を図ることができる、人権相談に対しても適切に対応できた。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】			
D V	D V	◆男女共同参画の観点からの目的 あらゆる人権課題の解決とすべての人 の人权が尊重される社会の実現を目指 す。	◆男女共同参画の観点からの目的 あらゆる人権課題の解決とすべての人 の人权が尊重される社会の実現を目指 す。	◆推進委員会の点検項目 【課題等】			
		決算額 (千円)	R3 15	R4 48	R5 70	R6 R7	◆推進委員会の点検項目 【課題等】
		担当課	人権同和・男女共同参画課 写真等	必要性 効率性	・事業がプランの数値目標に結びつかか ・事業がプランの数値目標に結びつかか ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥 当か。	【課題等】	
		◆活動指標(目標) ・研修等を通じて相談にあたる職員の資 質向上及び相談窓口の周知を図る。 ・法務局人権擁護委員と連携し、市民か らの予約に応じて特設人権相談所を開 設する。	(参考)関連する数値目標 DVについて誰(どこ)にも相談しなかつた 人の割合:30%以下	有効性 工 夫 廬	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)	
					◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》	
2	イ	No.	事業名	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》	R3 R4 R5 R6 R7	A A A A A
		21	DV等被害者支援ネットワーク会議の連携強化	・8月21日に高知県女性相談支援センターにて出前講座を実施(高知市のDV被害者支援について説明、意見交換)。 ・県主催の会議、研修会へ出席(2回)。	A: B: C: D:	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)
			◆事業(概要)	◆検証《達成状況、その要因》		
			DV	・緊急かつ重大な被害を未然に防止するため、スマートな府内・府外の連携を図る。 ・相談者の安全に配慮し、DV等被害者支援の知識や能力を持つ職員の育成に努める。		・女性相談支援センターへの出前講座にあたり府内の支援・連携体制について、再確認・共有することができる。 ・県主催の会議・研修会へ出席し、相談対応のスキルアップを図るとともに、府外関係機関との連携強化を図ることができた。
			DV	◆男女共同参画の視点からの目的	R3 R4 R5 R6 R7	◆推進委員会の点検項目
			DV	・被害者が配偶者等からの暴力で心身ともに傷ついていること、個別の状況があることに留意し、その人の立場に配慮した対応を徹底する。不適切な対応(にぶり、被害者に更なる被害(二次的被害)が生じることのないよう配慮する)。	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつかか。	
			DV	◆活動指標(目標)	R3 R4 R5 R6 R7	◆推進委員会から点検コメント
			DV	・DV被害者を支援する関係各課との連携、情報共有を図る。	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	【特に良かった点等】 【課題等】
			DV	写真等	有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。	
			DV		工夫 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	
				(参考)関連する数値目標 DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下		

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)					
	No.	事業名	R3 A 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4 A 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R5 A 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R6 R7	R7	R7				
2 イ	22	<p>事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性対象：一般相談(開館日)／月2回、こころの相談／月2回 ・専門相談(法律相談)／月2回、こころの相談／月2回 ・男性対象：令和5年度から男性の悩み相談、月4回に拡充 ・LGBTsに関する電話相談((にじいろコール)／月1回、令和3年度試行、令和4年度開始、令和5年度からリーダイヤルに変更 	<p>◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般相談 2,965件 ・法律相談 月2回(1回4名まで)94件 ・こころの相談 月2回(1回2名まで)46件 ・男性相談 月4回(1回2名まで)72件 ・性的な少數者対象：にじいろコール～LGBTsにに関する相談～ 月1回 17件 ・相談の多い内容について相談関連講座を実施した。3講座、194名参加 	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な相談窓口として、情報紙、ホームページ、SNS等で広報し、相談につながるよう、引き続き取り組む。 ・男性相談の4回のうち1回を、ZOOMによるオンライン対応へ変更。 								
D V	D V	<p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般相談 2,000件以上(DVを含む) 	<p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下</p>	<p>写真等(相談窓口紹介チラシ)</p> 	<p>決算額 (千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,741</td> <td></td> </tr> </table>	0	0	1,741		<p>担当課</p> <p>ソーシャル</p>		
0	0	1,741										

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 自課 評価	R4 R5 R6 R7	B B B B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》	
2 イ	23	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>・相談員スキルアップ研修 参加者延べ42名 テーマ「震災に備える」全3回実施 ①震災どこでエンダーバイアス ②被災地相談から見えてきたこと ③ごろのケア～被災者への寄り添い～</p> <p>・相談関連講座 ①幸せ力を育む～ありのままの受け入れ～(全2回) ②あなたの気持ち、伝わっていますか？～気持ちが違うコミュニケーション～ 21名参加(うち男性3名) ③女性の居場所づくり「ゆるりのしつぼ」 全6回／延べ156名参加 ※「コスマハシプロジェクト」と連携、化粧品セットを無償で、初参加で希望する方に提供</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>相談関係者に対する研修及び相談に関する女性問題の解決に向けた啓発 ・相談員スキルアップ研修 ・相談関連講座</p> <p>◆男女共同参画の観点からの目的 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまなかたちの機会を提供する。</p>	R3 自課 評価	R4 R5 R6 R7	B B B B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>・相談員スキルアップ研修 支援者のメンタルヘルスを考える研修を行う。 オンラインマンド・ライブ配信を実施し、参加者の増加につなげる。 ①セルフケア力を高める 6月2日開催 ※オンラインマンド配信あり ②マインドフルネス体験 6月23日開催</p>	
D V		<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>・相談員スキルアップ研修 研修を通じて、県内相談機関及び相談員との連携を推進することができた。</p> <p>・関連講座 女性の居場所づくり「ゆるりのしつぼ」第4回において「ふらりっとゆるりとつながる相談会」を開催。複合的な悩みを抱え、生きづらさを感じている女性の孤立や孤独を防ぐよう、一時的な支援と合わせて、安心して相談できる機会を提供できた。</p>	R3 自課 評価	R4 R5 R6 R7	B B B B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>・相談員スキルアップ研修 研修を通じて、県内相談機関及び相談員との連携を推進することができた。</p> <p>・関連講座 女性の居場所づくり「ゆるりのしつぼ」第4回において「ふらりとゆるりとつながる相談会」を開催。複合的な悩みを抱え、生きづらさを感じている女性の孤立や孤独を防ぐよう、一時的な支援と合わせて、安心して相談できる機会を提供できた。</p>	
D V		<p>◆活動指標(目標)</p> <p>・相談員スキルアップ研修 実施回数 3回 参加者数各回30名 ・相談関連講座 実施回数 3回 参加者数 50名</p> <p>(参考)関連する数値目標 DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下</p>	決算額 (千円)	R3 担当課 写真等(講座チラシ)	R4 R5 R6 R7 ソーレ	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	 <p>参加期間は、女性のみ 会場内にて開催あります (会場：本庁舎受付)</p> <p>12月24日(日) 13:00~15:30</p> <p>・体や心、生活のありここの相談 ・天然アロマ製品販売 ・子どもスペース、無料配布品あり</p>	

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
2	ウ	<p>事業名</p> <p>事業概要</p> <p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職を対象としたハラスメント防止研修については、対象者ができるだけ受講できることを設定した。また、令和2年度から実施しているため、ハラスメントに関する基礎知識はすでに理解しているという前提で講義内容を組み立て、実際にハラスメントが発生した際の対応方法について、グループでケース検討を行うなど、実践的な講義内容とした。 市職員等を対象としたハラスメント研修を実施し、職場におけるハラスメントの防止と、ハラスメントの事態が生じた際の迅速・適切な対応について、理解を深めてもらう。 ◆男女共同参画の視点からの目的 職員一人ひとりが、お互いの価値観等の違いを認め、尊重し、協力し合うことで、ハラスメントのない職場づくりを目指す。 <p>あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実度やハラスメントのない社会をつくりましょう</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職を対象としたハラスメント防止研修については、対象者ができるだけ受講できることを設定した。また、令和2年度から実施しているため、ハラスメントに関する基礎知識はすでに理解しているという前提で講義内容を組み立て、実際にハラスメントが発生した際の対応方法について、グループでケース検討を行うなど、実践的な講義内容とした。 市職員等を対象としたハラスメント研修を実施し、職場におけるハラスメントの防止と、ハラスメントの事態が生じた際の迅速・適切な対応について、理解を深めてもらう。 ◆男女共同参画の視点からの目的 職員一人ひとりが、お互いの価値観等の違いを認め、尊重し、協力し合うことで、ハラスメントのない職場づくりを目指す。 	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>ハラスメントのない職場を目指して、研修内容の充実を図るとともに、受講対象者に研修の必要性を理解させ、受講を促す。また、研修の効果についても検証し、今後の研修内容に反映していく。</p> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○管理職を対象としたハラスメント防止研修…(284人、受講率75.7%) ・管理職を対象としたハラスメント防止研修については、新任の管理職においては約90%となっているが、再度の受講となる新任以外の管理職においては受講率が低くなつた。 ・ハラスメント苦情相談員の周知について、6月に市内掲示を行い、新採研修(4月、10月、1月実施)において周知を行つた。 	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>ハラスメントのない職場を目指して、研修内容の充実を図るとともに、受講対象者に研修の必要性を理解させ、受講を促す。また、研修の効果についても検証し、今後の研修内容に反映していく。</p> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○管理職を対象としたハラスメント防止研修…(284人、受講率75.7%) ・管理職を対象としたハラスメント防止研修については、新任の管理職においては約90%となっているが、再度の受講となる新任以外の管理職においては受講率が低くなつた。 ・ハラスメント苦情相談員の周知について、6月に市内掲示を行い、新採研修(4月、10月、1月実施)において周知を行つた。

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・サポーター講師 13件13回 参加者数1,926名(うち男性 546名)	R3 R4 R5 R6 R7	A A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 引き続き広報によるニーズの掘り起こしや、都部 からも参加しやすいように、講座のオンデマンド またはライブ配信を活用する。 また、ソーレ登録のサポートー講師の発掘を行 う。	
2	ウ	事業名	◆事業(概要) ハラスメント防止に関する出前講座の実施。	自課 評価			◆検証《達成状況、その要因》 コロナ5類移行により、出前講座の依頼件数(は前 年度に比べ約4倍)と参加者数(は前年度に比べ約4倍)とも オンドマンド配信の活用により増加した。	
	25	出前講座	あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう					
			◆男女共同参画の観点からの目的 社会情勢の変化に注視しながら、男女 共同参画やジェンダー平等に関する県 民の理解を深めるため、さまざまな形で 知る機会を提供する。	決算額 (千円)	R3 29	R4 58	R5 103	R6 R7
			◆活動指標(目標) 申込に応じて出前講座に講師を派遣す る。	担当課	ソーレ	写真等(出前講座紹介チラシ) 	(参考)関連する数値目標 セクシャル・ハラスメントを内容まで知つて いると答えた人の割合: 70%以上	

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
	No.	事業名	実施時期	毎月第4土曜日 13:30～16:30	評価基準	R3 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	R4 R5 R6 R7	評価基準	R3 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)
2	ウ	性的少數者による電話相談 専用電話番号(フリーダイヤル)で専門の相談員がLGBTsに関する相談を受ける。	◆事業(概要)	にじいろコール(LGBTsに関する相談) 毎月第4土曜日 13:30～16:30	実施方法 専門相談員による電話相談	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 令和5年度から若年層の利用促進と相談への心理的ハードルを下げるなどを目的に、フリーダイヤルを導入。 月1回 相談件数17件	実施時期 每月第4土曜日 13:30～16:30	◆検証《達成状況、その要因》 情報紙に相談室の案内を毎号掲載するとともに、テレビ、ラジオ、SNS等により積極的な広報を行った。 相談件数は前年並の実績となつた。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 引き続き、相談窓口についての積極的な広報を行い、県内全域への周知を図る。
	26	あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	◆男女共同参画の観点からの目的 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまなかたちで知る機会を提供する。	決算額(千円) 218	担当課 ソーレ	写真等(相談窓口紹介チラシ) 	◆活動指標(目標) LGBTsに関する相談を受ける。	(参考)関連する数値目標 —	R5 R6 R7 R7

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
	No.	事業名							
3 ア	27	男女共同参画推進企業表彰 事業(概要) 「男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」に基づき、男女共同参画の推進に関する活動を積極的に実施している事業者を表彰し、市内事業者の男女共同参画推進を目指す。	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 ・表彰企業数 6社(応募6社)。 (株)片岡電気工事、北村商事(株)、(株)高知電子計算センター、新進建設(株)、社会医療法人仁生会、南海化学(株)土佐工場(※50音順) ◆活動指標(目標) 表彰企業数 3社以上 ワーク・ライフ・バランスの推進 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現します。	◆検証《達成状況、その要因》 ・目標を達成することができた。 ・募集時に、チラシ配布のほか、商工会議所や青年会議所等の関係団体へ周知を依頼し、市内事業者に対し、事業を広く広報したことで目標を超える企業から応募があつた。	R3 R4 R5 R6 R7	A A A A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・表彰企業の取組内容を詳しく紹介するチラシと動画を作成し、事業のPRに活用していく。 ・今後も募集時の広報や表彰企業のPR方法を工夫し、市内事業者へ男女共同参画の取組の浸透を図っていく。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)														
	No.	事業名																			
3 ア	28	男性職員の子育て参加の促進	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>・育児休業を実際に取得した男性職員の名簿や、体験記を庁内掲示し、広く職員全體に対して周知を図った。</p> <p>・国・地方の公務員に係る男性の育児休業取得率の政府目標を踏まえ、本市の特定事業主行動計画に定める男性職員の育児休業取得率の令和7年度末時点の数値目標を、「2週間以上の取得率85%」に引き上げるとともに、男性職員の育児休業等取得促進に向けた新しい取組について検討、準備を行った。</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>男性職員の育児休業等の取得促進を図るなどとともに、子育てに理解ある職場風土の形成を図るため、子育てや関係する各種制度について職員への継続的な情報提供を行う。</p>	<p>自課評価</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>B</td> <td>評価基準 A:目標達成((100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	R3	B	評価基準 A:目標達成((100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	R4	B		R5	B		R6			R7			<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>・本市の男性職員の育児休業取得率は順調に上昇しているが、特定事業主行動計画における新たな数値目標を達成するため、令和6年度より開始する新たな取組(育児休業等取得計画の作成や相談窓口の設置等)について、より実効性の高い取組を図つていく。</p> <p>・配偶者出産時特別休暇や育児見参加特別休暇の取得率が伸び悩んでいることから、休暇の内容や手続等について周知を図つていい。</p>	
R3	B	評価基準 A:目標達成((100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)																			
R4	B																				
R5	B																				
R6																					
R7																					
			<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>○令和5年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性職員育児休業取得率:48.1% ・配偶者出産時特別休暇取得率:86.1% ・育児参加特別休暇取得率:75.9% <p>・国の「こども未来戦略」に基づく各種施策により、男性の育児参加の機運が高まっていることや、職員への継続的な情報提供により、本市においても子どもが生まれた男性職員への意識付けや、男性の育児参加に関する職場の理解が進んできていると感じる。</p>		<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>																
			<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課</p> <table border="1"> <tr> <td>人事課</td> <td>写真等</td> </tr> </table>	R3	R4	R5	R6	R7	0	0	0			人事課	写真等	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業がプランの数値目標に結びつかず。 <p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 <p>有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成績の向上のために具体的な取組は妥当か。 	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【課題等】</p>				
R3	R4	R5	R6	R7																	
0	0	0																			
人事課	写真等																				
			<p>◆活動指標(目標)</p> <p>・子どもが生まれた男性職員とその所属長に對し、男性職員が取得できる休暇や共済組合の給付制度についての周知文書を送付する。 ・育児休業を取得した男性職員の名簿や、子育てに関する休暇等について、庁内掲示により情報提供を行う。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市男性職員の育児休業取得率: 36%以上</p>																		

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	取組の方向性	事業名						
3 ア	No.	事業名	<p>◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>中小企業等に対する助成制度を中心に、労働関連法の改正等の情報を掲載した。</p> <p>できるだけ多くの方に読んでいただけるように、読者目線で興味を引く内容となるよう心がけた。</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>平成18年度から発行している「高知市労働ニュース」で労働関係の施策について周知を図る。</p>	<p>R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>自課評価</p>	<p>B B B</p> <p>A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った</p>	<p>評価基準</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>引き続き労働ニュースを発行し、雇用、労働の制度改正に際するニーズを中心的に、時宜にかなった情報を届ける。</p> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>年4回発行(令和5年度の主な内容) 6月号:企業向けまちづくり窓口相談ほか 9月号:産業政策課の助成事業ほか 12月号:高知市技能功労者表彰式、高知市男女共同参画推進企業表彰式ほか 3月号:えるばし認定ほか</p>	
		29 「高知市労働ニュース」の充実・情報提供の拡充	<p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>働きたい人が性別にかかわりなくその能力を十分に發揮できるように、労働者や事業者に対して法や制度の周知を図る。</p>	<p>決算額 (千円)</p>	<p>R3 9</p> <p>R4 9</p> <p>R5 10</p> <p>R6 10</p> <p>R7 10</p>	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要性</p>	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>	
		ワーク・ライフ・バランスの推進	<p>◆活動指標(目標)</p> <p>「高知市労働ニュース」を年4回発行し、情報誌への折込や労働組合等に配布するとともに、市ホームページに掲載し幅広く広報を図る。 ※配布先:情報誌「情報誌プラットフォーム」:1000部、労働組合:200部</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数:毎年3社以上</p>	<p>担当課</p> <p>写真等</p>	<p>R3 9</p> <p>R4 9</p> <p>R5 10</p> <p>R6 10</p> <p>R7 10</p>	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>効率性</p>	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>	
		家庭や働く場においてジェンダー平等を実現します	<p>◆事業実施方法は適切か。</p> <p>・事業コスト、費用対効果は適切か。</p> <p>・事業実施方法は適切か。</p> <p>・事業の活動指標の達成状況は順調か。</p> <p>・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</p>					

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況(点検シート)

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)																																
	No.	事業名																																					
3 ア	30	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>男性の家事・介護への参加を促進し、性別役割分担についての気づきやワークバランスの充実について考える講座として座学や講話、親子料理教室等を実施した。</p> <p>①家事男親子料理教室 講師：山本尚高(サクラウンハレス新阪急高知副総調理長)，参加者：9名</p> <p>②家事男料理教室 講師：島村昌利(RKC調理製菓専門学校校長)，参加者：14名</p> <p>③ケアンメンをサポート「高知県の男性ケアラーチーム」と支援を考える～男性介護者に関する調査を終えて～ 講師：江西一郎(ケアンメンいごつそう会長)，津止正敏(立命館大学教授)，参加者：会場14名・オンラインマド32名</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>・男性家事・介護基礎講座 男性の家事・育児・介護への参画を促進し、男女の性別役割分業についての気づきと身辺自立やワーク・ライフ・バランスの充実について考える機会を提供する。夏休み親子教室、家事講座、介護講座の3講座を実施。</p> <p>◆男女共同参画の観点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの推進</p> <p>家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>男女の性別役割分担意識への気づきと、身辺自立やワークバランスについて考える機会を提供し、男性の家事・育児・介護への主体的な参加を促進する。</p> <p>中高年齢男性への性別役割分担意識への気づきを意識し、夏休みシーズンに男性保護者(親、祖父)と子(孫)料理教室を全3回実施する予定。家事講座、介護講座を3回実施する予定。</p> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>参加者数は延べ69名と、目標参加者数に僅かに届かなかつたが、固定的な性別役割分担意識やワークライフバランスについて考える機会を提供できました。第3回講座では、会場開催と併せ、オンラインマンド配信も実施することにより、来館が困難な介護者の参加につながった。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">R3</td> <td style="width: 10%;">C</td> <td style="width: 10%;">評価基準</td> </tr> <tr> <td>A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> <td>B</td> <td>A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>R5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自課評価</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>R7</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	R3	C	評価基準	A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	B	A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	R5		自課評価			R6	R7					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">R3</td> <td style="width: 10%;">R4</td> <td style="width: 10%;">R5</td> <td style="width: 10%;">R6</td> <td style="width: 10%;">R7</td> </tr> <tr> <td>決算額(千元)</td> <td>27</td> <td>163</td> <td>219</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当課</td> <td>ソーレ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	R3	R4	R5	R6	R7	決算額(千元)	27	163	219		担当課	ソーレ				<p>写真等(講座チラシ、講座第2回目の様子)</p>  <p>料理教室 11月26日(日) 10:00~13:00 講師：島村昌利さん(高知県立命館大学准教授) 料金：1,000円(税込) 定員：20名 申込方法：事前申込(HP)、電話 主催：高知市男女共同参画推進プラン実行委員会</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>—</p>
R3	C	評価基準																																					
A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	B	A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																																					
R4	R5																																						
自課評価																																							
R6	R7																																						
R3	R4	R5	R6	R7																																			
決算額(千元)	27	163	219																																				
担当課	ソーレ																																						

基本目標 取組の方針性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
	No.	事業名							
3 イ	32	事業名 ファミリー・サポート・センター事業	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 援助会員募集及び講習会案内を市広報誌に掲載するほか、地域の巡回セミナー、町内会の回覧板、市が子育て支援センター、包括連携協定を締結している市のファミリーマートの店内、協力いただける市内の量販店やスポーツクラブ等に会員募集チラシやファミリーサポートセンターの広報誌を配置してもらい、広く周知を行った。 令和5年度は3か所の地域子育て支援センターで延べ5回の事業説明会を実施。利用者を依頼会員につなげるだけでなく、面会員についてもPRした。	◆事業(概要) ・子育て行事の面立支援を主な目的とした有償ランティアによる相互援助活動。育児の援助を受けたい人、依頼会員と行いたい人（援助会員）が中介となり、ファミリー・サポート・センターに委託して実施。 ・援助内容は、保育施設・学校等への子どもの送り迎え、保育施設の時間外や学校の放課後等、また保護者の病気や完婚等の急用時の子どもの預かりなど。援助会員になるためには、所定の講習の受講が必要。 ・利用料は援助活動終了後、依頼会員が援助会員に直接支払う仕組み。利用料⇒600円～700円/時間（曜日や時間により異なる）	評価基準 A:目標達成或(100%以上) B:概ね達成(80%未満) C:少し下回った(60%～80%未満) D:大さじ下回った(60%未満)	R3 R4 R5 R6 R7	R3 R4 R5 R6 R7	◆対応《改善、今後どのようにするか》 よりスマーズにマッチングをするために援助会員数が少なく依頼ニーズの高い地区でのボクディングや店舗等でのPR強化を行う。 また、必要な子育て家庭が必要な支援につながるよう、今後も継続して地域子育て支援センターに市職員とファミリーサポートセンター職員が出向いての事業説明会を行う。	
			◆検証《達成状況、その要因》 令和5年度は、昨年度より1回多い年間4回の援助会員受講が必須の講習会を実施。また、町内会の回覧板でのPRをはじめ、市が旬活連携協定を締結している市内ファミリーマート店頭でのチラシ配置（3か月間）、重点地区を設定してのポスティングや量販店・スポーツクラブ等でのチラシ配置など、PRを強化した。会員の入れ替わりが多く、会員数合計は目標を下回ったが、新規会員数は大きく超える成果があつた。今後も、援助を希望する人や援助したい人に情報を届けることができる広報方法等の工夫・検討を行つ。	◆事業(概要) ・就労形態の多様化や共働き家庭の増加等を踏まえ、仕事と家庭生活の両立を支援していくことで、男女がともにいきき育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充家庭や働く場においてジェンダー平等を実現します。	◆会員登録者数 依頼会員登録者数751人（男性47人、女性704人）、5年度新規登録84人（男性7人、女性77人）。 援助会員登録者数479人（男性33人、女性446人）、5年度新規登録29人（男性5人、女性24人）。 両方会員登録者数49人（男性1人、女性48人）、5年度新規登録3人（男性0人、女性3人）。	◆会員登録者数 会員登録者数1,279人（新規会員合計116人）	◆特に良かった点等】 【特に良かった点等】		
			◆活動指標(目標) ・会員数 1,300人 ・新規会員数 50人/年	決算額 (千円)	R3 10,979	R4 12,767	R5 12,933	R6 R7	◆推進委員会の点検項目 【特に良かった点等】
			◆活動指標(目標) ・会員数 1,300人 ・新規会員数 50人/年	担当課 写真等	子ども育成課 写真等	必要性 効率性 有効性 工夫・配慮	・事業がプランの数値目標に結びつか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。 ・男女共同参画の視点からの配慮がある。	◆推進委員会から点検コメント 【課題等】 ・国の補助金活用で利用者負担の軽減をするともっと良い効果が出ると思われる。	
			(参考)関連する数値目標 —						

基本目標		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
取組の方向性	イ	No.	事業名	<p>◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>・地域子育て支援センター事業では、施設ごとに毎月のおたよりの発信や、ホームページやInstagramを活用して事業の内容やセンターの雰囲気、育儿講座などのなどを知つてもいい、来所しやすいうなPRの工夫をした。また、育儿講座などの開催にあたつては、地域の人材を取り入れたりした。</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>・地域子育て支援センター事業(一般型)…子育て家庭への交流の場の提供と交流の促進、地域の子育て情報の提供や育儿講座の実施、育儿相談への対応等を行つ。</p> <p>・子育て相談事業…子育て相談、園庭開放等…利用者支援事業…子ども・子育て相談員を配置し、きめ細やかな支援を行つ。</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>・チラシやおたよりの配布、ホームページ・Instagramなどの活用により、子育て世帯に地域子育て支援センターの存在や事業内容を知つてもうかるよう情報提供を継続していく。育儿講座については、親子で参加しやすく楽しめる新しい内容を取り入れていき、利用者の増加につなげたい。また、利用者同士が交流したり、気軽に相談ができるようなるべく多くの場所で情報提供を行い、利用にあたつての不安などに対し、丁寧に聞き取りを行うなど、きめ細やかな支援体制を継続していく。</p>

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 自課評価	B C B	R4 R5 R6 R7	R5 A目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	R6 R7	R7
3 イ	34	生活支援サービスの充実	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 第2層協議体のモデル地区として、現在定例的な会としては、旭地区のみである。他地区では、既に市社協が取組を進めている「まほつちけんネットワーク会議」や地域内連携協議会等の会議体が存在しており、それらを第2層協議体として共同開催するなど、既存の会議体を活用することで住民の負担を出来る限り減らしつつ、地域課題について協議する機会を作れるよう働きかけている。 ◆事業(概要) 各種高齢者支援事業から見えてきた地域課題について、地域住民や関係機関と話し合う場(第2層協議体)を創設する。 住民主体の地域課題解決のための仕組みづくりを目指す。	◆検証《達成状況、その要因》 令和5年度は、各地区にて年間90回の協議の場へ参画することが出来、地域課題から課題解決に向けた話し合いがされた地域もあつた。各地区的住民ニーズに対応した住民主体による運営である訪問型及び通所型サービスB事業も創設され、令和5年度は、モデル地区の1箇所に加え、新規に訪問と通所併設型2箇所と訪問型2箇所が立ち上がり運営開始している。 第2層協議体開催及び事業実施回数 R3:35 R4:92 R5:90 計217回開催。活動目標に到達できなかつた要因として、新型コロナウィルス感染拡大により住民同士の話し合いの場が自粛されていたことも大きく影響している。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 これまで地域包括支援センター職員が業務していた生活支援コーディネーターを令和5年4月～令和6年3月にかけて専従の第2層コーディネーターとして配置することとなつており、令和6年度は、人材育成も強化して取り組んでいく予定。 また、市社協のCSW(コミュニケーション・シヤルフーカー)と、それぞれの役割を整理し、協働しながら生活支援体制整備事業として第2層協議体の設置や開催ができるよう進める。			
			◆男女共同参画の視点からの目的 既存の地域の集いは、女性の参加者がほとんどであることから、男性でも参加できる、集いの場や地域の課題解決活動の創出を目指し、第2層協議体の活動を支援する。	◆活動指標(目標) 第2層協議体の開催及び事業実施回数 252回(令和3～5年度の3年間累計回数)	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 担当課 基幹型地域包括支援センター写真等	◆推進委員会の点検項目 必要性 効率性 有効性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。 	【課題等】 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。
			(参考)関連する数値目標 社会資源「集いの場」状況:705以上					

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)									
3	ウ	No.	事業名	事業内容	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》	R3 R4 R5 R6 R7	B B B B B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》	住民の多様なニーズに対応するため、従来より女性職員の割合が低い技術職においては、女性の人材確保が特に重要である。そのため、引き続き工業系高校や大学の学生をインターナンシップ生として積極的に受け入れ、具体的な業務内容や福利厚生について情報提供を行っていく。	また、女性職員が仕事と家庭を両立し、その能力を十分に發揮できるよう、働きやすい職場環境づくりのための取組を継続して行っていく。			
		35	高知市職員の技術職に占める女性の割合の向上	◆事業(概要)	女性職員が働きやすい職場環境の整備、高知市特定事業主行動計画に基づく技術系職員の女性の採用者数の拡大の取り組み等を実施し、高知市職員における技術職に占める女性の割合の向上を図る。	・ノー残業デー(毎週水曜日の)の実施。夏季休暇取得時に計画的な年休取得を得を通知。 ・人事考課、職員申告書、所属長からのヒアリング等をもとに、職員の状況を把握し配属先の配慮に務めた。 ・仕事と育児・介護の両立のためのハンドブックを作成し、休暇等の周知に努めた。 ・「職員の給与の男女の差異」をホームページ上で公表した。	○令和5年度実績 ・技術職受験者に占める女性の割合:15.8% ・技術職採用者に占める女性の割合:20.0%	◆検証《達成状況、その要因》	・インナーナンシップ生として受け入れることで、学生等が具体的に仕事の内容をイメージすることができた。	・制度等の周知により、職員が日々に必要な制度等の利用を検討することができた。	◆推進委員会から点検コメント	【特に良かった点等】		
				◆男女共同参画の視点からの目的	女性が能力を十分に発揮できる職場環境を形成し、多角的な視点で業務を推進することで、住民の多様なニーズに応対できる。	決算額(千元)	R3 0	R4 0	R5 0	R6 R7	◆推進委員会の点検項目	・事業がプランの数値目標に結びつくか。		
				◆活動指標(目標)	インターナンシップの受け入れ、県内の高校・大学等での具体的な業務内容や福利厚生事業の説明等、採用後のイメージを持ちやすいような職場案内を積極的に行っていく。	担当課	人事課 写真等	必要性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	◆推進委員会から点検コメント	【課題等】			
				(参考)関連する数値目標	高知市職員の技術職に占める女性の割合:15%以上	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。					

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
	No.	事業名	R3 自課 評価	C B C	R3 R4 R5 R6 R7 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 C:少し下回った (60~80%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》		
3 ウ	36	ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 「令和4年度から引き続き、来所電話相談の他、LINE相談を実施している。開設時間内に相談できない場合や、来所電話相談を希望しない相談者についても、個々の相談者に応じた支援を実施している。	弁護士や司法書士だけではなく、心理カウンセラー、キャリアコンサルタント、社会福祉士、ファイナンシャルプランナーの専門家相談を行い、様々な相談ができるようになっている。 ◆事業(概要) ひとり親家庭の幅広い相談内容に対して必要な情報提供や助言等を行つており、子育て給付額に母子・父子自立支援2名を配置し開設日は常時受け付けている。 就業相談は、県と共同でひとり親家庭等就業立支援センター事業」をNPO法人へ委託し、就業情報の提供、就業のための各種資格や技能取得のための制度案内、保育士や司法書士の専門家相談による課題整理も行い自立を支援している。	R3 R4 R5 R6 R7 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	R3 C C	◆検証《達成状況、その要因》 ・令和5年度の相談件数は、1,721件(LINE相談588件を含む)であり、前年度(1,835件)からやや減少した。 ・LINE相談件数は全体相談数の約34%を占めており、相談者からのニーズは増加傾向である。(令和4年度約29%) ・専門家相談を実施することにより、より専門的な相談内容に対応できており、相談者の不安解消につながっている。 ◆男女共同参画の視点から目的 従前は母子及び寡婦家庭を中心の支援であつたが、近年は支援の対象を父子家庭も含めたひとり親家庭全般として、様々な悩みに適切な助言を与えることで生活の安定を図り、就業相談の内容を充実させることによって経済的な自立を目指す。 女性活躍の推進についてジェンダー平等を実現しよう	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・定期的な広報誌への掲載や、関係機関にチラシを配付するなど、引き続き周知に務める。 ・LINEやオンライン相談、いろいろな専門家相談等を生かしながら、相談者個々に応じた状況に対応し、自立に向けた適切な支援に繋げていく。 ・令和6年度から、相談者間での相談内容の把握や進捗管理等を行い、さらに相談者に寄り添った対応を行っていく。 ・公式ホームページについて、より利用やすくなるため、令和6年度に改修を予定している。 ◆検証《達成状況、その要因》 ・センター利用者の満足度については、95%を超えており、相談者に寄り添つて対応できている。(相談利用者アンケートより) ・ひとり親家庭支援センターにおける就職率40.0%(就職者17人／求職者43人)	◆検証《達成状況、その後どのようにするか》 ・定期的な広報誌への掲載や、関係機関にチラシを配付するなど、引き続き周知に務める。 ・LINEやオンライン相談、いろいろな専門家相談等を生かしながら、相談者個々に応じた状況に対応し、自立に向けた適切な支援に繋げていく。 ・令和6年度から、相談者間での相談内容の把握や進捗管理等を行い、さらに相談者に寄り添った対応を行っていく。 ・公式ホームページについて、より利用やすくなるため、令和6年度に改修を予定している。
			◆活動指標(目標) ・ひとり親家庭支援センターにおける就職率が目標値の60%を超えるよう、効果的な就労支援を行う。	担当課 決算額 (千円) 5,300	R3 R4 R5 R6 R7 必要性 効率性 有効性	子育て給付課 FREE 無料相談 ひとり親のみなさんへ ～お仕事に関すること～各職種や扶養に関すること～ ～手当や通勤費、子どもの学習等に当たっての開設支援～ ～設備等や賃貸などについての相談～ ～就職や賃貸などについての相談～ ～弁護士、司法書士による法律相談（完全予約制）～	◆推進委員会の点検項目 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・男女共同参画の視点からの配慮がある	
			(参考)関連する数値目標 （参考）						

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名						
3 ヴ	37	事業(概要) 地域雇用活性化推進事業による接客・販売力向上セミナー・面談会やシニア向けの再就職応援セミナー等を含む求職者の就職につなげる。また、セミナー等の受講後は、高知市無料職業紹介所に登録いただき、継続的な就職支援を行う。	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 参加者は、就職につなげられるように、企業側の人材登用ニーズを踏まえたセミナーのテーマ設定等を検討した。 求職者側と求人側の双方のニーズをマッチングさせたため、セミナーや合同面接会等への参加者のうち希望者を高知市無料職業紹介所の登録につなげ、継続的な支援を行った。	◆男女共同参画の視点からの目的 女性やシニア世代を含むさまざまな年代層を対象としたセミナー等の実施により、性別や年齢にかかわらず、男女ともにいきいきと動ける社会の実現に寄与する。	R3 自課評価 R4 R5 R6 R7	R3 C B A:目標達成 B:概ね達成 C:少しだけ下回った D:大きく下回った	R3 R4 R5 R6 R7	◆対応《改善、今後どのようにするか》 令和6年度の各事業について、次のとおり対応することとする。 ①地域雇用活性化推進事業 国の委託事業である地域雇用活性化推進事業を令和4年10月からの再受託した事業(接客・販売力向上セミナー・面談会等)を実施し、目標値の達成を図る。 ②高知市無料職業紹介所 本事業と連携して進めている地域雇用活性化推進事業で実施したセミナー受講者に対し、直接面談による職業紹介を実施するなど根気強くサポートを続けていく。

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 R4 R5 R6 R7	B B B B B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)			
3 ウ	38	女性消防吏員増加に向けた取組み	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・市広報紙「あかるいまち」に、「高知市で活躍する女性消防士」という特集記事で、女性消防吏員の広報を行った。 ・消防職を目指したきっかけで、女性消防吏員としての目標及び仕事をする上で心掛けていることなど、女性目線の記事を発信した。 ・消防局公式のSNSに写真や動画を投稿する際に、女性消防吏員にも登場してもらっている。	◆検証《達成状況、その要因》 ・市広報紙及びSNSを活用して、女性消防吏員が活躍している姿を掲載することにより、女性も活躍することのできる職場環境であることを広報できただけではないかと考える。 ・令和5年度は、採用説明会等へ女性消防吏員を業務の都合上、派遣することができなかつた。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・採用説明会等へ引き続き積極的に参加するともに、本市女性消防吏員に対し事前に説明会の日程を周知し、参加を依頼する。 ・前年同様、SNSを活用した消防広報にも男性消防吏員と活動を共にすることことで、女性も活躍することができる職場であることを周知する。			
		◆事業(概要) 女性消防吏員の増加に向け、女性消防吏員を起用した広報に取り組むとともに、採用説明会等への現役の女性消防吏員の派遣によりその存在を印象付け、消防職員採用試験及び女性受験者数の増加を図る。	◆男女共同参画の観点からの目的 警察・自衛隊・海保など公安職の中では消防職が女性職員の比率が最も低いため、総務省消防庁から「消防本部における女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組の推進について(平成27年消防庁次長通知)による女性消防吏員の活躍推進のための積極的な取組の要請があつた。市としても、多様な強み・経験を有する職員による対応能力・市民サービスの向上に向けた取組の活性化・強化のため、女性消防吏員の増加を目指すとともに、女性の職域拡大により、女性の活躍推進を図る。	◆活動指標(目標) ・消防局で実施するイベントや就職説明会、防災訓練等に女性吏員を積極的に派遣し、より多くの市民に女性消防吏員の存在を知つもらう。 ・女性消防吏員及びその働き方をアピールする内容の広報物を作成し、広報活動に利用する。 (参考)関連する数値目標 —	◆推進委員会の点検項目 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつかず、事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつかず、事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつかず、事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適當か。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。
		女性活躍の推進 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現します	決算額(千円) 担当課 写真等	R3 0 消防局総務課 消防局総務課	R4 0 R5 0 R6 R7 必要性 効率性 有効性 工配慮	◆推進委員会の点検項目 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつかず、事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適當か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつかず、事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適當か。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつかず、事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適當か。
			写真等					

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
3 ウ	No.	事業名 ◆事業(概要) ・就労支援講座 職場で活用するさまざまなスキルを身に付ける講座を実施し、女性の就労を支援する。 ワード・エクセル超基礎講座 その他就労支援講座	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・就労支援パソコン講座 ①超基礎Word講座、実施日：7月2日、参加者：15名 ②超基礎Excel講座、実施日：7月9日、参加者：15名 ③検定対策Excel講座、実施日：7月23日、29日、30日、参加者：14名 ・就労支援講座「プロに学ぶ！『セルフプロデュース』」、実施日：10月1日、参加者15名（オンライン併用）	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・就労支援パソコン講座修了者の就業状況についてのアンケートを実施。 ・職場で活用できるスキルの習得を目的とした就労支援講座をオンライン併用で実施し、参加者の拡大を図る。 ・効果的な広報を実施し、講座の周知を図る。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)	
					R3 自課 評価	R4 C B
4	ア	事業名 地域で、防災で、男女共同参画をすすめよう	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 地域共生社会推進本部防災福祉部会のネットワークを活かし、地域状況(ヒト、モノ、コト)の把握に努め、未設立地域におけるまちづくりのキー・ペーソンへの接觸を行った結果、R5年度には泉野小学校区で設立に繋がった。 ◆事業(概要) 伝統的な地縁組織などが家族構成の変化や少子化・高齢化、また人口減少社会の到来などによつて、将来的な住民自治活動の継続が懸念される中で、今後の地域コミュニティのあり方、協力信頼による住民自治の継続、市民と行政の協働のまちづくりの仕組みづくりを目指すもの。 なお、主な事業として、地域内での連携・協力によって地域課題の解決を目指す仕組みである「地域内連携協議会」の設立・運営に関する支援や地域の運営がある。	◆検証《達成状況、その要因》 【地域内連携協議会】地域内の団体が互いに連携・協力しあえる仕組みを構築している。 【新コミュニティ計画】地域主体の取組が多く盛り込まれ、地域の活動計画として役割を果たすものとなっている。 引き続き、女性の参画による多様な市民の意見を反映できるように、地域の状況に沿った支援を行っていく。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 【地域内連携協議会】地域内連携協議会の未設立地域である春野地域(2小学校区)での設立に向け、地域の各種団体の会議に積極的に参加し、地域活動の状況及びキーパーソンの把握に努める。	A 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)
		40 地域コミュニティ再構築事業	◆活動指標(目標) 地域内連携協議会の認定(のべ数):33 地域(34小学校区)	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ◆推進委員会の点検項目 【課題等】	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ◆推進委員会の点検項目 【課題等】	
			◆(参考)関連する数値目標 高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上	決算額(千円) 5,044 写真等	R3 R4 R5 R6 R7 必要性 効率性 有効性	・事業がプランの数値目標に結びつか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)			
	No.	事業名								
4	ア	事業名 41 スポーツ指導者の育成	◆具体的な取組「工夫や配慮した点等」 今年度は更新対象者が100名を超える人 数だったので、スポーツ指導員養成教室に組 み込む形で更新講習を10回開講した。 内1回は以前から要望があつたとおり日中の 時間帯に開講した。	◆事業(概要) 地域スポーツの推進役として、地域で のスポーツ大会や教室等の企画運営な どを行ふ高知市スポーツ指導員(令和3 年度名称変更)認定更新講習会を開催 し、スポーツ指導者の育成を行う。	R3 R4 R5 R6 R7	D C D C D	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:目標達成(80~100%未満) C:少し下回った D:大きく下回った (60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・コロナ禍以前まで実施していた行事等を随時 再開していく、指導員同士の交流の機会を創 出する。 ・講習受講者がより参加しやすいカリキュラムに ついて検討する。		
			◆男女共同参画の視点からの目的 スポーツ指導者における女性の参画を 促進するとともに、生涯を通じた健康支 援のため男女とともに、スポーツ活動に親 しうことができるよう、生涯スポーツ社会 の実現を目指す。	◆活動指標(目標) スポーツ指導員認定更新講習会を年4 回実施予定。更新対象者全員の参加を 目指す。	R3 (千円) 346	R4 218	R5 361	R6 R7 必要性 効率性 有効性 工夫・ 配慮	◆検証《達成状況、その要因》 更新講習を計10回行つたものの、受講者は対 象者全体の約半数と目標を大きく下回った。 コロナ禍によりスポーツ指導員としての活動幅が減 少し、指導員同士の交流も希薄化したことが要因 として考えられる。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 【課題等】 ・各地域のスポーツ指導者は高齢化しており、コ ロナ禍でスポーツ活動を未だに行えていない地 域もある。スポーツ指導者になつてどんな活躍 ができるのか、広く広報する必要があるのでは。 ・受講者が参加しやすい方法について当事者に 聞くなど、検討してはどうか。

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
		No.	事業名	R3 自課 評価	R4 R5 C	R5 R6 R7	R6 B 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	R7 B 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)		
4	ア	42	事業名 ◆事業(概要) 消防団員の定数確保とともに、地域の消防災拠点としての機能を併せ持つ消防分団所の整備を図り、消防団が地域防災の中核的な役割を担えるよう、体制強化に取り組む。	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 令和5年度中に、トイレ等、女性団員に配慮した構造を備えた一宮分団屯所として、現在の場所からの移転新築を目指していたが、進捗がなかつた。 令和5年度は、女性のみで構成される旨知市消防団団本部分団を中心には、積極的に他の自治体分団と交流を図った。 その他、団本部分団の取組として、救命講習を通して、保育園や自主防災組織の訓練に積極的に参加することができた。	R3 自課 評価	R4 R5 C	R5 R6 R7	R6 B 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	R7 B 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 一宮分団屯所の予算計上後、スマーズに工事にすすめるよう調整を図る。 他の自治体分団と意見交換会を実施できた。得られた意見をどのように自分達の活動に活かすかを考える。 救命講習を通じて地域防災活動への参画を果たすことができた。地域の多様なニーズに女性団員として何ができるか考え、実践していく必要がある。 (女性団員は58人在籍※R6.1時点)
			◆男女共同参画の視点からの目的 事業の実施により、消防団の役割や必要性の周知を図るとともに、男女共同参画を推進し、地域防災における女性の参画の促進をすすめる。	決算額 (千円)	R3 - 担当課	R4 0 消防局総務課	R5 0 R6 R7	◆推進委員会の点検項目 必要性 効率性 有効性	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成績の向上のために具体的な取組は妥当か。 【課題等】 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	
			地域活動における女性の参画の促進 地域で、防災で、男女共同参画をすすめます							
			（参考）関連する数値目標 高知市における自治会長に占める女性の割合：25%以上							

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 R4 R5 R6 R7	D A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)			
4 ア	43	<p>◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>男女共同参画の視点を持ちながら、女性が個々に持つ能力を十分發揮し、課題に対する講座を開催した。</p> <p>財団の自主事業である休眠預金活用事業として実施。</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>・エンパワメント講座 自己肯定感を高め、女性が自分らしく社会に参画するために必要なスキルを見につける。</p> <p>※休眠預金活用事業(助成金)により実施</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p>	<p>内容:「内なるチカラを引き出そう」、講師:大崎まや(STUDIOぶらすあるふあ代表), 実施日:会場8月26日・オンラインマツド9月4日~10月7日, 参加者:会場19名・オンラインマツド128名</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>休眠預金活用事業により実施(オンラインマツド配信併用)。</p> <p>内容:「ジャーナリストに学ぶ言語化力 ジェンダー視点のアプローチ」</p> <p>対象:女性30名</p> <p>※休眠預金活用事業は、休眠預金等交付金にかかる資金を活用した事業として内閣府が認可した団体(一般社団法人日本民間公益活動連携機構)が資金を助成し、公募による採択団体が実行する。</p>				
		地域活動における女性の参画の促進	<p>◆活動指標(目標)</p> <p>・エンパワメント講座 参加者数20名</p>	<p>決算額(千円) 290</p> <p>担当課 ソーレ</p>	<p>R3 290</p> <p>R4 191</p> <p>R5 26</p> <p>R6 R7</p>	<p>写真等(講座のチラシと様子)</p> 	<p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>	

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名						
4 イ	44	防災分野におけるジェンダー平等防災を実施する。	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 ・高知市男女共同参画推進本部部局推進委員会の活動において、2種類の啓発物を作成した。 ・啓発物の作成にあたっては、誰もが当事者として考えることができるように、避難所や防災備蓄品に関するジェンダー平等をテーマとした。 ・作成した啓発物を高知市総合防災訓練等でパネル展示・チラシ配布し啓発を行った。	自課評価 R3 R4 R5 A R6 R7	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・作成した啓発物をSNSやパネル展示等で活用し、啓発を継続する。		
		◆事業(概要) 防災分野におけるジェンダー平等の啓発を実施する。	◆検証《達成状況、その要因》 ・高知市総合防災訓練では、「それぞれの立場での困り事が分かりやすい」等といった声があり市民の方に防災分野におけるジェンダー平等について知つてもういい機会になった。 ・部局推進委員会の活動後のアンケートでは、参加した職員からも気づきがあつた等との意見があり、職員に対する啓発にもなった。	担当課 決算額(千元) R3 R4 R5 R6 R7	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】		
		◆男女共同参画の視点 災害時におけるジェンダーへの視点からの取組の重要性への理解を深め、ジエンダーパートナーの方等多様な方への配慮にも寄与する。	◆推進委員会の点検項目 人権同和・男女共同参画課 写真等 ◆活動指標(目標) ・防災分野におけるジェンダー平等の啓発ツール(チラシ、動画等)の作成	担当課 決算額(千元) R3 R4 R5 105 R6 R7	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	◆推進委員会から点検コメント 【課題等】 事業が運営していくに際しては、地域社会の多様な背景や立場の異なる人々に、外見、子ども、高齢者、障害者、LGBTQ+など、様々な立場の人々が、お互い尊重し、協力して、より良い社会をつくることを目指す。また、男女共同参画の視点から、男女の立場や役割を尊重しながら、お互いの違いを認め、尊重する文化を育むことが求められる。このため、事業は、多様な立場の人々が一緒に活動する場所として機能する。また、事業は、多様な立場の人々が一緒に活動する場所として機能する。 (参考)関連する数値目標 防災士認定登録者に占める女性の割合:50%以上	有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
	No.	事業名	R3 R4	A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	自課 R5 R6 R7	評価 A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	
4 イ	46	れんけいこうち防災人づくり塾	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 令和5年度は、地震や気象災害、災害時の心のケアや、自主防災活動・地区防災計画における男女共同参画を始めとする多様性の視点などについて取り上げた。 また、高知市会場において視覚障害を持つ受講生に対して、教本や講座資料をテキストデータに打ち換えて提供するなどの個別対応を行った。	◆検証《達成状況、その要因》 令和5年度れんけいこうち防災人づくり塾修了者数 (高知市会場のみ):123人 内訳:男性63人(約51%)、女性60人(約49%) ※10代から80代まで幅広い年齢層の方が修了しました。 防災士認定登録者数に占める女性の割合: 34.2%(R5)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 防災人づくり塾のサテライト会場の運営を継続することで、さらに多くの地域住民が防災に関する知識を身につけ、地域全体の防災力向上が図られるよう取り組んでいく。 サテライト会場の運営に関しては参加者や巡回市町村からの要望等を踏まえて内容を改善していく。	各会場において高知市会場の講義を録画したDVDを上映するよう運営方法を変更したが、DVDの音声が聞き取りにくいとの声があつたため、業務委託の仕様を見直す。 引き続き、託児サービスを行うなど、幅広い住民に参加してもらうための運営の検討を行うとともに、防災における男女共同参画の視点に関する講座等を行い、受講者に啓発をしていく。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】	◆推進委員会の点検項目 【課題等】	
		◆事業(概要) 地震や風水害などの大規模災害に備えて、地域で防災活動に取り組む防災リーダーの育成を目的に、地域の方々に、防災に関する様々な知識を身につけてもらうため、各専門分野の講師による全8回の講座「れんけいこうち防災人づくり塾」を実施する。	◆男女共同参画の視点からの目的 事業の実施により、年齢・性別を問わずに幅広い住民が交流を深め、地域で連携し、地域の防災力向上を図る。	決算額 (千円) 5,150	R3 5,150 担当課 防災政策課	R4 6,828 R5 1,381 R6 R7 必要性 効率性 有効性 工 配 慮	事業がプランの数値目標に結びつかず。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のため具体的な取組は妥当か。 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	◆活動指標(目標) ・れんけいこうち防災人づくり塾 令和5年度 全8回開催 ・受講者に、防災における男女共同参画の視点の啓発を行う。	(参考)関連する数値目標 防災士認定登録者に占める女性の割合:50%以上

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況(点検シート)

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 自課 評価 基準	A A A R5 R6 R7	R4 R5 R6	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》	
4 イ	47	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>・女性防災リーダー養成推進講座</p> <p>男女共同参画の視点による災害対応の取組や復興支援策が各地域で実践されている状況を創出することに加え、講座受講生から女性リーダーとなつた者が被災後の復興に向けた議論にも参画していくことを目的とする講座を開催した。</p> <p>①ソーレ会場 実施日：6月10日、7月8日、10月7日、参加者延べ44名、②四万十市会場 実施日：7月23日、8月20日、11月19日、参加者延べ44名・女性防災リーダーとして登録。</p> <p>・女性防災リーダー養成推進講座(被災地訪問)</p> <p>実施日：9月8日～9月10日、参加者29名</p> <p>・地域連携フォーラム(四万十市会場)</p> <p>・防災・減災にかかる女性リーダーの必要性及び女性防災プロジェクト事業について、地域の理解促進・連携強化を図ることを目的に実施。被災地から講師を招聘しての講演会と地元防災グループの女性、女性防災プロジェクト修了生、行政等が参加するパネルディスカッションを実施した。</p> <p>実施日：12月3日、参加者22名</p> <p>・防災教室</p> <p>実施日：5月28日、参加者33名</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>・女性防災プロジェクト ※休眠預金活用事業(助成金)により実施</p> <p>(1)女性防災リーダー養成推進講座 (ソーレ・県西部の二会場)</p> <p>(2)被災地訪問(東北地方)</p> <p>(3)地域連携フォーラム(県西部)</p> <p>(4)地域活動推進(修了生支援等)</p> <p>(5)防災教室等</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまなかみ知る機会を提供する。</p>	<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>・女性防災プロジェクト・講座修了生30名をこうち</p> <p>・講座修了生の登録。</p> <p>・講座修了生の資金面での活動支援メニューとして「女性防災プロジェクト」の修了生による地域活動の支援」及び「地域における防災分野の取組への女性の参画」を促進するため、防災をテーマとする啓発や知識経験等の共有、展示等を実施する防災減災啓発イベントを開催する。</p> <p>実施日：12月1日 10時～16時</p>					
		<p>◆活動指標(目標)</p> <p>・女性防災リーダー養成推進講座の実施による修了生の育成(30人※ソーレ15人)</p> <p>・修了生による情報発信及び交流活動の実施</p> <p>・修了生への地域活動に向けた支援の実施</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>防災士認定登録者に占める女性割合:50%以上</p>	<p>決算額 (千円)</p> <p>担当課</p>	<p>R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>ソーレ</p> <p>写真等(左:被災地観察 右下:講座第2回 フィールドワークの様子)</p> 				

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 自課評価	B C C	R4 R5 R6 R7	A目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	評価基準 A目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》
5 ア	48	さまざまな世代やライフスタイルに応じた健 康づくりのための講座等の開催	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 お世話役や参加者の高齢化問題に加え、新型コロナウィルスによる外出制限や体操会場の休止を余儀なくされたことにより、活動が低迷してきており、会場の継続支援を重視的に取り組んでいく必要がありますが、地域のどこで体操が行われているか市民に分かりやすく目印としてのぼり旗を作成し、希望会場から順次配布している。	◆検証《達成状況、その要因》 令和5年度末で、いきいき百歳体操会場349会場、かみかみ百歳体操会場333会場、しやきしやき百歳体操会場252会場どなついている。新規立ち上げの会場もあるが、新型コロナ感染症拡大以降、廃止会場が上回る状況が続いている。 いきいき百歳体操参加者数:6,126人(R5.7.1調査時)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 活動として20年以上継続しており、お世話役や参加者の高齢化が進んでいるところに、新型コロナウィルス感染拡大したことで参加者や体操会場が減少している。これから先も高齢者の介護予防を目的に高知市発祥のいきいき百歳体操を継続する事に専従配置された地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを中心伴走支援するとともに、いきいき百歳体操を幅広い年代の方に知ってもらうよう情報発信していく。			
		あらゆるライフスタイルにおける心と体の健康支援	◆事業(概要) ・いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、しやきしやき百歳体操、サポーターフォロー・低栄養予防(栄養改善活動)事業の実施	◆事業(実施) NPO法人いきいき百歳応援団と連携し、課題や取組状況を把握するため体操会場の訪問調査、いきいき百歳新聞を年2回発行して情報発信している。 また、身体機能の維持・向上、社会参加機会を確保し、自立した生活が送れるよう、訪問型サービスC事業を活用した会場等へのつなぎ支援を継続している。	◆検証《達成状況、その要因》 令和5年度末で、いきいき百歳体操会場349会場、かみかみ百歳体操会場333会場、しやきしやき百歳体操会場252会場どなついている。新規立ち上げの会場もあるが、新型コロナ感染症拡大以降、廃止会場が上回る状況が続いている。 いきいき百歳体操参加者数:6,126人(R5.7.1調査時)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 活動として20年以上継続しており、お世話役や参加者の高齢化が進んでいるところに、新型コロナウィルス感染拡大したことで参加者や体操会場が減少している。これから先も高齢者の介護予防を目的に高知市発祥のいきいき百歳体操を継続する事に専従配置された地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを中心伴走支援するとともに、いきいき百歳体操を幅広い年代の方に知ってもらうよう情報発信していく。		
		生涯にわたる健康生活を充実させましょう	◆男女共同参画の視点からの目的 介護予防活動への住民参画を促進することで、より活動的な生活となり、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるようになる。	◆事業(実施) 担当課 決算額(千円) 31,638 28,854 28,060 R3 R4 R5 R6 R7 基幹型地域包括支援センター 写真等 ◆活動指標(目標) ・いきいき百歳体操参加者数9,000人/年 ・いきいき百歳サポートー新規育成数120人/年	◆検証《達成状況、その要因》 令和5年度末で、いきいき百歳体操会場349会場、かみかみ百歳体操会場333会場、しやきしやき百歳体操会場252会場どなついている。新規立ち上げの会場もあるが、新型コロナ感染症拡大以降、廃止会場が上回る状況が続いている。 いきいき百歳体操参加者数:6,126人(R5.7.1調査時)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 活動として20年以上継続しており、お世話役や参加者の高齢化が進んでいるところに、新型コロナウィルス感染拡大したことで参加者や体操会場が減少している。これから先も高齢者の介護予防を目的に高知市発祥のいきいき百歳体操を継続する事に専従配置された地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを中心伴走支援するとともに、いきいき百歳体操を幅広い年代の方に知ってもらうよう情報発信していく。		
			(参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.27年 女性21.77年	◆推進委員会の点検項目 担当課 必要性 効率性 有効性 工配慮 ◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 【課題等】 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 【課題等】 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。			

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 自課 評価	R4 R5 R6 R7	B B B B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	R3 R4 R5 R6 R7	R3 R4 R5 R6 R7
5 ア	49	生涯学習活動の促進 ◆事業(概要) 市立公民館で年間を通じて各種講座を開設し、広く市民に生涯学習の機会を提供する。	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・中央公民館は、市民のライフスタイルに応じて、各室の特徴を活かしながら様々なジャンルの講座を実施した。男性受講者の割合が2割から3割に満たない数値で推移しているため、男性の参加意欲を促す内容の講座を開設し、男女問わらず生涯学習の機会を提供できるよう工夫した。 ◆男女共同参画の観点からの目的 性別・年齢を問わず、生きがいづくりと健康増進、また受講生同士の交流の場となるような講座を実施する。	あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援 生涯にわたる健康生活を充実させましょう	R3 R4 R5 R6 R7	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・中央公民館は、初めてでも参加しやすい講座から1つの事柄を深く追究する講座まで、男女問わずに参加したくなるような生涯学習の機会を提供していく。そのため、受講者アンケートの意見や、今話題になっているものや、今後の展開が見込まれる話題のテーマを講座に取り入れ市民のニーズに応えていく。	◆検証《達成状況、その要因》 ・コロナ禍と比較すると、受講者数は増加した。市の活動範囲が広がりを取り戻してきた結果。 ・女性の参加率が高く、男性の参加が少ない。 ・中央公民館各種講座等受講者数 2,329人 ・地域の市立公民館で実施した受講後のアンケート調査で、生涯学習の中で身に付けた知識や技術を活かそうとしている人の割合は、R5年度は97.6%と高い数値を維持している。 (参考:R4年度 96.8%) 地域の市立公民館事業参加者数 5,778人
		◆活動指標(目標) ・中央公民館各種講座等受講者数 (3,500人) ・地域の市立公民館事業参加者数 (5,000人)	決算額 (千円) - 担当課 写真等	R3 - 文化振興課 ◆活動指標(目標) ・中央公民館各種講座等受講者数 (3,500人) ・地域の市立公民館事業参加者数 (5,000人)	R4 - R5 - R6 R7	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】	◆推進委員会の点検項目 【課題等】
		(参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性 18.27年 女性21.77年	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。	工夫 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。			

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 自課評価	R4 R5 R6 R7	D 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R3 R4 R5 R6 R7	R3 R4 R5 R6 R7	R3 R4 R5 R6 R7
5 ア	50	スポーツ推進事業	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され たことに伴い、各地区体育会の事業数も増加 した。 近隣地区合同スポーツイベントは4地区、地 区体育会育成補助事業は2地区、その他地 区对抗スポーツ大会は秋季・冬季共に開催 することができた。 また、地区の運動会については、昨年は2 地区のみ開催したが、今年度は22地区の開 催となり、頭著に増加した。	◆検証《達成状況、その要因》 昨年度と比較すると、事業開催数は増加傾向に あるが、コロナ禍前の水準にはまだ届いていない。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 各地区の体育会も、運動会の時間を短縮した り、防災を絡めた運動会の実施等、工夫をしな がら開催することができる。 地区に対するサポートを継続していくと共に、 各種事業の取り組みに対しての試行錯誤も行 なっていく。			
		◆事業(概要) 小学校区ごとに設置の地区体育会で 開催される地区運動会や近隣地区合同 スポーツイベント等が実施されれるよう地区 体育会への活動支援を実施し、男女とも に年齢を問わずスポーツに触れる機会の 提供を図る。						
		◆男女共同参画の観点からの目的 生涯を通じた健康支援のため男女とも に、スポーツ活動に親しむことができるよ う、生涯スポーツ社会の実現を目指す。						
		◆活動指標(目標) 地区体育会での地区運動会の開催 近隣地区合同スポーツイベントの実施	決算額 (千円) 346	R3 R4 R5 R6 R7 346 1,381 1,573	◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつかか る。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつかか る。		
		あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援 生涯にわたる健康生活を充実させましょう	担当課 写真等	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥 当か。	【課題等】 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		
		(参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性 18.27年 女性21.77年						

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名						
5 ア	51	がん検診	<p>◆事業(概要)</p> <p>胃がん検診、大腸がん検診、胸部検診(以上、40歳以上の市民対象)、子宮頸がん検診(40歳以上の女性市民対象)、乳がん検診の実施によるともに対象者への受診勧奨を行う。</p> <p>あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援</p> <p>生涯にわたる健康生活を充実させましょう</p>	<p>◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>○4月:年度末年齢42~45歳の方のうち前年年度に受診していない方と、46~63歳の方のうち過去5年間に高知市実施の検診の受診履歴のある方で前年度に受診していない方へ、乳がん検診・子宮頸がん検診個別受診券を送付。</p> <p>○6月:乳がん検診は年度未年齢が41歳、子宮頸がん検診は年度未年齢が21歳の方へ、無料クーポン券付受診券を送付。</p> <p>○7月:女性健診受診のオンライン申込み開始。広報があるいまち7月号で女性健診の実施と申込み方法(オンライン)についての記事を掲載。</p> <p>○8月:病院で受診する乳がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診のオンライン申込みを開始。</p> <p>○9月:持参による大腸がん検診について高知市公式LINEで広報。</p> <p>○12月:高知市のがん検診を未受診の方がいる世帯へ受診案内はがきを送付。</p> <p>○1月:高知市成人式で配布されるチラシに子宮頸がん検診受診案内を掲載。</p> <p>○2月:次年度の集団検診申込書を送付。</p> <p>◆男女共同参画の観点からの目的</p> <p>市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるよう、がんの早期発見そのための検診機会を確保する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がん検診受診率 16%以上 ・乳がん検診受診率 18%以上 <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>子宮頸がん検診受診率:20%以上 乳がん検診受診率:22%以上</p>	<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>・子宮頸がん検診:16.5%</p> <p>・乳がん検診:19.3%</p> <p>令和5年度から、病院で受診する胃がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診の受診券申込みや、20代から30代の方が対象の女性健診申込みが実施と子宮頸がん検診を同時実施の受診申込みについて、オンラインでの申込みを開始した。</p> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>【特に良かった点等】</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>引き続き、オンラインでの申込みを継続するよりも、高知市公式LINEや市広報あかるいまちを活用し、オンライン申込みの周知を図る。また、市内140の大腸がん検診実施医療機関に、健康増進課作成の検診実施をお知らせするポスターを配布し、がん検診受診についての啓発を行う。</p>		

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 R4 R5 R6 R7	B A B	評価基準 A:(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)			
5 ア	52	成人歯周病検診	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・対象年齢を60歳を追加し、40歳、50歳、60歳の節目年齢を対象として実施。 ・高知市近隣の市町村でも受診できるよう県内統一広域での個別歯科医療機関委託で実施。 ・4月に対象者13,384名へ個別に案内通知。 ・申込みの利便性を図るため、対象者への個別案内ハガキへ申込用のQRコードを掲載し、WEB申込も開始。 ・ホームページ上からもWEB申込を可能とし、WEB環境のない方もいるため、従来の電話での申込も併用。 ・各種保健事業でのPR。 ・広報あかるいまちで啓発記事(6月・11月・2月)を掲載。 ・申込者がすべて受診に結び付くように、受診票を送付する際に同封するチラシはナビゲーション論を活用。	◆検証《達成状況、その要因》 ・申込者1,335名に対して、842名の受診であった。 ・対象者への個別通知、広報あかるいまち、高知市ホームページへの掲載の他、高知市公式LINEを活用した周知を行った。 特に、QRコードを掲載し、WEB申込を開始したことで、申込の利便性が向上した。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・歯周病は全身疾患に關係することから、後期高齢者歯科健診の対象である75歳の手前の手前の70歳を対象に追加し、成人期から高齢期までの節目年齢における歯周病検診を実施し、歯科受診のきっかけづくりとする。 WEB申込を継続し、申込の利便性を図る。			
		◆事業(概要) かかりつけ歯科医を持つ割合が少ない40歳、50歳、60歳(年度末年齢)の市民を対象に、歯周病検診を委託歯科医療機関における個別検診により実施する。 ◆男女共同参画の観点からの目的 市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるよう、生活習慣病などの全身疾患に関連する歯周病を早期に発見し、歯科受診のきっかけとして、成人歯周病検診を実施する。 あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援 生涯にわたる健康生活を充実させましょう	決算額 (千円) 2,274	R3 R4 R5 R6 R7	必要性 必要性 必要性 必要性 必要性	◆推進委員会の点検項目 【特に良かった点等】 ・事業がプランの数値目標に結びつか。 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	◆推進委員会から点検コメント 【課題等】 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のため具体的な取組は妥当か。 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名						
5 ア	53	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 精神保健福祉相談は、専用の相談電話(2回線)で主に受付し、来所を希望する方及び職員が訪問が必要と判断した時には来所や訪問での相談にも対応した。 パソコンやスマートフォンから簡単にストレス度や落ち込み度などの心の状態がチェックでき、相談窓口が表示されるシステム「ここでの体温計」を、高知市ホームページからアクセスできるようになるとともに、名刺サイズのカードにQRコードを載せ配布することで、周知した。・高知市公式LINEで相談窓口、こことの体温計へのアクセスを呼びかけた。	◆事業(概要) 市民の誰もがこの健康について相談できる場として、仕事や生活に不安を感じている方などの相談に対応する。	R3 R4 R5 R6 R7	A A A A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 引き続き高知市ホームページ、高知市公式LINEなどを活用し、アクセスしやすい相談の場となるよう、広報を行つ。 また、市民のこころの健康が保たれるよう相談対応の質を向上していく。	
		◆男女共同参画の観点からの目的 市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるよう、相談対応を通してこれらの健康を保つための支援を行う。	R3 R4 R5 R6 R7	◆推進委員会の点検項目 必要性	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】			
		◆活動指標(目標) 精神保健福祉相談 延べ2,800件	決算額(千元) 250	R3 R4 R5 R6 R7	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつかか。			
		◆写真等	担当課 健康増進課	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	◆推進委員会から点検コメント 【課題等】			
		(参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性 18.27年 女性21.77年		有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。				
		あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援 生涯にわたる健康生活を充実させましょう		工農夫 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				

基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名	R3 自課 評価面	A R4 R5 R6 R7	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R3 R4 R5 R6 R7	◆対応《改善、今後どのようにするか》	
5 ア	55	妊娠・出産期等の支援 ◆事業(概要)	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 ・市内4カ所に子育て世代包括支援センターを開設。西部と北部については土曜日開所をしており、市民の妊娠届出の利便性を図った。 ・パパママ教室(年18回開催)は、西部・東部・北部子育て世代包括支援センターにて予定通り開催。沐浴体験や妊娠体験を取り入れ、パートナーの育児参加を啓発した。	R3 R4 R5 R6 R7	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R3 R4 R5 R6 R7	◆検証《達成状況、その要因》 ・妊娠届出時の妊娠の面接率100%R3R4R5と継続達成。 ・パパママ教室は、妊娠がパートナーや家族と一緒に参加できるため好評。参加組数189組。 ・子育て相談はくみは各種専門職による、様々な相談に対応できることが高い満足度につながっている。相談者数増加。相談者数(延)458人。アンケートによる満足度100%。 ・訪問でできなかつた世帯に対しても、乳児一般健診検査の実施をするとともに、乳児保健事業の利用受診歴や予防接種歴、母子保健事業の利用状況等を確認し、状況把握に努める。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・パパママ教室で訪れやすい雰囲気を形成している。教室開催により周知を図り、身近な相談機関としての役割を継続していく。
あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援生涯にわたる健康生活を充実させましょう	妊娠期から継続して、出産・子育て期へと切れ目ない支援につなげていくために、必要な情報提供や支援を行う。 や家族のサポートが重要なことの啓発を行ふとともに、具体的な実技等を含めた学習の機会を提供する。	担当課 あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援生涯にわたる健康生活を充実させましょう	決算額 (千円) 1,815	R3 R4 R5 R6 R7 写真等	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつかず。	◆推進委員会の点検項目 写真等	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】
	◆男女共同参画の視点からの目的				効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。			◆推進委員会から点検コメント 【課題等】
	◆活動指標(目標)				有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。			
	(参考)関連する数値目標				工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。			

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
		No.	事業名	R3 自課評価	R4 R5 R6 R7	B B B B	A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	評価基準	◆対応《改善、今後どのようにするか》
5	ア	56	児童健診	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 R5年度においては、新型コロナの5類への移行に伴い、感染対策を緩和し、健診を実施した。ただし、本来1歳6か月児童健診は2歳の誕生日まで、3歳児健診は4歳の誕生日まで受診期限であるが、受診可能期間の緩和は継続して行い、それぞれを2歳6か月、4歳6か月まで対応した。受診控えをしていた対象者が受診したためか、1歳6か月児童健診においては、受診率が100%を超えており、受診をし、受診を断らざるを得ないケースもあった。できるだけ受診できるよう、定員を増やすため、医師を2診から3診へ調整したり、前年度に引き続き平日のみの実施ではなく、日曜健診も各3回ずつ実施し、受診率の向上を図った。 ◆事業(概要) 母子保健法に基づく健診として、幼児の成長発達の確認及び子育ての助言を行ったため、1歳6か月児童健診を実施する。また、3歳児健診にて、一定期間の未就学児健診促進事業として、一定期間の未就学児に対し、子育て支援訪問員や保健師が訪問し受診勧奨をする。訪問して会えない場合、文書による勧奨も実施。	1歳6か月児童健診 対象者数1970人 受診者数1994人 受診率101.2%	1歳6か月児童健診 対象者数2435人 受診者数2288人 受診率94.0%	◆検証《達成状況、その要因》 1歳6か月児童健診 対象者数2435人 受診者数2288人 受診率94.0%	◆対応《改善、今後どのようにするか》 新型コロナは5類へ移行されたが、基本的な感染対策は実施し、保護者や子どもが安心して受診できるよう、配慮を行つ。受診者への健診案内は概ね通常どおりとし、R6年度からは受診可能期間を1歳6か月児童健診は2歳の誕生日まで、3歳児健診は4歳の誕生日までとし、健診案内を実施する。施は継続して行い、一定期間の未受診者が手に対しても子育て支援訪問員や保健師が手紙や訪問により受診勧奨を継続して実施する。	
				◆男女共同参画の視点からの目的 受診率向上及び父兄の子育て参加の機会促進ため、各健診を実施する。	決算額(千円) 18,338	R3 R4 R5 R6 R7 18,338 23,289 21,882	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつかず。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】	
				◆活動指標(目標) 子どもの発育や発達に関する保護者の育児不安の軽減を図るとともに、幼児の疾患や精神運動発達面での問題を早期に発見し、治療や支援につなげる。	担当課 母子保健課 写真等	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	◆推進委員会の点検項目 【課題等】		
				◆参考)関連する数値目標 低出生体重児出生率:9.4以下	有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	工夫 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。			

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況(点検シート)

基本目標	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名						
5 ア	57	相談事業(NO. 22再掲)	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般相談 2,965件 ・法律相談 月2回(1回4名まで) 94件 ・「こころの相談」月2回(1回2名まで) 46件 ・男性相談 月4回(1回2名まで) 72件 ・性的な少數者対象：にじいろコール～LGBTs にに関する相談～ 月1回 17件 ・相談の多い内容について相談関連講座を実施した。3講座、194名参加 <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性対象：一般相談(開館日)／月2回、「こころの相談」／月2回) ・専門相談(法律相談)／月2回、「こころの相談」／月2回) ・男性対象：令和5年度から男性のための悩み相談、月4回に拡充 ・LGBTsに関する電話相談((にじいろコール)／月1回、令和3年度試行、令和4年度開始、令和5年度からフリーダイヤルに変更 	<p>R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>自課 評価</p>	<p>A B A</p>	<p>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な相談窓口として、「情報紙、ホームページ、SNS等で広報し、相談につつながるよう、引き続き取り組む。 ・男性相談の4回のうち1回を、ZOOMによるオンライン対応へ変更。 	
			<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>一般相談件数は前年の約1.5倍、法律相談・「こころの相談」男性相談の相談件数も前年度より増加した。</p>					
			<p>◆男女共同参画の観点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまなものを見る機会を提供する。</p>		<p>決算額 (千円)</p>	<p>R3 1,796</p> <p>R4 1,756</p> <p>R5 1,741</p> <p>R6 R7</p>	<p>ソーレ 担当課</p>	<p>写真等(情報紙への掲載事例)</p> 
			<p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般相談 2,000件以上 					
			<p>(参考)関連する数値目標</p> <p>健康寿命(65歳の平均自立期間)：男性 18.27年 女性21.77年</p>					

あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援
生涯にわたる健康生活を充実させましょう

數值報告

数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度				
1 一ひと ひとりの人 権が尊重 される社 会をつく りましょう	1	人権同和・男女 共同参画課	高知市男女共同参画に関する市民意識調査 (5年毎に実施)	①生民基本台帳データーファイルより ②作成抽出3,000人 ③令和元年10月2日 ④有効回収数 ⑤34.1%	-	-	-	-	-	
			①抽出方法 ②抽出日 ③調査期間 ④有効回収率	①社会通念・慣習・しきたりなどで男女の地位が平等だと感じる人の割合」	15.7%(市)	-	-	-	-	
2	2	人権同和・男女 共同参画課	意識調査 「男女は仕事、女性家庭などによる固定的役割分担意識に同意しない割合」	70.3%(市)	-	-	-	-	-	
3	3	人権同和・男女 共同参画課	意識調査 「男女は仕事、女性家庭などによる固定的役割分担意識に同意しない割合」	70.3%(市)	-	-	-	-	-	
4	4	人権同和・男女 共同参画課	①市議会等の女性委員比率 ②女性委員0の市議会等の比率	①30.1% ②17.3% (138会のうち22会が女性0人)	①32.3% ②11.0% (118会のうち13会が女性0人)	①31.1% ②13.0% (115会のうち15会)	①30.7% ②10.8% (120会のうち13会)	①30.8% ②12.6% (119会のうち15会)	①4.423人のうち女性438人 ②1.423人のうち女性439人 (119会のうち15会)	
5	5	人事課	高知市管理・監督職(係長級以上)女性比率	33.1% (612人うち女性203人)	33.3% (620人うち女性207人)	36.0% (630人うち女性227人)	37.5% (634人うち女性238人)	37.6% (633人うち女性238人)	37.6% (633人のうち女性238人)	
6	6	学校教育課	市立学校(小・中・特別支援学校)における ①女性教職員人數(比率) ②女性管理職人數(比率)	①932人(67.6%) ②41人(32.5%)	①897人(66.2%) ②40人(32.3%)	①920人(66.4%) ②43人(33.3%)	①896人(64.9%) ②41人(32.0%)	①863人(63.5%) ②56人(43.1%)	①863人(63.5%) ②56人(43.1%)	
7	7	人権同和・男女 共同参画課	【男女共同参画研修】(階層別) ①対象階層 ②参加人数	「男女共同参画の視点からのワーク・ ライフバランス」 ①主事・技師級 ②306名	「ちゃんと知りたいLGBTs」 ①係長級 ②190名	「SOGI職員研修」 ①全職員 ②530名	「男女共同参画全般の質・効果を上げるために 書類提出の規点から防災～災害対応全般の質～」 ①オンライン研修:係長級職員 ②オンライン研修:全職員 ③オンライン研修:43人 ④オンライン研修:再生回数167回	「わたしにもある?アンコンジヤス・バ イアスとは～～～」 ①オンライン研修:係長級職員 ②オンライン研修:全職員 ③オンライン研修:43人 ④オンライン研修:再生回数167回	「わたしにもある?アンコンジヤス・バ イアスとは～～～」 ①オンライン研修:係長級職員 ②オンライン研修:全職員 ③オンライン研修:43人 ④オンライン研修:再生回数167回	「わたしにもある?アンコンジヤス・バ イアスとは～～～」 ①オンライン研修:係長級職員 ②オンライン研修:全職員 ③オンライン研修:43人 ④オンライン研修:再生回数167回
8	8	人事課(人材育 成)	【男女共同参画研修】 対象:新任課長補佐研修 参加人数	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年1月6日 2年目課長補佐級職員等54人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年1月5日 2年目課長補佐級職員等36人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年1月5日 2年目課長補佐級職員等36人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年1月8日 2年目課長補佐級職員等30人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和5年1月2日 2年目課長補佐級職員等36人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和5年1月2日 2年目課長補佐級職員等36人	

数値報告						
施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	9	人権同和・男女共同参画課	意識調査「DVを経験したことのある人の割合」	25.2%(市)	-	-
	10	人権同和・男女共同参画課	意識調査「DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合」	65.1%(市)	-	-
	11	人権同和・男女共同参画課	ソーレ 女性対象一般相談のうち「暴力」に関する相談件数	136件	97件	74件
	12	子ども家庭支援センター	子ども家庭支援センターにおける児童相談のうち「児童虐待相談」件数	230件(修正)	217件	180件
	13	少年補導センター	街頭補導状況[市少年補導センター] ①在学少年(小・中・高校・その他の学校) ②非在学少年(有職・無職)	①90人(うち女子8人) ②3人(うち女子0人)	①168人(うち女子23人) ②15人(うち女子1人)	①94人(うち女子28人) ②17人(うち女子4人)
	14	少年補導センター	相談受理状況[市少年補導センター] ※後間電話相談件数119件-119件含む ①在学少年(小・中・高校・その他の学校) ②非在学少年(有職・無職)	①167人(うち女子46人) ②1人(うち女子0人)	①132人(うち女子54人) ②2人(うち女子0人)	①97人(うち女子53人) ②2人(うち女子1人)
3 家庭や働く場においてジエンダー平等を実現しましょう	15	人権同和・男女共同参画課	意識調査「性別による不當な扱いを感じる項目と割合」	賃金格差 11.6% 昇給昇格 11.3% 自由に休暇とりにくい 9.2% 育児・介護休暇とりにくい 7.1%	-	-
	16	人権同和・男女共同参画課	意識調査「家事を全くしない男性の割合」	15.2%	-	-
	17	人事課	①男性の育児休暇取得者数・取得率(市職員) ②配偶者出産休暇取得者数・取得率(市職員)	①7人 9.9% ②52人 73.2%	①9人 12.5% ②57人 79.2%	①10人 17.9% ②47人 83.9%
	18	人事課	市新規採用職員(事務職)女性比率 <実施年度別>	57.4% (54人のうち31人)	51.2% (41人のうち21人)	57.1% (64人のうち28人)
						49.2% (63人のうち31人)

数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
				令和1年	令和2年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和5年	令和5年	令和5年	
3 家庭や 働く場に おいてジエ ンダー平 等を実現 しよう	19 人事課(人材育 成)	[市女性職員の人才培养・能力開発研修]参 加人数 ①自治大学(25日間) ②市町村アカデミー(4日間・8日間) ③国際文化アカデミー(5日間) ④その他の研修	①1人 ②1人 ③1人 ④1人	①1人 ②1人 ③0人 ④0人	①0人 ②0人 ③1人 ④0人	①0人 ②1人 ③1人 ④0人	①0人 ②0人 ③1人 ④0人	①0人 ②0人 ③1人 ④0人	①0人 ②0人 ③1人 ④0人	①0人 ②1人 ③1人 ④0人	①0人 ②1人 ③1人 ④0人	①0人 ②1人 ③1人 ④0人	①0人 ②1人 ③1人 ④0人	
	20 学校教育課	高等學校進学率 ①全体 ②男 ③女	①98.7% ②97.6% ③99.5%	①98.6% ②98.4% ③98.8%	①98.8% ②98.0% ③98.8% 未進学(就職含む) 男 21名 女 11名	①98.5% ②98.2% ③98.8%	①98.5% ②98.2% ③98.8%	①98.5% ②98.2% ③98.8%	①98.5% ②98.2% ③98.8%	①97.7% ②96.7% ③98.8%	①97.7% ②96.7% ③98.8%	①97.7% ②96.7% ③98.8%	①97.7% ②96.7% ③98.8%	
	21 子育て給付課	ひとり親家庭自立支援相談件数(延件数) <医療・健康、就労、児童、経済の支援等> ①母子家庭相談数 ②父子家庭相談数	①母子家庭 1,019件 ②父子家庭 30件	①母子家庭 1,084件 ②父子家庭 38件	①母子家庭 825件 ②父子家庭 28件	①母子家庭 1,729件 ②父子家庭 38件	①母子家庭 1,563件 ②父子家庭 674件	①母子家庭 1,729件 ②父子家庭 38件	①母子家庭 1,563件 ②父子家庭 674件					
	22 子育て給付課	母子家庭等就業・自立支援センター事業 【高知県と共同実施】 (就業相談・就業情報提供等支援サービス提供) ①相談件数 ②就業者数	①632件 ②31人(高知市のみ)	①647件 ②21人(高知市のみ)	①691件 ②3人(高知市のみ)	①1,835件 ②20人(高知市のみ)	①1,721件 ②22人(高知市のみ)	①1,835件 ②20人(高知市のみ)	①1,835件 ②20人(高知市のみ)	①1,835件 ②20人(高知市のみ)	①1,835件 ②20人(高知市のみ)	①1,835件 ②20人(高知市のみ)	①1,835件 ②20人(高知市のみ)	
	23 産業政策課	就職につながった市主催セミナー修了者 ①若者就職応援セミナー	①12人(うち女性8人)	①3人(うち女性2名)	①5人(うち女性2人)	①4人(うち女性1人)								
	24 母子保健課	母子訪問指導(実入数／延入数) ①夫婦 ②産婦 ③新生児 ④未熟児<21年度から⑧の数に再掲> ⑤乳児 ⑥幼児 ⑦その他 ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実入数／対象者数=訪問率) (2,230／2,289 = 97.4%)	訪問指導(実入数／延入数) ①夫婦 (90／179) ②産婦 (274／466) ③新生児 (53／62) ④未熟児 (30／51) ⑤乳児 (407／938) ⑥幼児 (846／1,175) ⑦その他 (12／29) ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実入数／対象者数=訪問率) (2,230／2,289 = 97.4%)	訪問指導(実入数／延入数) ①夫婦 (56／96) ②産婦 (231／400) ③新生児 (57／71) ④未熟児 (10／35) ⑤乳児 (350／776) ⑥幼児 (504／626) ⑦その他 (11／15) ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実入数／対象者数=訪問率) (2,101／2,205 = 95.3%)	訪問指導(実入数／延入数) ①夫婦 (62／124) ②産婦 (210／364) ③新生児 (43／58) ④未熟児 (7／23) ⑤乳児 (268／463) ⑥幼児 (604／686) ⑦その他 (3／3) ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実入数／対象者数=訪問率) (1,934／2,037 = 94.9%)	訪問指導(実入数／延入数) ①夫婦 (52／107) ②産婦 (147／328) ③新生児 (52／75) ④未熟児 (22／23) ⑤乳児 (306／618) ⑥幼児 (519／598) ⑦その他 (2／3) ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実入数／対象者数=訪問率) (1,793／1,831 = 97.9%)	訪問指導(実入数／延入数) ①夫婦 (52／107) ②産婦 (147／328) ③新生児 (52／75) ④未熟児 (22／23) ⑤乳児 (306／618) ⑥幼児 (519／598) ⑦その他 (2／3) ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実入数／対象者数=訪問率) (1,793／1,831 = 97.9%)	訪問指導(実入数／延入数) ①夫婦 (52／107) ②産婦 (147／328) ③新生児 (52／75) ④未熟児 (22／23) ⑤乳児 (306／618) ⑥幼児 (519／598) ⑦その他 (2／3) ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実入数／対象者数=訪問率) (1,793／1,831 = 97.9%)	訪問指導(実入数／延入数) ①夫婦 (52／107) ②産婦 (147／328) ③新生児 (52／75) ④未熟児 (22／23) ⑤乳児 (306／618) ⑥幼児 (519／598) ⑦その他 (2／3) ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実入数／対象者数=訪問率) (1,793／1,831 = 97.9%)	訪問指導(実入数／延入数) ①夫婦 (52／107) ②産婦 (147／328) ③新生児 (52／75) ④未熟児 (22／23) ⑤乳児 (306／618) ⑥幼児 (519／598) ⑦その他 (2／3) ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実入数／対象者数=訪問率) (1,793／1,831 = 97.9%)	訪問指導(実入数／延入数) ①夫婦 (52／107) ②産婦 (147／328) ③新生児 (52／75) ④未熟児 (22／23) ⑤乳児 (306／618) ⑥幼児 (519／598) ⑦その他 (2／3) ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実入数／対象者数=訪問率) (1,793／1,831 = 97.9%)	訪問指導(実入数／延入数) ①夫婦 (52／107) ②産婦 (147／328) ③新生児 (52／75) ④未熟児 (22／23) ⑤乳児 (306／618) ⑥幼児 (519／598) ⑦その他 (2／3) ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実入数／対象者数=訪問率) (1,793／1,831 = 97.9%)	訪問指導(実入数／延入数) ①夫婦 (52／107) ②産婦 (147／328) ③新生児 (52／75) ④未熟児 (22／23) ⑤乳児 (306／618) ⑥幼児 (519／598) ⑦その他 (2／3) ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実入数／対象者数=訪問率) (1,793／1,831 = 97.9%)	訪問指導(実入数／延入数) ①夫婦 (52／107) ②産婦 (147／328) ③新生児 (52／75) ④未熟児 (22／23) ⑤乳児 (306／618) ⑥幼児 (519／598) ⑦その他 (2／3) ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実入数／対象者数=訪問率) (1,793／1,831 = 97.9%)

数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
				令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
3 家庭や 働く場に おいてジエ ンダー平 等を実現 しましよう	25 母子保健課	「ママ教室」 (初めての妊娠の方とパートナー対象) ①実参加組数 ②延参加組数	元年度から内容・回数等変更 ・「ママ教室」 妊娠73人、家族73人 ・「ママアロマ」 妊娠106人、家族97人 合計参加組数 146組、288人	・「ママ教室」 妊娠 84人、家族 84人 ・「ママアロマ」 妊娠106人、家族 97人 合計参加組数 190組、377人	・「ママ教室」 妊娠 71人、家族 68人 合計参加組数 71組、139人	・「ママ教室」 妊娠 71人、家族 130人 合計参加組数 134組、264人	・「ママ教室」 妊娠 71人、家族 134人、家族 188人 合計参加組数 189組、377人						
26 子ども育成課		アミリーカードセントラル ①依頼会員登録者数 ②援助会員登録者数 ③面会会員登録者数 ④活動件数	①784人(男性34人、女性750人) ②441人(男性26人、女性415人) ③62人(男性1人、女性61人) ④5,521件	①741人(男性34人、女性707人) ②443人(男性29人、女性418人) ③51人(男性1人、女性50人) ④4,278件	①720人(男性36人、女性678人) ②443人(男性28人、女性427人) ③51人(男性1人、女性49人) ④4,429件	①720人(男性47人、女性704人) ②456人(男性29人、女性446人) ③50人(男性1人、女性48人) ④4,575件							
27 子ども育成課		病児・病後児童保育実施施設・利用人数 ①細木病院 <定員:6人> ②三豊病院 <定員:6人> ③うららか保育園 <定員:3人> ④もみのき病院 (合計利用入数)	① 492人 ② 614人 ③ 235人 ④ 451人 (計1,792人)	① 153人 ② 131人 ③ 125人 ④ 128人 (計537人)	① 281人 ② 170人 ③ 182人 ④ 196人 (計829人)	① 356人 ② 72人 ③ 224人 ④ 166人 (計818人)							
28 子ども育成課		子育て相談件数(延件数) ③地域子育て支援センター -ai-ai b[まけっとランダム] c[くすくろづば] d[はるのわくわくまけと]	③a 361件 b 66件 c 130件 d 148件	③a 203件 b 119件 c 103件 d 164件	③a 213件 b 118件 c 192件 d 143件	③a 324件 b 119件 c 153件 d 150件							
29 子ども育成課		放課後児童クラブ ①クラブ数 ②児童数 ③指導員数(男女比)	①89 ②3,507人 ③154人(うち女性153人)	①89 ②3,355人 ③152人(うち女性151人)	①88 ②3,202人 ③151人(うち女性150人)	①84 ②3,395人 ③150人(うち女性149人)							
30 保育幼稚園課		保育所入所児童数／就学前児童数(入所率) (へき地保育所は除く)	8,657人／15,216人(56.9%)	8,513人／14,653人(58.1%)	8,238人／14,043人(58.7%)	7,888人／13,463人(58.6%)	7,567人／12,977人(58.3%)						

数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度				
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭			
3 家庭や 働く場に おいてジエ ンダー平等 等を実現 しましよう	31	保育幼稚園課	市保育所待機児童数 ①4月1日時点 ②1月1日時点 児童の年齢	① 34人 0歳 5人 1・2歳 28人 3歳以上 1人 ②168人 0歳 116人 1・2歳 52人 3歳以上 0人	①26人 0歳 24人 1・2歳 3歳以上 2人 ②109人 0歳 89人 1・2歳 18人 3歳以上 2人	①11人 0歳 11人 1・2歳 3歳以上 0人 ②79人 0歳 70人 1・2歳 8人 3歳以上 1人	①3人 0歳 0人 1・2歳 3歳以上 3人 ②102人 0歳 94人 1・2歳 8人 3歳以上 0人	①5人 0歳 0人 1・2歳 3歳以上 5人 ②48人 0歳 43人 1・2歳 5人 3歳以上 0人	①117人+②117人=1,463人	①1,316人+②147人=1,464人	①1,316人+②117人=1,433人	①1,156人+②108人=1,264人	①1民営 40團／全61團 ②市営 13團／全26團 ③市営 13團／全6團	①民営 40團／全61團 ②市営 13團／全26團 ③市営 3團／全3團	①民営 40團／全61團 ②市営 13團／全26團 ③市営 108人					
32 保育幼稚園課			延長保育実施保育所数／認可保育所全数 利用入数	①民営 40團／全61團 ②市営 13團／全26團 ③市営 13團／全6團 ①1,481人+②163人=1,644人	①民営 40團／全61團 ②市営 13團／全26團 ③市営 13團／全6團 ①1,316人+②147人=1,463人	①民営 6團 ②市営 2團 ①+②=9,251人	①民営 6團 ②市営 2團 ①+②=5,361人	①民営 6團 ②市営 2團 ①+②=4,783人	①民営 4團 ②市営 2團 ①+②=3,427人	①民営 4團 ②市営 2團 ①+②=5,168人	①民営 4團 ②市営 2團 ①+②=5,168人	①民営 4團 ②市営 2團 ①+②=5,168人	①民営 4團 ②市営 2團 ①+②=5,168人	①民営 4團 ②市営 2團 ①+②=5,168人	①民営 4團 ②市営 2團 ①+②=5,168人	①民営 4團 ②市営 2團 ①+②=5,168人				
33 保育幼稚園課			一時保育実施保育所数 利用入数	①+②=9,251人	①+②=9,251人	①+②=9,251人	①+②=5,361人	①+②=5,361人	①+②=4,783人	①+②=4,783人	①+②=4,783人	①+②=4,783人	①+②=4,783人	①+②=4,783人	①+②=4,783人	①+②=4,783人	①+②=4,783人			
34 保育幼稚園課			低月齢保育児受入れ実施保育所数 受入れ入数(待機入数)	①4月1日時点 ②1月1日時点	①487人 (5人) ②832人 (116人)	①487人 (0人) ②818人 (89人)	①467人 (0人) ②818人 (89人)	①377人 (0人) ②776人 (70人)	①377人 (0人) ②776人 (70人)	①377人 (0人) ②776人 (70人)	①377人 (0人) ②776人 (70人)	①364人 (94人) ②732人 (43人)	①364人 (94人) ②732人 (43人)	①364人 (94人) ②732人 (43人)	①364人 (94人) ②732人 (43人)	①364人 (94人) ②732人 (43人)	①364人 (94人) ②732人 (43人)			
35 保育幼稚園課			子育て相談件数(延件数)	①2,926件	①2,926件	①2,926件	①2,565件	①2,565件	①2,285件	①2,285件	①2,285件	①2,364件	①2,364件	①2,364件	①2,364件	①2,364件	①2,364件			
36 子ども家庭支援セシナー			子育て相談件数(延件数) ②子ども家庭支援團	①+②=2,926件	①+②=2,926件	①+②=2,926件	①+②=2,565件	①+②=2,565件	①+②=2,285件	①+②=2,285件	①+②=2,285件	①+②=2,364件	①+②=2,364件	①+②=2,364件	①+②=2,364件	①+②=2,364件	①+②=2,364件			
37 スポーツ振興課	37		子育て相談件数(延件数) ②スポーツ振興課	1,057件(延件数)	1,057件(延件数)	1,057件(延件数)	1,162件(延件数)	1,162件(延件数)	1,148件(延件数)	1,148件(延件数)	1,148件(延件数)	1,176件(延件数)	1,176件(延件数)	1,176件(延件数)	1,176件(延件数)	1,176件(延件数)	1,176件(延件数)			
4 地域で、防災で男女共同参画をすめよう	38	人権同和・男女共同参画課	スポーツ推進指導員数(うち女性数) 地区人権啓発推進委員会の女性委員比率	380人(うち女性136人) (1,141人のうち女性363人)	363人(うち女性129人) (993人のうち女性375人)	357人(うち女性130人) (976人のうち女性368人)	341人(うち女性126人) (962人のうち女性373人)	341人(うち女性126人) (962人のうち女性373人)	341人(うち女性126人) (962人のうち女性373人)	341人(うち女性126人) (962人のうち女性373人)	341人(うち女性126人) (962人のうち女性373人)	336人(うち女性118人) (951人のうち女性376人)	336人(うち女性118人) (951人のうち女性376人)	336人(うち女性118人) (951人のうち女性376人)	336人(うち女性118人) (951人のうち女性376人)	336人(うち女性118人) (951人のうち女性376人)	336人(うち女性118人) (951人のうち女性376人)			
39 くらし・交通安全課			交通安全指導員協議会入数(うち女性数)	196人(うち女性58人)	184人(うち女性57人)	169人(うち女性55人)	175人(うち女性58人)	175人(うち女性58人)	175人(うち女性58人)	175人(うち女性58人)	175人(うち女性58人)	175名(うち女性57名)	175名(うち女性57名)	175名(うち女性57名)	175名(うち女性57名)	175名(うち女性57名)	175名(うち女性57名)			
40 地域防災災害推進課			自主防災組織数(組織率)	816組織(96.0%)	824組織(96.0%)	832組織(96.8%)	833組織(96.8%)	833組織(96.8%)	833組織(96.8%)	833組織(96.8%)	833組織(96.8%)	840組織(96.8%)	840組織(96.8%)	840組織(96.8%)	840組織(96.8%)	840組織(96.8%)	840組織(96.8%)			

数値報告						
施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
5 生涯にわたる健康新生活をさせましょう	41	健康増進課	がん検診受診率(検診対象者に対する受診者割合) 【市健康増進課】 ①子宮頸がん ②乳がん	①子宮頸がん 15.1% ②乳がん 18.8%	①子宮頸がん 14.2% ②乳がん 17.4%	①子宮頸がん 16.1% ②乳がん 19.0%
	42	健康増進課	女性健康診査受診者数 対象:20~39歳 内容:一般検診・歯科検診・子宮頸がん検診	219人	179人	145人
	43	【高知県】 〔母子保健課〕	中絶件数(うち10代)【高知県】	812件(70件)	756件(70件)	694件(53件)
	44	地域保健課	HIV検査件数 相談件数<検査時の相談は除く> 【市地域保健課】	検査 368件 相談 47件	検査 201件 相談 22件	検査 258件 相談 12件
						検査 329件 相談 40件

こうち男女共同参画センター (ソーレ) 事業報告

令和5年度 事業報告書（こうち男女共同参画センター ソーレ）

1 事業概要

高知県・高知市が共同設置したこうち男女共同参画センターの指定管理者として、センターの管理運営及び男女共同参画を推進する事業等を実施した。

2 施設利用状況

(1) 施設利用登録団体数	2, 951 団体 (累計)	※行政団体を除く
(2) 託児室利用数	275組	728人
(3) グループ交流室利用数	200組	
(4) 印刷機利用数	450組	
(5) パソコン利用者数	58人	

3 受託施設運営状況

	開館日数	利用件数	利用者数
創作実習室	333 日	327 件	2, 948 人
大会議室		188 件	10, 609 人
研修室 1		609 件	4, 628 人
研修室 2		580 件	5, 229 人
研修室 3		646 件	5, 294 人
調理実習室		133 件	1, 479 人
和室 1		255 件	1, 635 人
和室 2		185 件	1, 342 人
視聴覚室		440 件	7, 304 人
レクリエーション室		497 件	3, 949 人
計		3, 860 件	44, 417 人

事業実施報告書

I 情報収集及び提供に関する業務

1 図書・情報資料収集・提供事業

(1) 図書・DVDの購入・整理

蔵書数		図書利用登録者数	
本	10,351冊	新規利用登録者数	78人
ビデオ・DVD	1,032本	〃 累計	8,276人
計	11,383冊・本		



(2) 図書団体貸出

市町村図書館や学校、団体等に100冊まで貸し出し、図書情報の周知を図った。

貸出先	市町村5件、大学1件
貸出冊数	353冊

図書・情報資料室

(3) 新聞クリッピング

男女共同参画・人権に関する新聞記事を館内に掲示した。(月2回実施)

2 図書・情報資料室利用促進事業

(1) テーマ別図書展示

定期的にテーマを決めて関連図書等を展示し、図書室の利用促進を図った。

4月	新生活支援	10月	DVについて被害・加害から考える
5月	新着図書・男性の家事参画	11月	DV防止月間の啓発本
6月	男女共同参画月間講演会特集	12月	新着よりおすすめ図書
7月	ジェンダー	1月	自分自身の守り方
8月	性の多様性について	2月	気持ちを伝える
9月	防災について考える	3月	国際女性デイ・女性の健康を考える

II 調査研究に関する業務

男女共同参画に関する統計データ収集・提供事業

(1) 統計データの収集・分析

統計データの収集・分析を行い、ホームページ内で公開した。(年間アクセス 494件)

(2) ウエブ調査の実施

女性を取り巻く課題に関する実態調査(ウェブ調査)を行い、結果を情報紙やホームページで周知した。

「性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する意識調査」回答者数1,000名

III 県民の理解を深めるための広報及び啓発に関する業務

1 広報・啓発事業

(1) 情報紙の発行

情報紙「ソーレ・スコープ vol.105～108」の発行
(7・10・1・4月に各7,000部発行)



情報紙ソーレ・スコープ

(2) ホームページによる情報発信

実施事業の紹介・報告、センターの利用案内、男女共同参画に関する情報、財団の経営状況等をホームページを通じて広く県民に発信した。
また、よりわかりやすい情報発信のため、動画配信にも工夫をこらした。

(3) メールマガジンの発行(ソーレの事業や取組を周知)

メールマガジン「FROM ソーレ」の配信(毎月1日、計12回 ※令和5年度末の登録数 445件)

(4) SNSによる情報発信

SNS(Facebook、X(旧Twitter)、Instagram)を活用した広報・啓発を行った。

(5) 啓発誌発行・配布

男女共同参画及び女性問題に関する啓発誌を講座開催や企画展示の機会に合わせ、県民に配布し、理解促進につなげた。



ソーレ啓発誌

(6) 啓発パネル作成・貸出し・企画展示

作成したパネル等を館内の企画や地域のイベントで展示するとともに、他機関に貸し出すことで男女共同参画及び女性問題の啓発を図った。

啓発パネルの貸出	市町村等 13件18パネル 館内企画展示 5件
啓発パネル展等 企画展示	男女共同参画推進月間(6月)、防災週間(9月)、女性に対する暴力をなくす運動期間(11月)ソーレまつり(1月)ほか 地域イベント展示 3件 人権啓発フェスティバル(高知市 12月)ほか



啓発タペストリーの
作成、展示

(7) その他の広報・啓発

人権啓発フェスティバル(高知市内)に出展し、啓発パネルの展示や情報紙等を配布し、来場者にソーレの利用促進と啓発を図った。

(8) 講演会概要掲載

男女共同参画推進月間講演会、DV防止啓発講演会等の概要を情報紙やホームページに掲載した。

2 出前講座事業

男女共同参画、ハラスメント、DV・デートDV防止等について学ぶ機会を提供するため、講師を市町村や地域、団体、企業等に派遣する講座等を行った。

実施回数及び参加者数 59講座 4,592名 うち男性 1,820名

(1) 出前講座(サポートー講師活用) ※サポートー講師はソーレに登録している県内講師(令和5年度末22名)

実施回数 39回 参加者数 3,379名

	開催日	内 容	派遣先	参加者数 ()内は男性
1	4月20日	ジェンダー平等ってなんだろう	瀬戸女性成人学級	49名 (0)
2	5月9日	デートDVについて	高知県立岡豊高等学校	303名 (148)
3	5月26日	ハラスメントのない職場作りを	高知市医師会立訪問看護ステーション土佐	12名 (0)
4	5月27日	働き方改革について	株式会社テックス	52名 (42)
5	6月17日	フォローアップ講習会	公益財団法人 高知勤労者福祉サービスセンターなんこくファミリーサポートセンター	9名 (0)
6	6月23日	snsと情報モラル教育について～ネットトラブルを防ぐために、親子で知つておきたいこと～	南国市立白木谷小学校	29名 (10)
7	6月30日	ハラスメント研修	医療法人おぐら会 芸西病院	79名 (16)
8	7月4日	事業者向けコンプライアンス研修 ハラスメントの事例紹介等について(動画配信)で実施	高知県土木部土木政策課	1,518名 (373)
9	7月4日	ピアサポートーのための傾聴スキル プラッシュアップ講座	高知県警察本部厚生課	101名 (70)
10	7月5日	子育て講座"アンガーマネジメントについて知ろう"	どんぐりの森	8名 (0)
11	7月26日	南国市学校給食調理職員等夏季研修会	南国市教育委員会事務局学校教育課学校給食係	58名 (10)
12	7月27日	女性の健康と働き方セミナー“更年期”を知ろう ～自分のカラダと上手に付き合うために～	サニーマート労働組合	24名 (12)
13	8月17日	令和5年度室戸市職員人権研修会	室戸市役所 人権啓発課	91名 (33)
14	8月18日	令和5年度高知市男女共同参画推進本部 部局推進員会研修	高知市人権同和・男女共同参画課	17名 (5)
15	8月28日	ジェンダー問題について	高知県総務部政策企画課	12名 (7)
16	9月25日	ハラスメント研修	社会福祉法人明成会	31名 (13)
17	9月26日	ジェンダー学習 LGBTsへの理解	奈半利中学校	58名 (33)
18	9月28日	SDGsから学ぶ～ジェンダー平等について?～	高知市立旭小学校	64名 (30)
19	10月3日	スマイリーハート人権講座 避難所における男女共同参画について	南国市総務課じんけん係	77名 (28)
20	10月26日	メディアリテラシー・スマホ依存について	高知県立高岡高等学校	30名 (14)

	開催日	内 容	派遣先	参加者数 ()内は男性
21	10月29日	人権教室「災害が起こったら…避難所生活での人権を考えよう」	安芸市立川北小学校	64名 (21)
22	11月15日	中土佐町人権教育職員研修「男女共同参画」	中土佐町役場	36名 (16)
23	11月16日	上手にネットとつきあおう！	地域子育て支援センター「サンサンひろば」	19名 (6)
24	11月28日	人権研修「ハラスメント防止」	高知市商工観光部公営事業課	83名 (24)
25	11月29日	人権教育 子どもとジェンダー	四万十町立川口小学校	8名 (2)
26	12月1日	子育て講演会「メディアリテラシー」	潮江南小学校PTA総務・文化部	21名 (11)
27	12月1日	性的嗜好およびジェンダー・アイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律について	幡多ブロック隣保館連絡協議会	13名 (6)
28	12月27日	ハラスメント防止に関する校内研修会	高知県立盲学校	33名 (16)
29	1月11日	メディアリテラシー、インターネット・SNSとの付き合い方	高知県立北高等学校	8名 (4)
30	1月11日	ハラスメント研修	(一社)高知県漁業就業支援センター	46名 (39)
31	1月16日	ハラスメント研修	高知リハビリテーション大学	13名 (11)
32	1月22日	ハラスメント研修	室戸市議会	14名 (9)
33	1月24日	ハラスメント パワハラ・セクハラ研修	集落活動センターやなせ	14名 (8)
34	2月9日	高齢期に向けてのワークライフバランス	高知市人権同和・男女共同参画課	19名 (12)
35	2月13日	ハラスメント研修	社会福祉法人 昭和会	26名 (15)
36	2月21日	デートDV	高知県立高知工業高等学校	270名 (225)
37	2月27日	ハラスメント防止に関する校内研修会	高知県立ろう学校	38名 (11)
38	3月5日	ハラスメント防止研修	佐川町立高北国民健康保険病院	19名 (11)
39	3月6日	コミュニケーション研修	須崎市社会福祉協議会	13名 (5)
				3,379名 (1,296)

(2) 出前講座(県内・県外講師活用)

実施回数 7回 参加者数 455名

	開催日	内 容	派遣先	参加者数 ()内は男性
1	5月12日	「男らしさ」と「女らしさ」と「自分らしさ」 -アンコンシャス・バイアスを通じて-	南国市香南中学校	107名 (60)
2	6月24日	男女共同参画推進出前教室	南国市立大湊小学校	36名 (14)
3	6月27日	LGBTQ, 性的マイノリティについて 学ぶ	高知県立安芸高等学校	80名 (34)
4	7月14日	男女共同参画推進出前教室 「女らしさ」「男らしさ」と「自分らしさ」	南国市立大篠小学校	155名 (76)
5	8月28日	LGBT教育とは?	高知県立室戸高等学校	29名 (15)
6	2月17日	令和5年度 いの町民講座 いの元気塾！第8回「地域の防災」	いの町教育委員会事務局	15名 (8)
7	3月2日	女性の社会活躍推進	土佐町教育委員会	33名 (5)
				455名 (212)

(3) 出前講座(ソーレ職員)

実施回数 9回 参加者数 558名

	開催日	内 容	派遣先	参加者数 ()内は男性
1	6月20日	男女共同参画の啓発	香美市立ふれあい交流センター	7名 (2)
2	9月7日	令和5年度室戸市職員人権研修会	室戸市役所	40名 (18)
3	9月15日	デートDVセミナー	高知大学男女共同参画室	43名 (26)
4	10月12日	令和5年度室戸市職員人権研修会	室戸市役所	46名 (23)
5	10月23日	デートDVとは	高知学芸高等学校	241名 (101)
6	11月15日	令和5年度室戸市職員人権研修会	室戸市役所	43名 (20)
7	11月22日	令和5年度室戸市職員人権研修会	室戸市役所	57名 (27)
8	1月23日	男女共同参画プラン検討部会	土佐清水市じんけん課	13名 (4)
9	1月24日	高知市職員男女共同参画階層別研修	高知市人権同和・男女共同参画課	68名 (37)
				558名 (258)

(4) ウエルカムセミナー(施設見学他)

実施回数 6回 参加者数 200名

	開催日	内 容	来館者(団体等)	参加者数 ()内は男性
1	5月23日	デートDV・DVについて	土佐女子高校	4名 (0)
2	6月5日	DV相談	高知県立大学	38名 (5)
3	8月20日	夏休み研究「SDGs目標5, 10」	香美市大宮小学校	2名 (0)
4	9月22日	ソーレは何をしているところ? SDGsの目標5「ジェンダー平等」を 学ぼう！	高知市立旭小学校	59名 (25)
5	2月5日	アンコンシャス・バイアスについて	精神保健ボランティアほっとはあと	9名 (1)
6	2月12日	世界青年の船	世界青年の船	88名 (23)
				200名 (54)

IV 講演会、講習会、研修会等の開催に関する業務

1 男女共同参画推進事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
男女共同参画推進月間講演会 【オンライン・オンデマンド】 《共催団体》 高知県経営者協会他	6月24日	男女共同参画についての理解と意識の浸透を図るため、6月の男女共同参画推進月間に講演会を実施した。 演題「パパ育休で社会が変わる!~子育て支援の経済学~」 <講師> 山口慎太郎(東京大学経済学研究科教授)	会場 103名 (44) オンライン 82名 (20) オンライン 631名 (155)
男女共同参画講座 「ジェンダーカフェ」	9月 3日 10月 15日 11月 12日	女性を取り巻く様々な問題に対して、参加者がテーマごとに意見交換できるように、カフェ形式で話し合う講座を開催した。 ①「あたりまえ」「ふつう」ってなんだろう? ②そこにいるのにいないものにしてきたのは誰? ③誰もが排除されない社会を作るために今日からできることは? <講師> 田中一歩・近藤孝子 (にじいろi-Ru)	32名 (4)
SOGIに関する講座	9月2日	多様性への理解と、性自認・性指向の尊重に資する内容の講座を開催した。 性の多様性から「じぶん」について考える ～誰もが排除されない社会をめざして子どもたちとの出会いから見えてきたこと～ <講師> 田中一歩・近藤孝子(にじいろi-Ru)	28名 (9)



男女共同参画講座
「ジェンダーカフェ」

2 DV防止啓発事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
DV防止啓発講演会 【オンライン・オンデマンド】 《共催団体》 高知地方法務局 他 <協力機関> 香南市人権課	11月13日	11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、DV防止を広く県民に啓発するため講演会を実施した。 演題「加害者がとらわれる『男らしさの病』とは」 <講師> 斎藤 章佳 (大船渡本クリニック精神保健福祉部長/精神保健福祉士、社会福祉士) (同時開催)10/30～11/25 啓発パネル展示、パープルリボンツリー等の設置(高校、大学等)	会場 72名 (20) オンライン 18名 (3) オンライン 380名 (93)



DV防止啓発講演会

パープルリボンツリーの設置(写真:高知工科大学)

3 ワーク・ライフ・バランス事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 (内は男性)
大学生向けキャリア形成支援 ※高知県立大学との連携	7月5日 11月1日	これから就職する学生を対象に、自らはどのような人生を求めているか、仕事も含めて考える講座を開催した。(2回) 「女性の職業生活を通じた自己実現」 <講師> 長澤 紀美子(高知県立大学教授) <ロールモデル> 島田希保(善楽寺住職) 松田さやか(株式会社高知新聞社編集局報道部)	159名 (20)
大学生向けキャリア形成支援 ※高知大学との連携	9月14日	これから就職する学生を対象に、自らはどのような人生を求めているか、仕事も含めて考える講座を開催した。 「就職の前に職業人生を考える」 <講師> 児美川孝一郎(法政大学キャリアデザイン学部教授) <ロールモデル> 横田恭(株式会社技研製作所) 陶山智美(おすそわけ食堂まど経営者)	44名 (26)
男性家事・介護基礎講座	8月20日 11月26日 2月17日	男性の家事・介護への参加を促進し、性別役割分担についての気づきやワークライフバランスの充実について考える講座として座学や講話、介護食づくりを実施した。 <講師> ①山本尚高(サクラウンパレス新阪急高知 副総調理長) ②島村昌利(RKC調理製菓専門学校 校長) ③江西一郎(ケアメンいごっそう会長)、津止正敏(立命館大学 教授)	① 9名 (9) ② 14名 (14) ③ 14名 (14) オンデマンド 32名 (32)



4 防災啓発事業

講座名	開催日	内 容	参加者数
防災教室	12月2日	男女共同参画を防災の取組において發揮することができるよう、ジェンダーの視点をもって、子どもから高齢者の命を守るために知識を学び、防災意識の向上を図る講座を開催した。 「被災地から学ぶ『災害に強い地域づくり』」 <講師> 宗片恵美子 (特定非営利活動法人イコールネット仙台 常務理事)	23名 (3)



5 他機関連携・共催事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数
「女性の人権」講演会 【オンデマンド】 『共催団体』 NPO法人こうち被害者支援センター	3月3日	こうち被害者支援センターと連携し、女性の人権をテーマに犯罪被害者の支援につながる講演会を開催した。 犯罪被害者支援・女性の人権講演会 「人権を守り幸せに生きる性の学び ～『おうち性教育』のすすめ～」 <講師> 村瀬幸浩(一般社団法人「人間と性」教育研究協議会会員、日本思春期学会名誉会員)	会場 45名 (7) オンデマンド 236名 (58)



V 人材育成に関する業務

1 人材育成事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
女性の活躍応援 【オンライン】	10月22日～ 11月4日	職場や地域等で活動する女性が、政策・方針決定過程への参画等、活躍の場を広げ、リーダーシップを発揮するために必要な能力を身につけることを目的に講座を開催した。 「タイムマネジメント」で、私の明日をブラッシュアップ <講師> 山岡仁美(株式会社グロウス・カンパニー・プラス 代表取締役)	183名 -
高知大学地域協働学部 「地域理解実習」	通年 (週1回)	高知大学地域協働学部の「地域理解実習」の実施場所としてソーレの施設や資料を提供し、大学と協働して男女共同参画の推進を図った。 実習 30回 <講師> 高知大学地域協働学部 講師 佐藤洋子	155名 (58)



2 就業・起業支援事業

職場での活用や仕事選びの幅を広げることにつながるスキルを身につける講座を開催した。

講座名	開催日	内 容	参加者数
就労支援パソコン講座	① 7月2日 ② 7月9日 ③ 7月23日 7月29日 7月30日	①超基礎Word講座 ②超基礎Excel講座 ③検定対策Excel講座 <講師> 横山桂子(サーティファイ認定インストラクター)	44名
就労支援講座	10月1日	プロに学ぶ！「セルフプロデュース」 <講師> 平野智佐(Office C Career代表、キャリアコンサルタント)	15名



パソコン講座



セルフプロデュース講座

3 県民からの企画提案事業

男女共同参画を推進するための事業の企画運営について、県民(団体等)を対象に募集し、3企画を実施した。

委託先	開催日	講座等の名称	参加者数 (内は男性)
(1)株式会社VP Advisors	7月22日	(講座)「アンコンシャスバイアス(無意識な思い込み)について知ろう」	50名 (8)
(2)こうち男女共同参画ポレール	8月20日	(講演会)男女平等・男女共同参画を考える講演会「植木枝盛の女性解放論」	40名 (12)
(3)一般財団法人清水サー【高知市外】バ	10月22日	(講演会)「女性議員がいない地方という世界」	15名 (4)

4 ボランティア育成・活用事業

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 (内は男性)
ボランティア活用	年間	事業のサポートを行う県民ボランティアを募集・活用するとともに、活動を通じて男女共同参画への理解浸透を図った。 (活動内容)講演会や講座の受付、イベントの手伝い、図書の選書や企画展示、新聞クリッピング	登録者数 16名 活動実績 延150名
学生ボランティア体験	8月 7日 8月 22日	夏休みを活用した事業のボランティア体験をとおして、高校生が男女共同参画について知る・学ぶ・考える機会を提供した。	29名 (6)



学生ボランティア体験



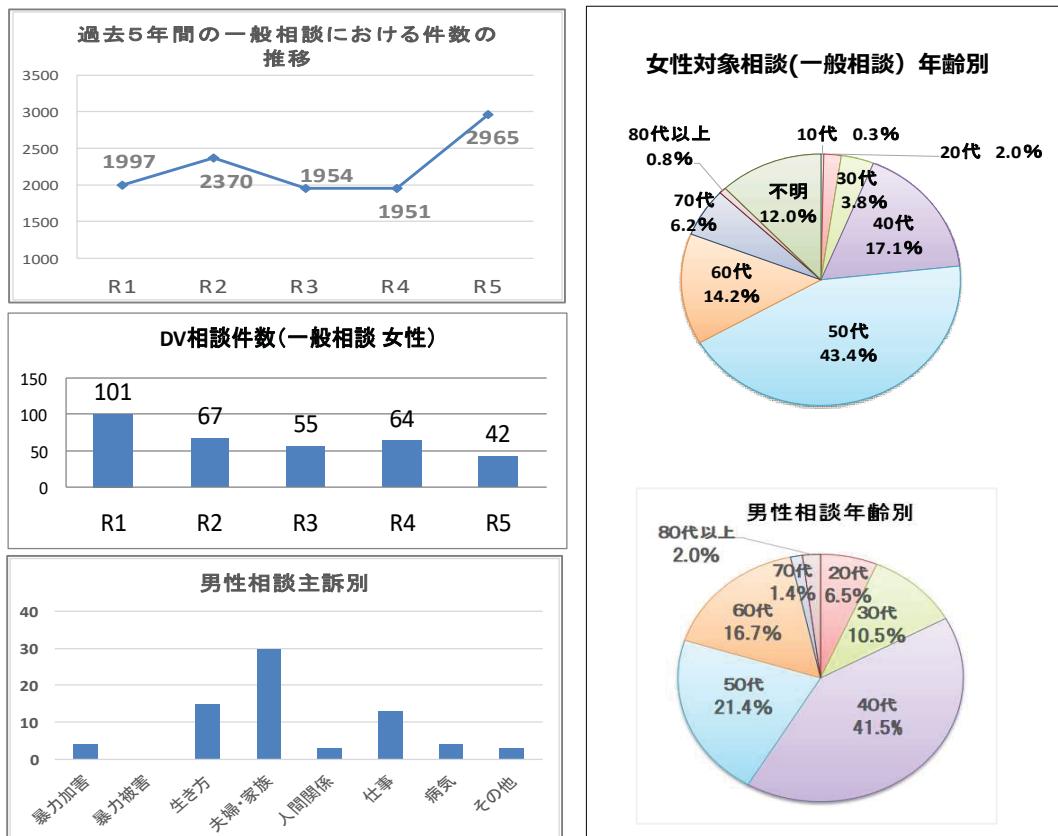
VI 女性問題の解決その他男女共同参画の推進に向けた相談に関する業務

1 相談事業

相談の種類別件数

相談の種類	件 数	
女性対象相談	3,105 件	
一般相談（休館日を除く毎日）	2,965 件	
性・身体・健康	1,011 件	
家族・家庭	536 件	
生き方	172 件	
福祉	75 件	
仕事	117 件	
暴力	82 件	
暮らし	321 件	
金銭	108 件	
その他	543 件	
法律相談（月2回）	94 件	
こころの相談（月2回）	46 件	
男性対象相談	男性のための悩み相談（月4回）	72 件
にじいろコール	LGBTsに関する相談（月1回）	17 件
	合 計	3,194 件

- 性・身体・健康(1,011件)と家族・家庭(536件)が一般相談の半数を占めた。
- 性・身体・健康では「不安・イライラ」に関する相談(471件)、家族・家庭では夫との関係(174件)、親族関係(102件)などの相談が多くなった。
- その他は、男性からの相談や問合せなども含む
- 令和5年度から男性相談の回数を月3回から4回に増やした。



2 講座等

講座名	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
相談員スキルアップ研修	5月 27日 7月 2日 7月 23日	県内相談機関の相談員を対象に、女性の立場を理解し、ジェンダーに敏感な視点を持って相談業務ができるよう研修を実施するとともに相談員の連携を図った。 ①震災とジェンダーバイアス ②被災地相談から見えてきたこと ③こころのケア～被災者への寄り添い～ <講師> ①斎藤容子(人と防災未来センター リサーチフェロー、関西国際大学客員教授、兵庫県立大学客員研究員) ②丹羽麻子(男女共同参画センター横浜 相談センター長) ③山崎正雄(高知県精神保健福祉センター所長)	42名 (3)
相談関連講座	8月 27日 9月 10日	相談から見えてくる問題について、社会の中で女性が置かれている立場や状況を女性自身が考え、社会参画する力を身につける講座を実施した。 幸せ力を育む～ありのままの受け入れ～ <講師> 加藤伊都子(フェミニストカウンセリング 埼玉 フェミニストカウンセラー) 島田希保(善楽寺住職)	17名 -
相談関連講座	2月 25日	家族間のコミュニケーションをテーマとして、DV・虐待等の暴力予防、深刻化を防ぐことを目的に講座を実施した。 あなたの気持ち、伝わっていますか？～気持ちが通うコミュニケーション～ <講師> 中村正(立命館大学 産業社会学部教授)	21名 (3)
女性の居場所づくり事業	① 5月 15日 ② 8月 28日 ③ 10月 30日 ④ 12月 24日 ⑤ 2月 26日 ⑥ 3月 18日	トラウマやコロナ禍など、何らかの傷つきから生活や就労の場でつまづき、生きづらさや働きづらさを感じている女性に、自尊感情の回復や必要なスキルを身に付ける場となる講座を実施した。 余剰化粧品の無償提供により女性を支援する「コスマベンクプロジェクト」と連携し、コスマキットを参加者に女性の居場所づくり事業「ゆるりのしつぽ」 ①私の好きな本 ②私をつつむ優しい言葉 ③私らしく社会とつながる～「女性相談支援センター」は悩める私の応援団～ ④ふらりっとゆるりっとつながる相談会 ⑤私の心と体はぼつかばか ⑥部屋スッキリ、私の気分も晴れ晴れ <講師> ①ソーレ職員 ②加藤伊都子(フェミニストカウンセリング 埼玉) ③近藤昌代(高知県女性相談支援センター) ④青木知佐(臨床心理士)、植月裕子(高知県社会福祉協議会)、北川ひとみ(高知市保健所) ⑤竹村朝海(臨床心理士/公認心理師) ⑥西野ナミ(整理収納アドバイザー)	156名 -

家族のコミュニケーション
に関する講座
相談関連講座



女性の
ゆるりの
しつぽ
事業



VII 関係団体等の相互の交流の促進及び自主的活動への支援に関する業務

1 団体等の自主活動支援事業（ソーレえいど事業）

男女共同参画の推進に資する事業を実施した団体等の活動を支援するため、4団体に対し助成した。

助成団体名	事業内容	助成額
海南姉妹	(講演、ワークショップ) 海南姉妹諸君ニ告ぐ！vol.2 地方で女性が連帯する場をつくるということ	191,728円
こうち男女共同参画ボレール 【高知市外】	(講演、ワークショップ) 「増やそう女性議員！なくそう女性ゼロ議会」円卓会議 in中土佐町	49,600円
高知ベビーコミュニケーション の会	(講演、ワークショップ) 赤ちゃんから学ぶHAPPYコミュニケーション術	183,152円
夫婦別姓について考えるシン ポジウム実行委員会	(啓発用パンフレット作成) “あなたはどう考えますか？別姓、同姓、選択する自由”	80,000円
計		504,480円

2 ソーレまつりの開催

ソーレ開館を記念し講演会を開催したほか、利用団体等の活動発表や作品展示、イベント等を実施しセンターを広く県民に周知した。(館内及びオンラインで開催)

事業名	開催期間	内 容	参加者数 (内は男性)
ソーレ まつり 2024	基調講演 1月13～28日	「いざというときじや間に合わない！いつもの私にできる防災」 <講師> あんどうりす(アウトドア防災ガイド)	オンデマンド 309名 (75)
	記念講演会 1月28日	「女性と地球にスマイルを！～共に創る社会をめざして～」 <講師> 山田メユミ(株式会社アイスタイル取締役 共同創業者)	会場 54名 (7) オンライン 74名 (18) オンデマンド 81名 (19)
	25周年 特別企画 1月28日	「バイスタンダー・トレーニング 大切な人や目の前の誰かが困っている時、動ける自分になろう」 <講師> 安藤真由美、濱田真里(一般社団法人ジェンダー総合研究所 共同代表)	19名 (3)
	団体企画 1月28日	委託先:こうち男女共同参画ボレール (講座)親子でご飯づくり～お魚を3枚におろしてみよう～	会場 27名 (7)
		(シンポジウム) 「増やせ女性議員！なくせ女性ゼロ議会～土佐町・馬路村・中土佐町の声を再び～」	会場 32名 (7)
		委託先:新日本婦人の会高知県本部 (講座) 描いて楽しい！もらってうれしい！筆文字・新聞ちぎり絵体験	会場 25名 (1)
		利用団体等による ・ワークショップ ・バザー ・パネル展示 ・作品展示	26団体
		アトリウム展示	3団体
	団体活動の 発表 1月13～27日	【録画配信】ステージ発表	3団体
		【録画配信】活動紹介	5団体
参加者数の合計 (オンラインは視聴1回を1名として集計) 会場1,208名 オンライン1,218名			2,426名 (137)



ソーレまつり2024
館内及びオンラインイベントの
実施

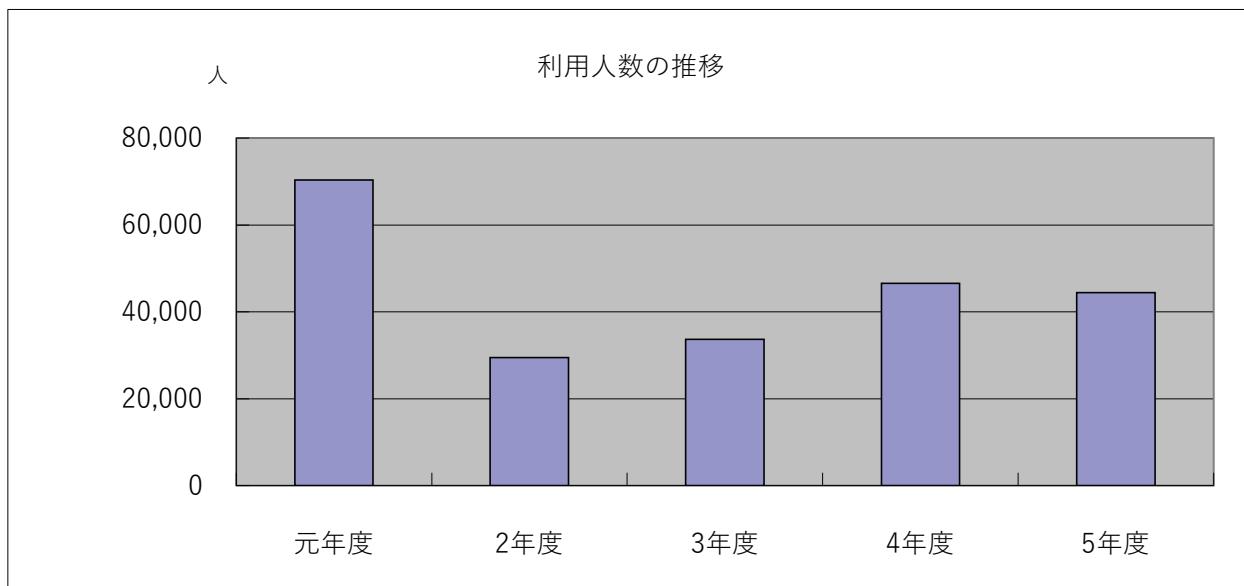
VIII 休眠預金活用事業実施報告書

事業(講座名)	開催日	内 容	参加者数 ()内は男性
女性防災リーダー養成推進講座	(ソーレ会場) ① 6月10日 ② 7月 8日 ④10月 7日	男女共同参画の視点による災害対応の取組や復興支援策が各地域で実践されている状況を創出することに加え、当講座を受講し女性リーダーとなった者が被災後の復興に向けた議論にも参画していくことを目的とし講座を開催した。 ＜講師＞ ①神原咲子(神戸市看護大学教授)、②山崎水紀夫(さんすい防災研究所代表)、大槻知史(高知大学地域協働学部教授)、④松島陽子((特非)U.grandma Japan代表理事)、神原咲子(神戸市看護大学教授)、兼子佳恵((一社)りとりーと代表理事)	延べ 44名 -
	(四万十市会場) ① 7月23日 ② 8月20日 ④11月19日	＜講師＞ ①畠山典子(大阪公立大学大学院看護学研究科専任講師)、②畠山典子(大阪公立大学大学院看護学研究科専任講師)、山崎水紀夫(さんすい防災研究所代表)、④畠山典子(大阪公立大学大学院看護学研究科専任講師)、神原咲子(神戸市看護大学教授)	延べ 44名 -
女性防災リーダー養成推進講座 (被災地訪問)	③9月8日～ 9月10日	現地訪問により学習したことを体験的に身につけ学びを深めること、現地の女性リーダー及び活動団体から話を聞くことにより、リーダーとしての意識を醸成することを目的に実施した。 ＜講師＞ 宗片恵美子((特非)イコールネット仙台 常務理事)、若生彩((特非)防災士会みやぎ 元副理事長)	29名 -
地域連携フォーラム	12月3日	防災・減災にかかる女性リーダーの必要性及び女性防災プロジェクト事業について、地域の理解促進・連携強化を図る。被災地から講師を招聘しての講演会と地元防災グループの女性、女性防災プロジェクト修了生、行政等が参加してのパネルディスカッションを開催した。 ＜講師＞ 宗片恵美子((特非)イコールネット仙台 常務理事)、山崎水紀夫(さんすい防災研究所 代表)	22名 (6)
防災教室	5月28日	男女共同参画を防災の取組において発揮することができるよう、ジェンダーの視点をもって、子どもから高齢者の命を守るためにの知識を学び、防災意識の向上を図る講座を開催した。 「いざという時のためにはみんなで考えよう！地域の防災」 ＜講師＞ 齊藤容子(人と防災未来センター リサーチフェロー、関西国際大学客員教授、兵庫県立大学客員研究員)	33名 (9)
男女共同参画講座 【オンデマンド】	11月9日～ 11月22日	年齢や国籍、障害の有無や性的指向・性自認に関することも含めて、幅広く多様な人々がそれぞれの生き方を認め合い、実現し、それぞれの特性を活かして元気に暮らすことができる男女共同参画社会の実現を目的とする講座を開催した。 「なぜ進まない？ ジェンダー平等『無意識のバイアス』が阻むもの」 ＜講師＞ 窪川かおる(帝京大先端総合研究機構客員教授/海の女性ネットワーク代表)	オンデマンド 317名 (77)
エンパワメント講座 【オンデマンド】	8月26日	男女共同参画の視点を持ちながら、女性が個々に持つ能力を十分発揮し、課題に対応できる能力を身につけることを目的とする講座を開催した。 「内なるチカラを引き出そう」 ＜講師＞ 大崎まや(STUDIOぶらすあるふあ代表)	会場 19名 - オンデマンド 128名 -
防災講演会 【オンデマンド】	1月13日～ 1月28日	防災に男女共同参画の視点を取り入れることの重要性を広く県民に周知することを目的に、ソーレまつり2024基調講演として実施した。 ＜講師＞ あんどうりす(アウトドア防災ガイド)	オンデマンド 309名 (75)

受託施設運営状況

【利用件数及び人員】

	元年度		2年度		3年度		4年度		5年度	
	件数	人員								
創作実習室	303	5,465	228	2,256	289	2,702	355	3,318	327	2,948
大会議室	160	14,468	150	5,438	189	6,581	254	11,435	188	10,609
研修室1	481	8,147	412	3,972	548	4,502	603	5,950	609	4,628
研修室2	514	9,159	451	4,456	529	4,935	572	6,532	580	5,229
研修室3	579	9,455	466	3,921	542	4,331	573	5,871	646	5,294
調理実習室	109	2,793	69	751	84	904	106	933	133	1,479
和室1	302	4,622	205	1,443	235	1,561	283	1,673	255	1,635
和室2	162	3,597	109	1,035	156	1,227	182	1,339	185	1,342
視聴覚室	381	8,519	270	4,557	354	4,529	424	6,239	440	7,304
レクリエーション室	367	4,185	216	1,657	307	2,425	398	3,281	497	3,949
計	3,358	70,410	2,576	29,486	3,233	33,697	3,750	46,571	3,860	44,417
開館日数	329日		305日		332日		332日		333日	



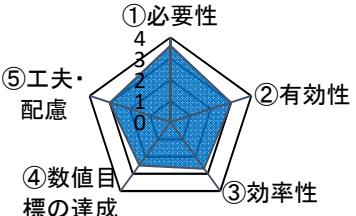
【利用料収入】

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	利用料収入	10,299,765	6,928,015	8,482,900	10,247,665
利用料収入	10,299,765	6,928,015	8,482,900	10,247,665	10,271,370

高知市男女共同参画推進プラン
2021 中間評価

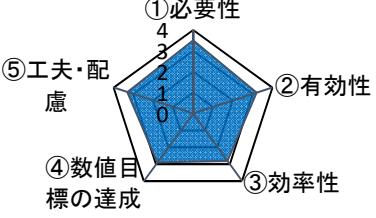
高知市男女共同参画推進プラン2021 中間評価集計表

基本目標1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう 【推進委員会評価】

全体評価 (No.①～⑤の平均)		評価項目 (委員会平均)	
2.96			
			
(評価の目安) 4…良好 3…概ね良好だが改善の余地あり 2…不十分 1…全く不十分			
評価コメント			
取組に問題はないが、府内で完結できる取組が目標を達成していないことで、全体の評価を下げる要因になっている。			
レインボースクールの取組はとても良いと思う。			
各役職段階に占める女性職員の割合について、部長、副部長、課長の実績値は年々上がってきているが、課長補佐は下がっているのが気がかりであるので、その原因を分析し、さらなる対処が必要だと思われる。			
自課評価において概ねAが多いが、事業No.12「各役職段階に占める女性職員の割合向上」が3年連続Cとなっている。上昇傾向のことだが改善が必要と思われる。			
女性の上位職への参画が見られるが、今後に向けて数値上昇の検討が必要かと思う。			
意見・提言等			
審議会の男女比率向上については、全庁横断的に抜本的な意識改革を進めるための働きかけと自助努力をしていただきたい。女性登用が進まない状況が長期間続くと、市民への啓発も効果が期待できなくなる。例えば、各審議会の設置条例等に女性委員を入れるように改正するなど、市として解決に向けた具体的な取組が必要である。			
また、依頼先の関係団体の見直しや、専門知識を有する者の範囲をもう少し広くとらえてもよいのではないか。会に参加することがきっかけとなり、人材育成に繋がると思う。			
レインボースクール事業は、実施予定の12校に対して要望が34校もあるのは、効果が高いと思われる所以、注力すべき取組である。			
小学校からジェンダー平等啓発リーフレット「わたしも大切にあなたも大切に」が配布されたが、特に授業で使用されたり説明されたりもなく、他の手紙と一緒に入っていた。せっかくいい物を作成しているのでもっと活用できるように働きかけがあればいいと思う。			
SDGs、ジェンダー平等、LGBTsなど意識の高まりに合わせてアップデートされた啓発がなされていると評価できる。他方で、デジタルツール活用、人が集まる場所での広報の推進、紙媒体によるコストの有効性を検討する必要があることなど、まだ工夫の余地があると考えられる。様々な工夫の結果として数値目標が達成されることを期待している。講座の広報として、ソーレが開催講座の案内をアプリを活用して周知しており、参考になるのではないか。			
性の平等に関わる今日的課題にも常にアンテナを張り、それに対応する施策を実行していただきたい。			

高知市男女共同参画推進プラン2021 中間評価集計表

基本目標2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう 【推進委員会評価】

全体評価 (No.①～⑤の平均)		評価項目 (委員会平均)	
3.14			
			
(評価の目安) 4…良好 3…概ね良好だが改善の余地あり 2…不十分 1…全く不十分			

評価コメント

No.22「相談事業」について、男性からの相談も受け入れる体制が良い。

DVや児童虐待等、直接関係ないと入ってくる情報も少ないとと思うが、いざ当事者となった時にどうすればいいのか困る人も多くいるのではないか。

自課評価では12事業中、Aが9、Bが3と良好な結果となっている。DVやハラスメントを許さないという機運の高まりの中で、今後も目標達成に向けた取組を期待する。

意見・提言等

DVや児童虐待は根絶しないといけない問題で、重要な取組である。民間に頼るだけでなく、防止・支援など窓口を一元化して(子育て支援のようなネウボラの取組)、行政として即応できる組織・体制も今後検討すべきではないかと思う。
また、声を上げられない人に、相談やシェルターの情報が届いているのか。検証は難しいが、事業を進める上で念頭に置くべきである。

今後は、DVの予防教育(学校との連携、性的同意などを考える研修等)も大事になる。DVを人権問題と考える若者(主体)を育てることが必要かと思う。

ハラスメントもDVも人間の尊厳を傷つけ、生産性を阻害する。誰かがDVやハラスメントを我慢することは社会全体のマイナスにつながるという認識の下で、全体で取り組むべき問題である。そのような問題意識を共有し、目立つ公共空間にハラスメントやDV禁止のポスターを貼り、強制的に視界に入れることも有益だと思う。高校や大学にもポスターを提供してはいかがか。DVは犯罪であり、不法行為であること、DVが織り込まれた人間関係は正常ではなく、自分事でも他人事でも容認してはいけないこと、被害者だけでなく加害者も不幸になることを、より強くメッセージとして打ち出す方法を検討していただきたい。

最近は、「教育虐待」ということも言われ始めている。その中には、「女性はあまり高学歴でなくてよい」という虐待の例もある。今後は、こうした側面も考えないといけないのではないか。

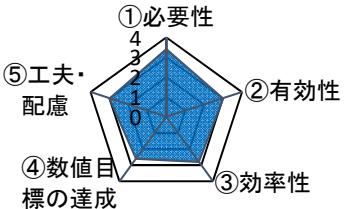
学校ではタブレットの活用が進んでおり、小学生も毎日タブレットの持ち帰りをしている。小学生に配布されている「あみのめせかいノート」はあまり活用されていないと子どもからの話であった。情報モラル教育はぜひ進めていただきたい。

ネットトラブルは低年齢化もしていると思うので、学校での指導もより必要だと考える。

県や関係機関等と連携し地道に啓発を継続することが必要と思う。市民に身近な市として、様々な相談に応じていくことを広く周知していくべきでは。そのような活動を通じて、新しい課題が見えてくるのでは。

高知市男女共同参画推進プラン2021 中間評価集計表

基本目標3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう 【推進委員会評価】

全体評価 (No.①~⑤の平均)		評価項目 (委員会平均)
2.96		
 <p>①必要性 ②有効性 ③効率性 ④数値目標の達成 ⑤工夫・配慮</p>		
<p>(評価の目安) 4…良好 3…概ね良好だが改善の余地あり 2…不十分 1…全く不十分</p>		
① 必要性 (取組の方向性での位置付け, 市民ニーズの傾向)	3.4	
② 有効性 (活動指標, 活動内容)	3.0	
③ 効率性 (実施方法, コスト, 費用対効果)	2.8	
④ 数値目標の達成状況	2.6	
⑤ 男女共同参画の視点での工夫や配慮	3.0	

評価コメント

男女共同参画社会に向けた基本・基礎となる取組だと思う。目標をみると、百歳体操、認知症カフェ、宅老所、百歳交流大会等が、ジェンダー平等の実現にどう結びついているのか、混乱する。腑に落ちる説明が必要であるとともに、職員自身も十分理解、納得して進めてほしい。

市男性職員の育児休業取得率が年々上がり、成果が見られる。

少子化の影響もあると思うが、待機児童数の減少は評価できる。

市役所の技術職の割合は、今後に期待する。

女性の就業支援は、パソコンスキルの講座だけでなく、コミュニケーション力向上のための講座等があっても良いと思う。

13事業中、Aが2、Bが10、Cが1と5目標の中で自課評価が低い内容となっている。No.36「ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援」はC評価となっているが、相談件数のやや減少と就職率40%（目標値60%）がその要因と思われるが、相談に対する満足度95%超という良い結果も出ているので目標達成に向けた取組に期待する。

意見・提言等

社会が変わっていかないと劇的な改善は期待できない分野だが、地道な取組がなされていることは評価できる。

No.27「男女共同参画推進企業表彰」、No.28「男性職員の子育て参加の促進」によって社会をリードする動きを加速させるとともに、移住政策等とも連携した取組を進めてはどうか。

そして、市が積極的な取組の状況等を公表することで、各種制度の充実につながったり、社会に広がっていくと思う。

No.32「ファミリー・サポート・センター事業」は、うまく機能しているので、国の補助金を活用するなどして利用者負担を軽減すれば、もっと良い効果が出るのではないか。

市男性職員の子育て参加促進において、育児休業復帰支援プランを活用した面談の実施は有効だと感じた。子どもが生まれた男性職員や所属長に各種制度の周知を行うことはもちろん、早い段階で配偶者妊娠の報告があれば、より育児休業の取得に向けたサポートができると考える。報告があれば、育児休業取得の意向確認も必要となるので、報告がしやすい環境づくりも大切である。併せて、目標達成のために、今後も休暇を取得しやすい職場の環境整備が必要である。

女性が少ない職場の中には、男性の労働条件が厳しい場合がある。今後、男性が多い職場においては、男性の労働時間や心身の負担等、男性の働きやすさについて調査するなども一つの案ではないかと思う。

職場での理解も段々と進んでいるとは思うが、やはり子育てや介護となると女性の負担が多いと感じる。そのためフルタイムで働くのが難しく、パートやアルバイトという女性も多い。そこで男女の賃金差も出てくるので、育児、介護への支援は力を入れて継続していくってほしい。

ワーク・ライフ・バランスの推進においては、仕事と介護の両立の視点も重要ではないか。

市職員が災害対応に従事する際は、ご自分の家庭が安心できる環境を、市として整えたうえで、災害対応にあたっていただきたい。

No.38「女性消防吏員増加に向けた取組」などの取組は、行政が果たす役割として重要だと考える。

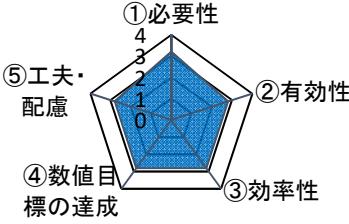
高知市男女共同参画推進プラン2021 中間評価集計表

**基本目標4 地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう
【推進委員会評価】**

全体評価 (No.①～⑤の平均)		No.	評価項目	評価 (委員会平均)
2.82		①	必要性 (取組の方向性での位置付け, 市民ニーズの傾向)	3.3
⑤工夫・配慮	④数値目標の達成	②	有効性 (活動指標, 活動内容)	2.8
③効率性		③	効率性 (実施方法, コスト, 費用対効果)	2.8
	④数値目標の達成状況	④		2.4
	⑤男女共同参画の視点での工夫や配慮	⑤		2.8
(評価の目安) 4…良好 3…概ね良好だが改善の余地あり 2…不十分 1…全く不十分				
評価コメント				
まだまだ男性社会の様相が色濃いという実情が最もよく反映された数値・結果が表れていると言えるのではないだろうか。				
No.47「人材育成事業(女性防災プロジェクト)」に関しては休眠預金(助成金)を活用するなど、外部資金を利用して女性防災リーダーの育成において大きな効果を挙げている。D評価のNo.41「スポーツ指導者の育成」とC評価のNo.42「消防団の充実強化」はコロナ禍の影響や全国的な担い手不足の中にあることは理解できるが、一層の取組を期待する。				
意見・提言等				
防災部分での女性参画は一定進んできたが、災害現場等女性が参加しづらい場面があるようなので、さらに必要な人材が参加できるよう環境整備してほしい。				
女性の視点から地域活動・防災分野への女性の参画はかなり進んできたように見受けられる。その中でも、いつも女性は炊き出し係というような役割分担が固定化しないように、性別に関係なく活動がスムーズにできる方が良い。トイレ、体調の管理など防災には女性ならではの視点が必要なので、エリアに関係なく進めていただきたい。				
避難所運営では女性への性犯罪や生理用ナプキンの配布がなかったりと聞く。被災地訪問では実際に困ったことを聞いてもらい、どのように対策をしていくか検討してほしい。				
自治会長に占める女性の割合が基準値よりも減少してきているのが、気がかりである。今年度の広報で女性自治会長の紹介があったが、今後も女性会長の声を広く市民に届けることにより、女性会長になるハードルを下げる取組を継続していただきたい。				
また、自治会組織の役員に占める女性の割合が一定数を超える場合には補助金を得られるようにする等の取組はあり得るだろうか。				
スポーツ分野における指導的地位に女性が占める割合を向上させる取組をしてほしい。				
また、スポーツに関して、審判員に占める女性の割合が一定数を超える場合に何らかの報奨的措置をとることはあり得るだろうか。国際レベルの男性サッカーで女性審判と一緒に走りながら裁いているのをテレビで見るが、そういう視覚的効果は大きいと思う。				

高知市男女共同参画推進プラン2021 中間評価集計表

基本目標5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう 【推進委員会評価】

全体評価 (No.①～⑤の平均)		評価項目 (委員会平均)	
2.88			
			
(評価の目安) 4…良好 3…概ね良好だが改善の余地あり 2…不十分 1…全く不十分			
評価コメント			
<p>ここで目標とすることではないという考え方もあるかもしれないが、条例第18条(生涯にわたる健康への支援)に基づく取組だと思う。その関連性を改めて考えたとき、取組内容に違和感を感じるので、これが男女共同参画とどう結びつかかということについて原点に立ち返って、腑に落とした上での取組を進めてほしい。</p> <p>No.48「さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催」についてコストの割に成果が上がっていないのが残念だと感じた。</p> <p>幼児検診の受診率が高いのはいいと思う。受診可能期間の緩和や日曜検診等工夫もされている。</p> <p>10事業中Aが3、Bが5、Cが2と達成度は高いとは言えない。 C評価のNo.48「さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催」、No.50「スポーツ推進事業」はコロナ禍の影響でやむをえない側面はあるものの、引き続きの取組を期待する。</p> <p>No.53「こころの相談窓口」に関しては、目標2,800に対して6,290と2倍以上の達成率となっている。SNSの効果とは言え、元の目標値の設定についても検証していただきたい。</p>			
意見・提言等			
<p>健康づくりに関しては様々な事業が行われていると思うので、より広報等を充実してほしい。</p> <p>生涯健康であることに向けての取組としてNo.48「さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催」は評価されると思う。「さまざまな世代や…」とあるが、もし世代に偏りがあったとすれば、少ない世代の方が参加しやすい方法への検討などもしてはどうか(例:オンラインなら参加しやすい等、あれば)。</p> <p>ライフステージにおける心と身体の健康においては、女性特有の健康課題の視点も大切ではないかと考える。</p> <p>平均寿命の差が男女で6歳程あるが、健康寿命の差は男女で3歳も無い。女性の筋力が少ないからだとも言われている。こうした観点からも、健康で過ごせるような取組が今後は必要ではないか。</p> <p>検診受診率についての数値の実情を正確に把握した上で対策してほしい。 特に、女性特有の検診受診率を向上させるために、実費負担を減らすような取組を増やすことができないか。 また、経済格差や高齢化の中で、退職後の健康診断を受ける機会を拡大することについても取り組んでほしい。</p> <p>この目標設定の背景にはジェンダー不平等と健康生活との関連性に関する問題意識があるということを分かっていない方も多いと思うので、現状や課題が男女差別にどう関係しているのかということについての啓発の重要性も認識し、その辺りに力を入れてほしい。</p>			

その他全体に関するもの

評価コメント

今回の中間評価を行うにあたって、再度担当課が提出した「個別事業実施状況報告(点検シート)」を再点検した。そこで、各課のCheck(点検)、実質的には検証(達成状況、その要因)に注目し、中間評価を行った。そこで気が付いたのは、各課からA評価以外の評価がかなり多いということだ。事業の評価であるので、A評価が望ましいことは当然だが、基本目標3(家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう)のNo.36「ひとり親家庭の相談及び就業自立支援」や基本目標4(地域で、防災で、男女共同参画を進めましょう)のNo.40「地域コミュニティ再構築事業」など、容易には成果が出しにくいと思われる事業に積極的に取り組んでおり、その結果、「概ね達成」(B評価)や「(目標を)少し下回った」(C評価)が出ている。A評価が出なかつことは残念だが、目標に大きく近づいたことは成果と思われる。こうしたチャレンジ的な試みは大事だと考える。今回は中間評価であるので反省点を生かし、一層目標に近づくことを期待する。

コロナ禍の影響で目標達成できずC評価になった事業も多いように思う。現時点でコロナの感染が増えている状況であり、重症化率は低くとも出口が見えない状況となっている。抜本的な対策は難しいかもしれないが、非接触型に移行できる事業の検討も必要かもしれない。

意見・提言等

事業数も多く、全てが目標どおりは難しいが、役職に占める女性職員の割合や審議会等の女性登用、男性職員の子育て参加の促進等、庁内で取組できるものは目標達成してほしい。

平成17年に条例が制定されて20年の取組である。効果が出るまでには息の長い取組であることは理解しているが、20年の節目として、取組、成果をしっかりアピールできるよう、一番分かりやすい数値目標の達成に注力してもらいたい。その上で、何がどう変わってきたのか、何が足りないのか検証をしましょう。目標を達成するには、各組織が条例を意識して、達成しないといけないという強い決意を共有して計画を推進することが重要ではないかと思う。数値目標が、基準値より悪化しているのは論外である。

男女共同参画については、すでに若い人たちは特別に何かすることではなく、「そんなことが必要か」ということが言われ始めている。中高年齢者は男女平等ではなく苦労した世代だが、少しずつ改善は見られていると実感する。しかし、今の若者の「男女共同参画それって必要?」の意識は、多くの犠牲の上に成り立っているということを忘れないでいただきたい。引き続き、社会全体で男女共同参画の機運を高める必要があると思う。

従前は、ややもすれば弱者(女性)の差別解消施策と捉えられていたかもしれない男女共同参画施策だが、今日においては、移住促進施策、労働人口の確保といった様々な社会課題の解決と密接に関わっていることが明らかになりつつあると感じる。男女共同参画に関する各施策について、後れをとることは人口流出、労働人口現象の加速につながるという視点からも、より一層のこ入れと重点施策の強化をお願いする。DVやハラスメントを容認しないことで一人ひとりの尊厳が保たれ、それぞれの能力が最大限発揮される元気なまち、幸せな生活ができるまちを目指し、全国に発信していただきたい。

男女共同参画を目指して様々な事業を行っているが、その理由、目的がぼやけているように感じる。男性だけで政策を決めることがや女性だけが家事育児をすることの是非、社会発展への効果などもっと明確にすべきではないか。

防災活動への女性参画により現場は改善され高い評価がされた。現状を改善するのであれば、市の事業はもっと具体的に課題解決に取り組み、目標達成すべきと思う。

発行／高知市市民協働部 人権同和・男女共同参画課
2025年（令和7年）1月発行